

平成29年度  
山口県学力定着状況確認問題  
結果について



平成29年12月

山口県教育庁義務教育課

## 目 次

I	実施概要	..... P	1
II	教科の問題に関する結果	..... P	2
1	小学校		
(1)	国語	..... P	2
(2)	算数	..... P	7
(3)	社会	..... P	12
(4)	理科	..... P	15
2	中学校		
(1)	国語	..... P	18
(2)	数学	..... P	21
(3)	社会	..... P	24
(4)	理科	..... P	27
(5)	英語	..... P	30
3	設問別正答率一覧	..... P	33
III	児童生徒質問紙の結果	..... P	51

# I 実施概要

## 1 目的

児童生徒の客観的な学力状況の経年的な把握と分析を通して、課題解決に向けた指導の工夫改善等の取組の充実を図る全県的な検証改善サイクルを確立し、県内全ての児童生徒の学力の確実な定着と向上を図る。

## 2 実施期日

平成29年10月25日（水）※学校の状況に応じて、10/23～10/27の期間に実施

## 3 実施対象及び実施内容

### (1) 小学校

	学 年	実施人数	内 容 (時 間)
小 学 校	第3学年	10,945人	国語、算数(各40分) 及び質問紙
	第4学年	11,116人	国語、算数(各40分) 及び質問紙
	第5学年	10,988人	国語、算数、社会、理科(各40分) 及び質問紙
	第6学年	10,873人	国語、算数(各40分) 及び質問紙
中 学 校	第1学年	10,578人	国語、数学(各45分) 及び質問紙
	第2学年	10,687人	国語、数学、社会、理科、英語(各45分) 及び質問紙

### (2) 教科の問題について

○以下の①、②による総合的な問題とし、記述式の問題を一定の割合で出題する。

①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などを中心とした問題

②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容を中心とした問題

○問題は、調査実施時点までに学習していると想定される範囲とし、問題の程度は、対象学年までの学習指導要領を基準とする。

### (3) 質問紙について

○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する内容を問うものとする。

### 【データの処理について】

#### ○各学年の実施人数について

・各学年の実施人数は、教科の問題及び質問紙を実施した児童生徒数の最大値を示している。

#### ○平均正答率の算出方法について

・各教科の平均正答率は、問題を実施した全ての児童生徒の解答結果から算出している。

・学校の教育課程上の理由等により一部の問題を実施していない児童生徒についても、全体に含めて算出している。

## Ⅱ 教科の問題に関する結果

### 1 小学校

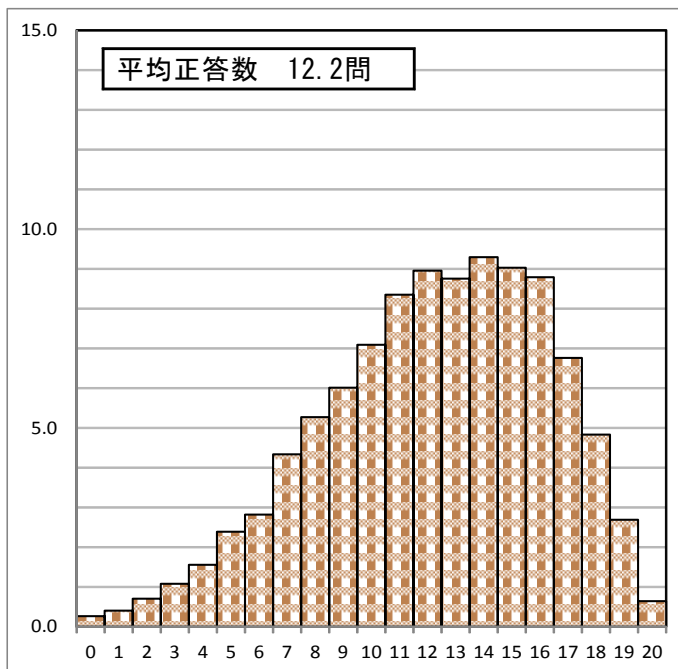
#### (1) 国語

##### 【第3学年】

実施児童数	10,933 人
設問数	20 問
平均正答率	61.1 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	17	64.0
	主として「活用」	3	44.8
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	3	75.1
	書くこと	2	37.2
	読むこと	8	55.0
	伝統的な言語事項と国語 の特質に関する事項	9	66.2
評価の 観点	話す・聞く能力	3	75.1
	書く能力	2	37.2
	読む能力	7	56.9
	言語についての 知識・理解・技能	8	65.6
問題形式	選択式	5	55.5
	短答式	12	67.4
	記述式	3	45.5

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



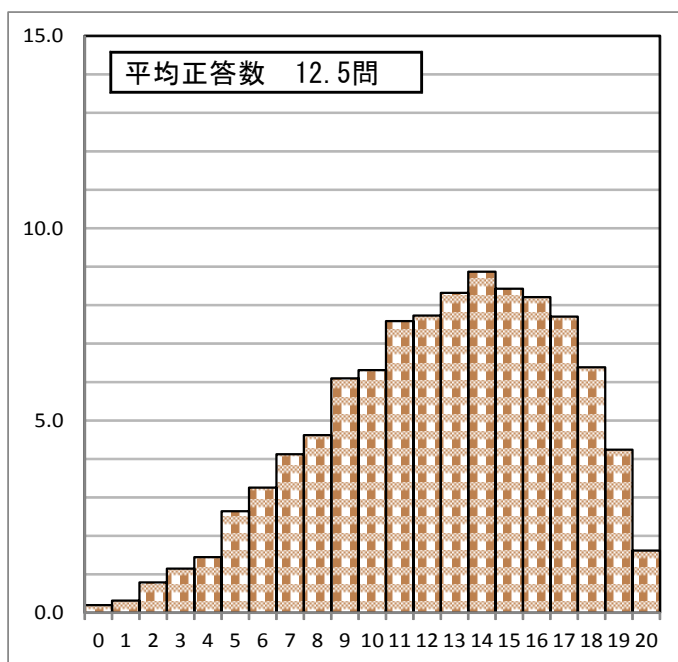
(全ての設問を実施した児童について算出)

##### 【第4学年】

実施児童数	11,063 人
設問数	20 問
平均正答率	62.6 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	15	69.0
	主として「活用」	5	43.6
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	3	43.2
	書くこと	4	46.4
	読むこと	7	59.7
	伝統的な言語事項と国語 の特質に関する事項	10	75.0
評価の 観点	話す・聞く能力	3	43.2
	書く能力	3	49.8
	読む能力	4	55.7
	言語についての 知識・理解・技能	10	75.0
問題形式	選択式	6	64.0
	短答式	10	70.4
	記述式	4	41.0

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



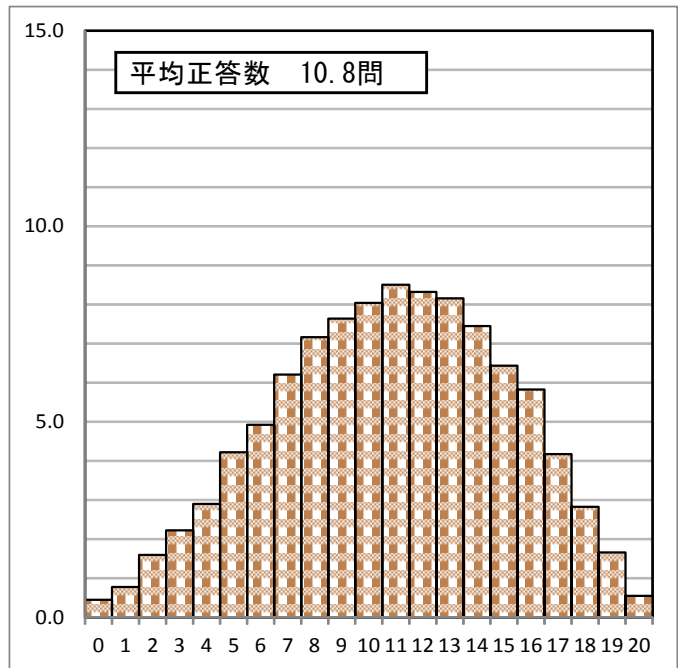
(全ての設問を実施した児童について算出)

【第5学年】

実施児童数	10,974 人
設問数	20 問
平均正答率	54.0 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	17	58.1
	主として「活用」	3	30.9
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	2	43.5
	書くこと	5	47.4
	読むこと	6	52.9
	伝統的な言語事項と国語の特質に関する事項	9	57.5
評価の観点	話す・聞く能力	2	43.5
	書く能力	5	47.4
	読む能力	4	59.7
	言語についての知識・理解・技能	9	57.5
問題形式	選択式	10	59.8
	短答式	6	61.8
	記述式	4	27.9

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



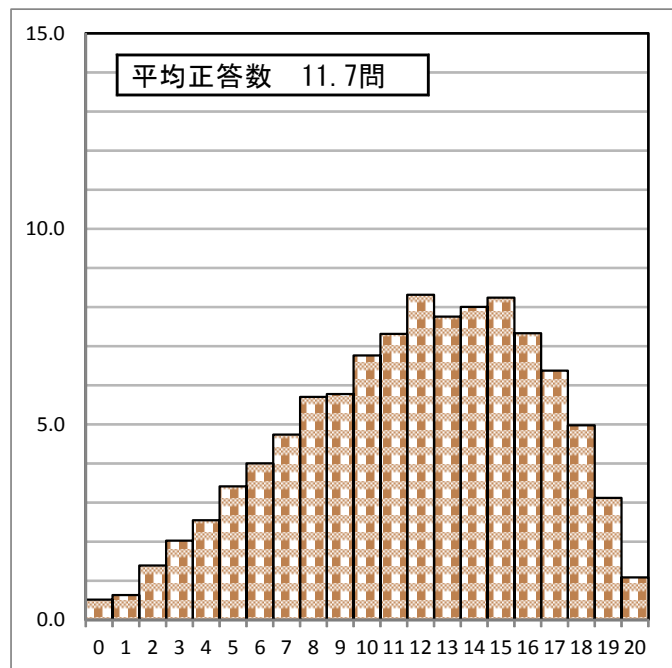
(全ての設問を実施した児童について算出)

【第6学年】

実施児童数	10,873 人
設問数	20 問
平均正答率	58.6 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	15	62.6
	主として「活用」	5	46.6
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	61.7
	書くこと	4	42.6
	読むこと	9	61.5
	伝統的な言語事項と国語の特質に関する事項	8	54.2
評価の観点	話す・聞く能力	3	61.7
	書く能力	3	39.7
	読む能力	6	72.4
	言語についての知識・理解・技能	8	54.2
問題形式	選択式	8	69.0
	短答式	9	55.9
	記述式	3	38.9

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



(全ての設問を実施した児童について算出)

## 【結果から見られる成果と課題】

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むことについて、相当数の児童ができています。
  - ・「公園（こうえん）」（小3<sup>1</sup>—1：95.9%）
  - ・「注目（ちゅうもく）」（小4<sup>1</sup>—1：94.2%）
  - ・「緑茶（りょくちゃ）」（小5<sup>1</sup>—2：87.2%）
  
- グラフや表を基に必要な情報を読み取ることについて、成果が見られる。
  - ・グラフから読み取れる内容を選択（小6<sup>4</sup>—1：88.7%）
  
- 筆者の説明の意図を捉えることについて、相当数の児童ができています。
  - ・筆者の表現の意図について、最も適切な文を選択（小6<sup>3</sup>—1：81.6%）
  
- 同音異義の漢字を書くことについて、課題が見られる。
  - ・「いがい（意外）」（小5<sup>1</sup>—3：47.0%）
  - ・「おさまる（治まる）」（小6<sup>1</sup>—4：59.2%）
  
- 接続語を用いて文を二つに分けることについて、課題が見られる。  
（小5<sup>2</sup>—二：19.1%、小6<sup>1</sup>—五：36.0%）
  
- 目的に応じ、中心となる語や文を捉えることについて、課題が見られる。  
（小3<sup>3</sup>—四：40.1%、小4<sup>3</sup>—二：39.0%、小5<sup>3</sup>—一：39.5%）
  
- 目的や意図に応じて必要な内容を整理して書くことについて、課題が見られる。
  - ・必要な内容を二つ取り上げて整理して書くこと  
（小5<sup>4</sup>—三：25.7%、小6<sup>4</sup>—二：47.9%）  
H29小6 全国調査（県平均）35.3% 「目的や意図に応じて必要な内容を整理して書く」
  
- 条件等に即応して自分の考えを書くことについて、課題が見られる。
  - ・自分の考えを具体的に書くこと  
（小3<sup>4</sup>—四：32.4%、小4<sup>4</sup>—四：41.6%、小5<sup>5</sup>—三：31.1% 小6<sup>5</sup>—二：17.5%）

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

**国語** 【小学校3・4年生】

(小学校3・4年生)

- 条件等に即応して自分の考えを書くことについて、課題が見られる。

あなたは、このお話を読んで、どんな感想をもちましたか。あとのじょうけんに合わせて書きましょう。

〈じょうけん〉

- 「海」「かんのんさま」ということばをつかって書くこと。
- 五十字いじょう、七十五字いないにまとめて書くこと。

【正答例】

海の中に重い石を何回もなげこんだのに、また、あみにかかったことがふしぎでした。そして、まくらもとにかんのんさまがでてきたところがおもしろかったです。

小3 : 32.4%

四年一組では、話し合った内ようをもとに、二分の一成人式の案内じょうを書くことになりました。あなたならどのような案内じょうを書きますか。次のじょうけんに合わせて書きましょう。

〈じょうけん〉

- 話し合った内ようをもとに、来てほしいという気持ちを伝えること。
- 二文以上で書くこと。
- 六十字以上、八十字以内で書くこと。

【正答例】

二分の一成人式では、一人一人がしょう来のゆめを発表します。わたしたちのスピーチを楽しみにしてください。もみじの合唱もしますので、ぜひ見に来てください。

小4 : 41.6%

(小学校4年生)

- 目的に応じ、中心となる語や文を捉えることについて、課題が見られる。

これと反対に、秋も深まり、そろそろ寒くなってくるころ、(あ)の国からやってきて冬をすごし、春にはまた北へ帰って行く鳥たちを冬鳥といいます。

(あ)にあてはまる言葉を書きましょう。

【正答】 北

小4 : 39.0%

**国語** 【小学校5・6年生】

(小学校5年生)

- 接続語を用いて文を二つに分けることについて、課題が見られる。

秋本さんは、北村さんの「二つの文を分けてみたらどうだろう。」という助言を聞いて、【秋本さんのスピーチ練習の様子】の②の文を、「そして」というつなぎ言葉を使って、二文に分けることにしました。書き直したときの一つ目の文の終わりの七文字と、二つ目の文の「そして、」に続く七文字を書きましょう。

【正答】 で読めます。(そして、)好きだったとこ

小5 : 19. 1%

(小学校5年生)

- 目的や意図に応じて必要な内容を整理して書くことについて課題が見られる。

小松さんたちは、水道局をたずねて聞いた【水道局の方のお話】をもとに、【節水作戦への協力のお願い】の [ ] の部分を書いています。次の [ ] の中の **B** に入る内容を、あとの条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 数多くのポスター作りが必要な理由を【水道局の方のお話】から二つ取り上げて書くこと。
- 【節水作戦への協力のお願い】にふさわしい表現で書くこと。
- 書き出しに続けて、五十字以上、七十字以内にまとめて書くこと。

【正答例】

できるだけ多くの人に見てもらふことや、水を使う場所ではどこでも節水を思い出せるようにすることが大切だからです。

小5 : 25. 7%

(小学校6年生)

- 条件等に即応して自分の考えを書くことについて、課題が見られる。

【話し合いの様子の一部】の中の **A** のところで、木村さんは、【山口のむかし話「びやく雲寺のごとう」】の言葉や文を取り上げながら、ごとうの心情が変化したと考えられる行動について話しています。あなたが木村さんならどのように話しますか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- [ ] の南さんのように、【山口のむかし話「びやく雲寺のごとう」】からごとうの心情が変化したと考えられる行動を取り上げて書くこと。
- 取り上げた行動から、どうしてごとうの心情が変化したと考えられるのかを書くこと。
- 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

【正答例】

びやく雲寺の方を見て「ほんの少し頭を下げると」と書いてあるよ。おしょうさんが自分のためにやさしくしてくれたことに気づいたから、あやまったと考えることができるよ。

小6 : 17. 5%



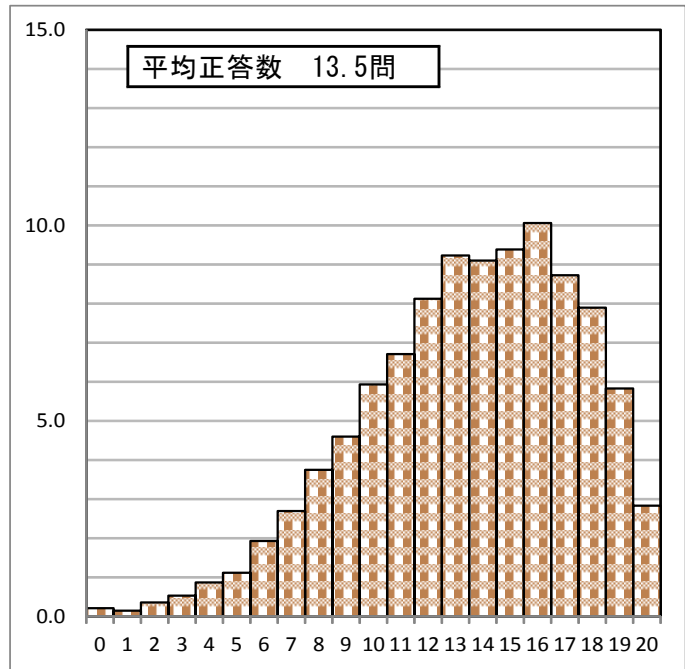
## (2) 算数

### 【第3学年】

実施児童数	10,945 人
設問数	20 問
平均正答率	67.5 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	14	74.9
	主として「活用」	6	50.3
学習指導 要領の 領域等	数と計算	10	76.9
	量と測定	4	67.5
	図形	3	59.2
	数量関係	3	44.7
評価の 観点	数学的な考え方	6	50.3
	数量や図形についての技能	8	82.2
	数量や図形についての知識・理解	6	65.3
問題形式	選択式	2	50.4
	短答式	16	72.6
	記述式	2	44.2

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



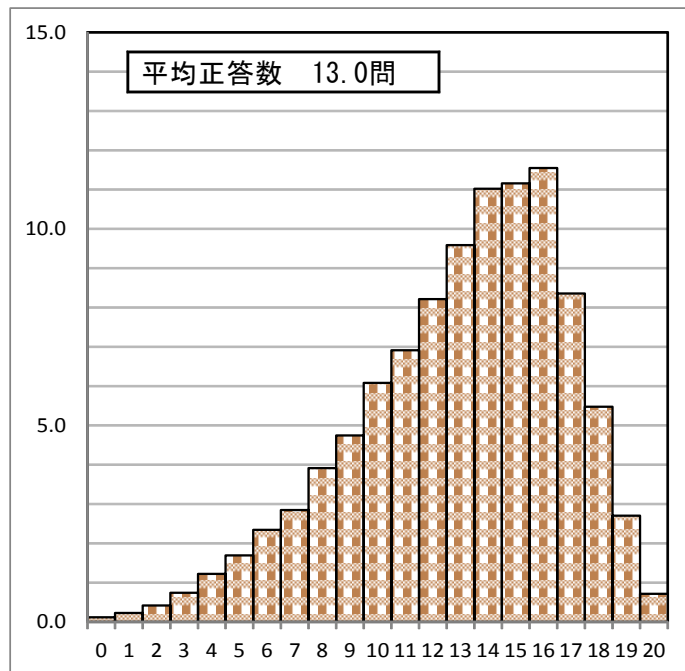
(全ての設問を実施した児童について算出)

### 【第4学年】

実施児童数	11,070 人
設問数	20 問
平均正答率	64.9 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	11	80.1
	主として「活用」	9	46.3
学習指導 要領の 領域等	数と計算	7	76.9
	量と測定	4	76.5
	図形	2	39.1
	数量関係	7	53.5
評価の 観点	数学的な考え方	9	46.3
	数量や図形についての技能	8	83.7
	数量や図形についての知識・理解	3	70.3
問題形式	選択式	3	52.5
	短答式	14	76.0
	記述式	3	25.1

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



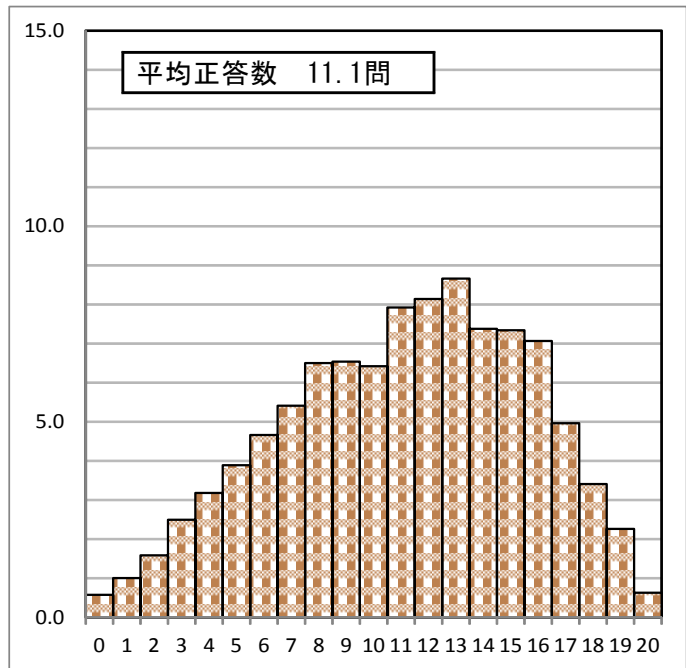
(全ての設問を実施した児童について算出)

【第5学年】

実施児童数	10,983 人
設問数	20 問
平均正答率	55.5 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	14	61.5
	主として「活用」	6	41.4
学習指導要領の領域等	数と計算	8	57.8
	量と測定	3	63.0
	図形	2	73.2
	数量関係	7	44.5
評価の観点	数学的な考え方	6	41.4
	数量や図形についての技能	7	63.3
	数量や図形についての知識・理解	7	59.7
問題形式	選択式	7	51.0
	短答式	10	62.2
	記述式	3	43.5

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



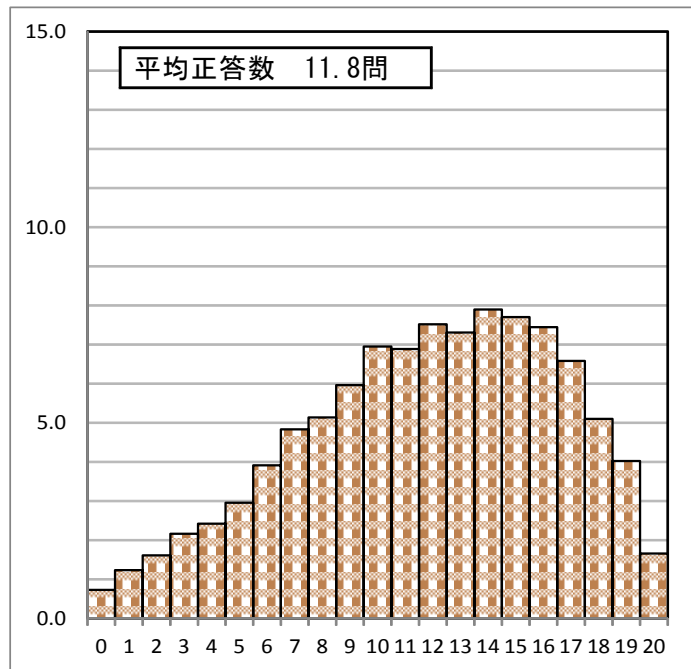
(全ての設問を実施した児童について算出)

【第6学年】

実施児童数	10,867 人
設問数	20 問
平均正答率	58.8 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	15	64.0
	主として「活用」	5	43.3
学習指導要領の領域等	数と計算	8	64.2
	量と測定	3	52.6
	図形	2	32.0
	数量関係	7	63.0
評価の観点	数学的な考え方	4	46.5
	数量や図形についての技能	9	60.4
	数量や図形についての知識・理解	7	63.8
問題形式	選択式	3	56.3
	短答式	14	61.5
	記述式	3	48.9

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



(全ての設問を実施した児童について算出)

### 【結果から見られる成果と課題】

- 基本的な四則計算の技能や数の仕組みの理解に成果が見られる。
  - ・除法の計算をすること (小3 $\boxed{1}$ (4) : 94.7%)
  - ・余りのある除法の計算をすること (小4 $\boxed{1}$ (3) : 85.5%)
  - ・同分母の分数の加法の計算をすること (小4 $\boxed{1}$ (5) : 92.8%)
  - ・末尾のそろっていない小数の減法の計算をすること (小6 $\boxed{2}$ (1) : 82.5%)
  - ・十進位取り記数法について理解していること (小3 $\boxed{2}$ (1) : 89.7%)
  - ・乗法九九を用いて、乗数を求めること (小3 $\boxed{3}$ (1) : 97.1%)
  
- 数量関係や図形の基本的な内容の理解に成果が見られる。
  - ・長さについての感覚を身に付けていること (小3 $\boxed{4}$ (2) : 90.6%)
  - ・二次元表の見方を理解していること (小4 $\boxed{5}$ (1) : 90.6%)
  - ・分度器を用いて、90度よりも小さい角の大きさを求めること (小4 $\boxed{8}$ (1) : 92.5%)
  
- 余りのある小数の除法、体積についての量感、複合図形の求積、二次元表を読み取ること  
に課題が見られる。
  - ・除数が小数である場合の除法の計算を一の位まで行い、商と余りを求めること (小6 $\boxed{2}$ (3) : 28.8%)
  - ・かさについての感覚を身に付けていること (小3 $\boxed{4}$ (1) : 39.4%)
  - ・円の面積の公式を活用して、複合図形の面積を求めること (小6 $\boxed{7}$ (2) : 30.5%)
  - ・二次元表の中の数が表す事柄を読み取ること (小4 $\boxed{5}$ (3) : 37.0%)
  
- 数量の関係を数直線に表すことや、式に適した問題場面を選択することに課題が見られる。
  - ・小数の除法の問題場面を理解し、数直線に表すこと (小5 $\boxed{3}$  : 19.6%)
  - ・除法の意味について理解し、示された除法に適した問題場面を選択すること (小3 $\boxed{9}$  : 29.4%)
  
- 割合の見方の基礎や基準量、比較量、割合の関係を捉えることに引き続き課題が見られる。
  - ・除法を活用して、基準量の半分の長さの求め方と答えを記述すること (小3 $\boxed{8}$ (1) : 39.4%, 小4 $\boxed{6}$ (1) : 64.0%)
  - ・示された割合を解釈して、基準量と比較量の関係を表している図を判断すること (小5 $\boxed{10}$ (1) : 28.0%)
  
- 問題場面について情報を整理し、理由や方法等を説明することに引き続き課題が見られる。
  - ・繰り下がりのある減法の計算方法を活用して、□に当てはまる数の求め方を記述すること (小3 $\boxed{7}$  : 37.9%)
  - ・三角形の2つの辺の長さが円の半径であることを基に、二等辺三角形ができる理由を記述すること (小4 $\boxed{7}$  : 8.5%)
  - ・グラフの特徴を基に2つのグラフが対応していないことを読み取り、違いを記述すること (小4 $\boxed{9}$ (1) : 23.3%, 小5 $\boxed{11}$ (1) : 30.2%)
  - ・点対称の定義を用いて、対象の中心を求める方法を記述すること (小6 $\boxed{6}$  : 31.8%)
  - ・値引きによって1番値段が安くなる理由を記述すること (小6 $\boxed{8}$  : 42.3%)

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

**算数** 【小学校3・4年生】

(小学校3・4年生)

- 除法を活用して、基準量の半分の長さの求め方と答えを記述することに課題が見られる。

8 赤色、青色、黄色のテープがあります。それぞれのテープの長さは、次のとおりです。

(1) 黄色のテープのちょうど半分の長さが、青色のテープの長さです。青色のテープの長さは、何mですか。もとめる式と答えを書きましょう。

・赤色のテープの長さは 6 m

・青色のテープの長さは  m

・黄色のテープの長さは 16 m

【正答】式  $16 \div 2 (=8)$

答え 8 m

小3 : 39.4% 小4 : 64.0%

(小学校3年生)

- 除法の意味について理解し、示された除法に適した問題場面を選択することに課題が見られる。

9 下の問題の中で、 $8 \div 4$ の計算をすると、答えがもとめられるものは、どれですか。

アからエまでの中からすべてえらんで、その記号を書きましょう。

ア ゆみさんは、4人の友だちに8こずつあめをくぼろうとして  
います。  
あめは、全部でいくつひつようですか。

イ チョコレートを4人で同じ数ずつ分けます。チョコレートは、  
全部で8こあります。  
1人分は、何こになりますか。

ウ くぼりもの係のひとみさんは、持っていたノートのうち、8  
さつをくぼりました。すると、のこりは4さつになりました。  
はじめに持っていたノートは、何さつですか。

エ 8 cmのリボンがあります。  
リボンを4 cmずつに切ると、何本になりますか。

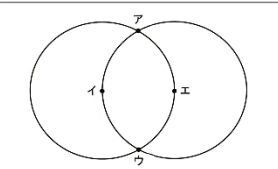
【正答】イ、エ

小3 : 29.4%

(小学校4年生)

- 三角形の2つの辺の長さが円の半径であることを基に、二等辺三角形ができる理由を記述することに課題が見られる。

7 下の図のように、2つの円があります。それぞれの円の中心、点イ、点エを、もう1つの円のまわりが通っています。2つの円のまわりが交わった点を、点ア、点ウとします。



たろうさんとめぐみさんは、図を見て次のように話しています。

たろう: 図の点ア、点イ、点ウ、点エの4つの点のうち、3つの点を選んで結ぶと三角形ができるね。

めぐみさん: わたしは、点ア、点ウ、点エの3つの点を選んで結んでみるわ。どんな三角形ができるかしら。

たろうさん: その3つの点を選んで結ぶと、二等辺三角形だよ。

たろうさんは、点ア、点ウ、点エの3つの点を選んで結ぶと、二等辺三角形ができると言っています。

点ア、点ウ、点エの3つの点を選んで結ぶと、なぜ二等辺三角形ができるのでしょうか。そのわけを書きましょう。

【正答例】  
辺エアと辺エウは、点エを中心とする円の半径で、同じ長さです。三角形エアウは2つの辺の長さが同じだから、二等辺三角形です。

小4 : 8.5%

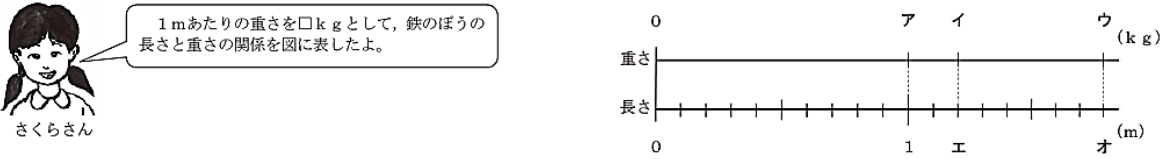
**算数** 【小学校5・6年生】

(小学校5年生)

● 小数の除法の問題場面を理解し、数直線に表すことに課題が見られる。

3 1.2mの重さが1.8kgの鉄のぼうがあります。この鉄のぼう1mの重さを求めます。  
さくらさんは、 $1.8 \div 1.2$ をすればよいことを、次のようにして考えました。

さくらさんは、下の図をかいて考えました。  
「1mあたりの重さの□」、「長さの1.2」、「重さの1.8」のそれぞれの場所は、下の図のどこになりますか。アからオまでの中から、あてはまるものを1つずつ選んで、その記号を書きましょう。





【正答】「1mあたりの重さの□」 ア 「長さの1.2」 エ 「重さの1.8」 イ


小5 : 19.6%

(小学校5年生)

● 示された割合を解釈して、基準量と比較量の関係を表している図を判断することに課題が見られる。

10 さとしさん、しおりさん、りょうたさんの3人は、ヒマワリを育てています。3人でヒマワリの高さをくらべました。しおりさんのヒマワリの高さは、さとしさんのヒマワリの高さの0.8倍だそうです。

(1) 「さとしさんのヒマワリの高さ」を , 「しおりさんのヒマワリの高さ」を  として、図に表します。「さとしさんのヒマワリの高さ」をもとにして「しおりさんのヒマワリの高さ」が0.8倍であることを表しているものを、下のアからエの中から1つ選んで、記号を書きましょう。



【正答】エ

小5 : 28.0%

(小学校6年生)

● 値引きによって1番値段が安くなる理由を記述することに課題が見られる。

8 ひろしさんは、くつを買いに行きました。  
ひろしさんが選んだくつの定価は、1800円です。  
ひろしさんは、下のアからウまでの値引き券を持っています。1つの買い物で使えるのは、1枚だけです。

ひろしさんは、値段がいちばん安くなる値引き券を使うことにしました。  
どの値引き券を使うと、ひろしさんはくつをいちばん安く買えますか。アからウまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。  
また、いちばん安く買えるわけを言葉や式を使って書きましょう。

ア どのくつでも 200円引き!	イ 2000円までのくつ すべて1500円!	ウ 定価の 20%引き!
------------------------	------------------------------	--------------------

【正答例】  
アの券を使うと、 $1800 - 200 = 1600$ で、1600円になります。  
イの券を使うと、1800円は2000円より安いので、1500円になります。  
ウの券を使うと、 $1800 \times (1 - 0.2) = 1440$ で、1440円になります。  
1600円と1500円と1440円では1440円がいちばん安いので、ウの券を使うと、いちばん安く買えます。

小6 : 42.3%

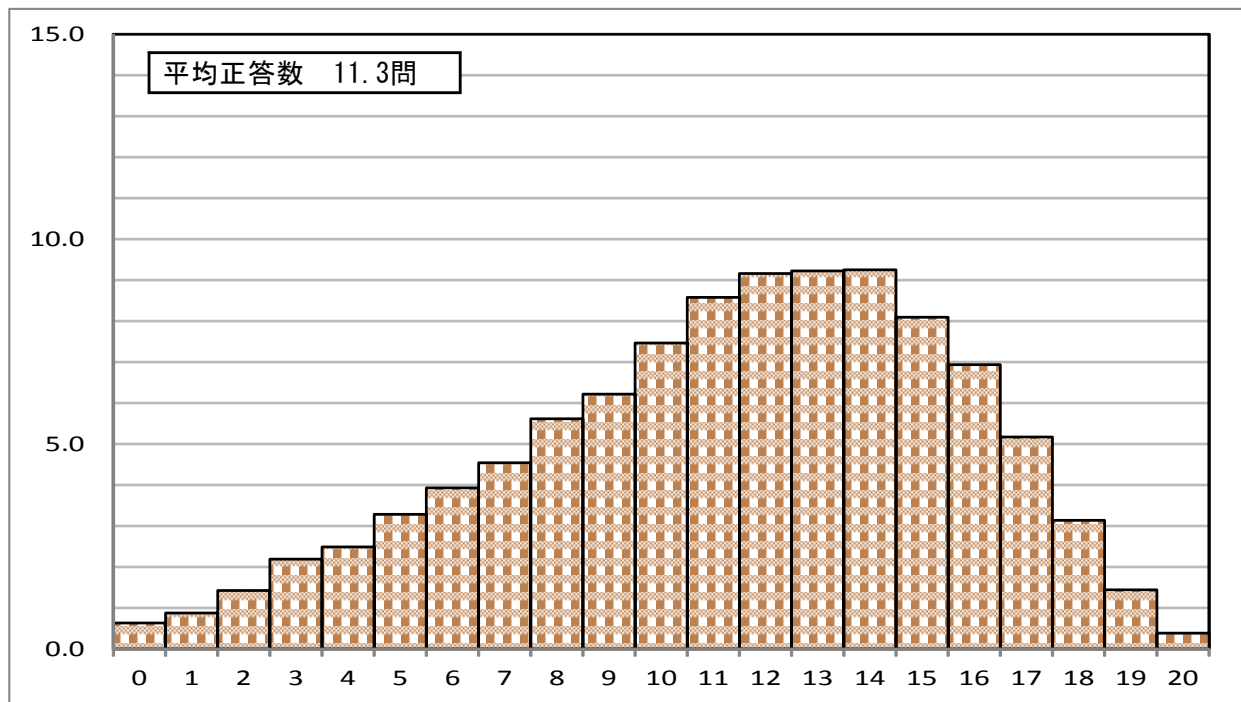
### (3) 社会

#### 【第5学年】

実施児童数	10,973 人
設問数	20 問
平均正答率	56.6 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	13	62.6
	主として「活用」	7	45.6
学習指導 要領の 領域等	身近な地域	3	57.1
	地域の生産や販売	2	68.4
	地域の人々の健康な生活	0	—
	地域の人々の安全	3	69.7
	地域の古い道具、文化財や年中 行事	0	—
	県の地形や産業	4	49.1
	我が国の国土	3	55.4
	我が国の農業や水産業	5	44.3
評価の 観点	社会的な思考・判断・表現	5	44.1
	資料活用の技能	6	60.5
	社会的事象についての知識・理解	9	61.0
問題形式	選択式	8	60.9
	短答式	8	60.1
	記述式	4	41.1

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



(全ての設問を実施した児童について算出)

## 【結果から見られる成果と課題】

- 地図の基本的な約束事に関しては、知識・理解及び資料活用の技能の定着が見られる。
  - ・ 地図記号が表している建造物を選ぶこと (1)(1)91.9%
  - ・ 縮尺を理解し、地図を見て、実際の距離を求めること (1)(2)79.4%
- 買い物調べなど、学習の対象が身近な場合には、知識の定着が見られるとともに、資料活用の技能についても一定の成果が見られる。
  - ・ 買い物調べの意図を理解し、調査結果を表にまとめること (2)(1)80.5%
- 資料から必要な情報を読み取り、それらの情報をもとに、条件に合わせて説明することに課題が見られる。
  - ・ 工場の立地について、輸送と関連付けて説明すること (1)(3)31.4%
  - ・ 米粉を活用する取組について必要な情報を読み取り、的確に表現すること (7)(2)18.6%
- 条件に合う都道府県の名前を答えることに、引き続き課題が見られる。
  - ・ 条件に合う都道府県（山形県のとなりにある県）の名前を答えること (6)(2)39.9%
- 県内の市町の位置及び名前に関する知識の定着に、引き続き課題が見られる。
  - ・ 県内の市の数を答えること (4)(2)42.4%

正答率が80%以上であるものや過去の調査等と比較し改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめています。

※ ○は成果、●は課題を示している。

社会 【小学校5年生】

- 資料から必要な情報を読み取り、それらの情報をもとに、条件に合わせて説明することに課題が見られる。

<自分たちが住んでいる市の一部を表した地図と、その地図を見ながら児童が話し合っている様子をを提示>

- (3) この話し合いで、まなぶさんは海岸線がまっすぐであることのよさを発表しています。物を運ぶことに注目して、「海岸線がまっすぐだと、」に続く「イ」の中の文を考え、まなぶさんの発表を完成させましょう。

【正答例】

- (3) (海岸線がまっすぐだと、) 船が入りやすくなり、工場で使う原料や工場で作ったせい品を運ぶのに便利だよ。

小5 : 31.4%

- (2) みほさんは資料3を見て、米の消費量を増やすために「米粉」を活用する取組を考えています。【みほさんのまとめノート】の米の消費量を増やすための提案に入る文を書きましょう。ただし、米粉の持ちょうと課題をふまえて書くこととします。

【みほさんのまとめノート】


米の消費量を増やす → 米粉をもっと使う！

米粉とは、米を原料とした粉末のこと。

米粉の持ちょう	米粉を使った商品の例
<ul style="list-style-type: none"><li>○ 小麦粉の代わりとして、パンやめん、ケーキにも使える！</li><li>○ 米粉でパンやめんをつくると、もちもちした食感になる！</li><li>○ 栄養のバランスがよい！</li></ul>	<p>近所のスーパーマーケットで調べてみました。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・米粉パン(1個) 300円</li><li>・米粉うどん(1ふくら)220円</li><li>・米粉パスタ(1ふくら)230円</li></ul>

**米粉の課題**

△小麦粉の商品より数も種類も少ない。  
△小麦粉の商品よりもねだんが少し高い。



【正答例】

- (2) 栄養のバランスのよい米粉の商品の種類を増やし、たくさんの人に食べてもらえるようになれば、米の消費量を増やすことができますと思います。

小5 : 18.6%

- 条件に合う都道府県の名前を答えることに課題が見られる。

- (2) 資料2の~~~~~ (=山形県) のとなりにある県の名前を二つ書きましょう。

【正答】 宮城県、秋田県、福島県、新潟県の中から二つ (完答)

小5 : 39.9%



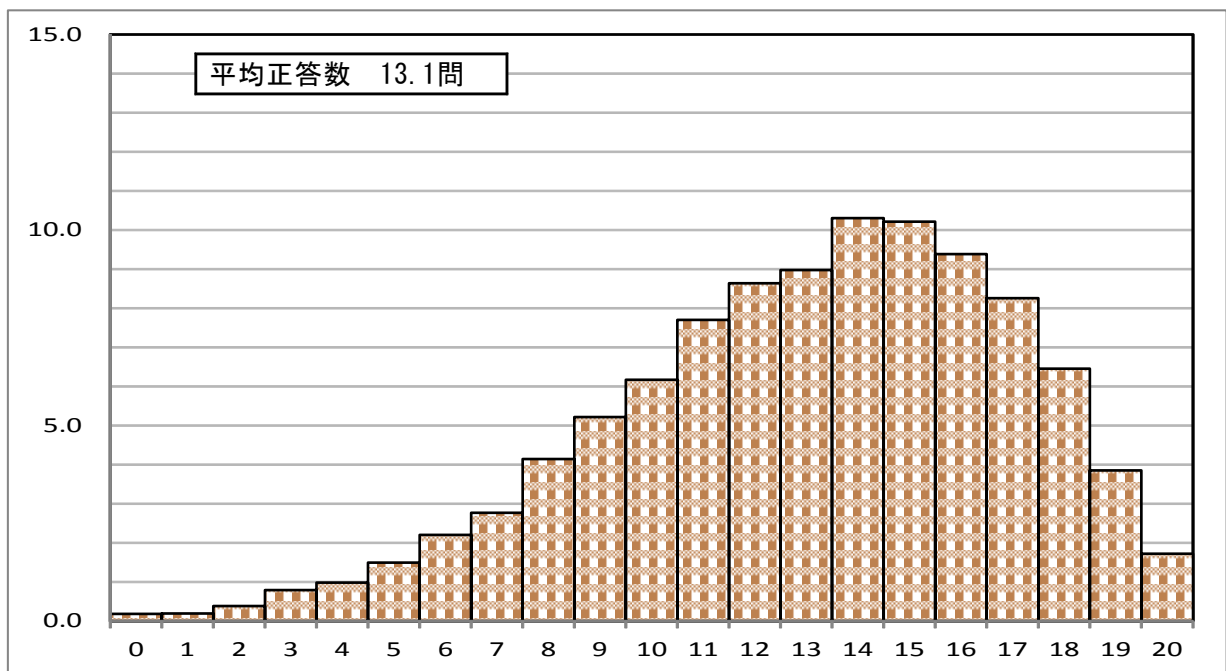
(4) 理科

【第5学年】

実施児童数	10,988 人
設問数	20 問
平均正答率	65.3 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	11	71.3
	主として「活用」	9	58.0
学習指導 要領の 領域等	物質	5	64.4
	エネルギー	4	61.1
	生命	6	78.0
	地球	5	54.2
評価の 観点	科学的な思考・表現	7	59.2
	観察・実験の技能	5	59.5
	自然事象についての知識・理解	8	74.2
問題形式	選択式	8	73.2
	短答式	7	67.6
	記述式	5	49.3

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



(全ての設問を実施した児童について算出)

## 【結果から見られる成果と課題】

- 条件に沿った実験方法を理解することに成果が見られる。
  - ・予想が正しいときに得られる結果を想定すること (1)(2)80.4%)
  
- メダカのからだのつくりとその役割を理解することに成果が見られる。
  - ・メダカの子どもの腹の袋の中に、成長に必要な養分が含まれていることを理解すること (2)(3)88.9%)
  
- 時間の変化による星座の動きを理解することに成果が見られる。
  - ・星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解すること (3)(1)86.5%)
  
- 物体の形状で質量が変わらないことを理解することに成果が見られる。
  - ・アルミニウムはくのは重さは形を変えても重さが変わらないことを理解すること (7)(2)80.0%)
  
- 適切な乾電池のつなぎ方と電流の強さの理解について改善傾向が見られる。
  - ・条件にあてはまる乾電池のつなぎ方を類推すること (4)(1)57.1%)  
H28小5 学力定着状況確認問題36.0%  
「乾電池の直列つなぎについて基礎的な用語を理解し、作図によって表現する」
  
- 太陽の動きと方位を日当たりと関連付けて考えることに課題が見られる。
  - ・方位から分かる太陽の動きと校舎の位置を関係付けながら考えることにより日当たりの最もよい場所を想定すること (1)(3)39.6%)
  
- 観察を通して学習した内容の理解を深めることについて課題が見られる。
  - ・星座早見の正しい使い方及び夏の代表的な星座について理解すること (3)(2)36.8%)
  
- 正しい方位磁針の使い方について課題が見られる。
  - ・方位磁針の正しい使い方を理解し、他者の誤った使い方を改善するための方法を説明すること (5)(1)34.2%)

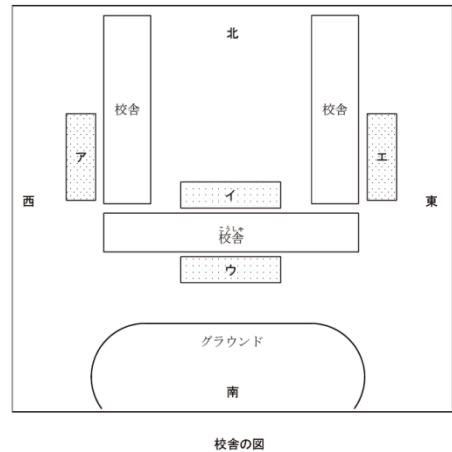
正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

理科【小学校5年生】

● 太陽の動きと方位を日当たりと関連付けて考えることに課題が見られる。

(3) 太郎さんと花子さんは、インゲンマメの成長には、日光が関係していることを学習しました。この学習を生かして、太郎さんたちはインゲンマメを植えたプランターをどこに置こうか考えています。どこに置くと最もよく育つでしょうか。次の校舎の図のアからエの中から一つ選んで、記号で答えましょう。また、選んだ理由を答えましょう。ただし、水は毎日十分に与えるようにします。



【正答例】

記号 ウ

理由 校舎の南がわは、もっとも日当たりがよいから。

小5 : 39.6%

● 正しい方位磁針の使い方について課題が見られる。

5 太郎さんと花子さんは、太陽の動きを観察しました。次の(1)、(2)の問題に答えましょう。

(1) 右の図1は、太郎さんが方位じしんを使って太陽の方位を調べているようです。そのようすを見た花子さんが次のように話しかけました。正しい太陽の方位を調べるためには、太郎さんは方位じしんの使い方をどのように直せばよいか、答えましょう。

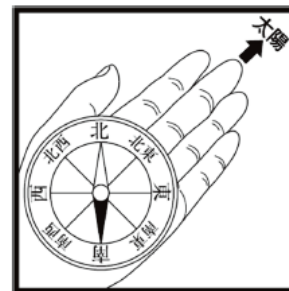


図1



花子さん

太郎さんの方位じしんの使い方では、正しい太陽の方位が調べられないと思うわ。

【正答例】

方位じしんのはりの色のついた方を北にあわせる。

小5 : 34.2%

## 2 中学校

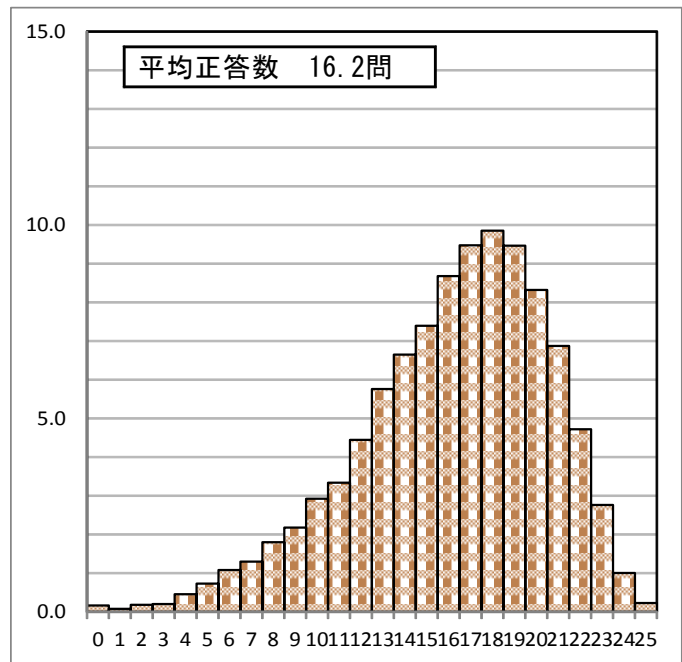
### (1) 国語

#### 【第1学年】

実施生徒数	10,578 人
設問数	25 問
平均正答率	64.7 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	20	66.1
	主として「活用」	5	59.3
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	4	58.8
	書くこと	2	40.0
	読むこと	5	63.7
	伝統的な言語事項と国語 の特質に関する事項	17	65.8
評価の 観点	話す・聞く能力	2	67.5
	書く能力	2	40.0
	読む能力	4	71.2
	言語についての 知識・理解・技能	17	65.8
問題形式	選択式	10	68.5
	短答式	13	65.6
	記述式	2	40.0

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



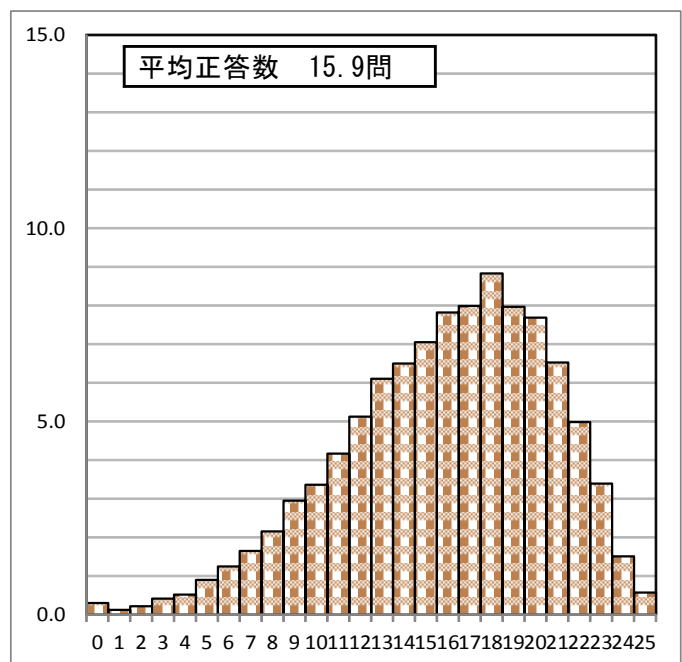
(全ての設問を実施した生徒について算出)

#### 【第2学年】

実施生徒数	10,683 人
設問数	25 問
平均正答率	63.5 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	21	67.8
	主として「活用」	4	41.0
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	3	68.3
	書くこと	2	36.4
	読むこと	6	63.8
	伝統的な言語事項と国語 の特質に関する事項	16	65.0
評価の 観点	話す・聞く能力	2	64.8
	書く能力	2	36.4
	読む能力	5	60.1
	言語についての 知識・理解・技能	16	67.8
問題形式	選択式	11	62.2
	短答式	12	68.0
	記述式	2	36.4

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)

## 【結果から見られる成果と課題】

- 1・2年生において、文脈に即して漢字を正しく読むことについては、相当数の生徒ができています。
  - ・「呼吸」(中1<sup>こきゅう</sup>2-1 : 98.3%)、「敬う」(中1<sup>うやま</sup>4-2 : 83.2%)
  - ・「歓声」(中2<sup>かんせい</sup>1-1 : 96.7%)、「鮮やか」(中2<sup>あざや</sup>4-3 : 91.1%)
- 1・2年生において、文脈に即して接続詞を適切に使うことについては、相当数の生徒ができています。(中1<sup>二</sup>2 : 91.8%、中2<sup>二</sup>1 : 82.0%)
- 1年生において、話し合いの話題や方向性を捉えて的確に話したり、相手の発言を聞いたりすることについては、相当数の生徒ができています。

(中1<sup>三</sup>5 : 86.2%)
- 1・2年生において、文脈に即して漢字を正しく書くことに課題が見られる。
  - ・「しょうたい(招待)」(中1<sup>四</sup>4-3 : 50.3%)
  - ・「きぼ(規模)」(中2<sup>四</sup>1-1 : 54.5%)

H29 中3 全国調査(県平均) 68.0%「文脈に即して漢字を正しく書く」
- 1年生において、事象や行為などを表す多様な語句を理解することに課題が見られる。
  - ・語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと(中1<sup>四</sup>二2 : 37.6%)
  - ・話し合いの記録として適切な言葉を考えること(中1<sup>五</sup>1 : 23.5%)

H29 中3 全国調査(県平均) 36.9%「事象や行為などを表す多様な語句を理解する」
- 2年生において、文章全体の構成を捉えることに課題が見られる。

(中2<sup>二</sup>四 : 44.1%)
- 1・2年生において、条件に即応して記述することに課題が見られる。
  - ・意図に沿った語句を選択し、理由について説明すること(中1<sup>五</sup>四 : 33.6%)
  - ・登場人物の心情を捉え、本文を根拠に自分の考えをまとめること

(中2<sup>一</sup>五 : 34.9%)

  - ・詩の表現技法に着目し、その効果を説明すること(中2<sup>五</sup>三 : 37.9%)

H29 中3 全国調査(県平均) 42.7%「表現の仕方について捉え、自分の考えを書く」

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

**国語【中学校1・2年生】**

(中学校1年生)

- 事象や行為などを表す多様な語句を理解することに課題が見られる。

○ ( ) 中のア～エのうち、最も適切なものをそれぞれ一つ選びなさい。

( ア たてこめる    イ たちならぶ    ウ たなびく    エ たたずむ ) 雲の間から、春の光がもれている。

**【正答】 ウ**

中1 : 37.6%

(中学校2年生)

- 条件に即応して記述することに課題が見られる。

○ 西村さんは、次のページにあるようなふるさとの童謡詩人金子みすゞの「星とたんぽぽ」の**【魅力を紹介するチラシ】**をつくることにしました。次の条件1、2にしたがって「星とたんぽぽ」の魅力を書きなさい。

条件1 「星とたんぽぽ」の魅力を紹介するために、「比喩」か「反復」か、どちらかの表現技法を取り上げて書きなさい。なお、取り上げた技法について、解答用紙の「比喩」か「反復」を○で囲みなさい。

条件2 条件1で取り上げた表現の例を「星とたんぽぽ」から引用し、60字以上、80字以内で魅力を書きなさい。

**【正答例】**

「見えぬけれどもあるんだよ、見えぬものでもあるんだよ。」を繰り返すことにより、見えないけれども存在する大切なものがあるという自分の思いを強調しています。

中2 : 37.9%

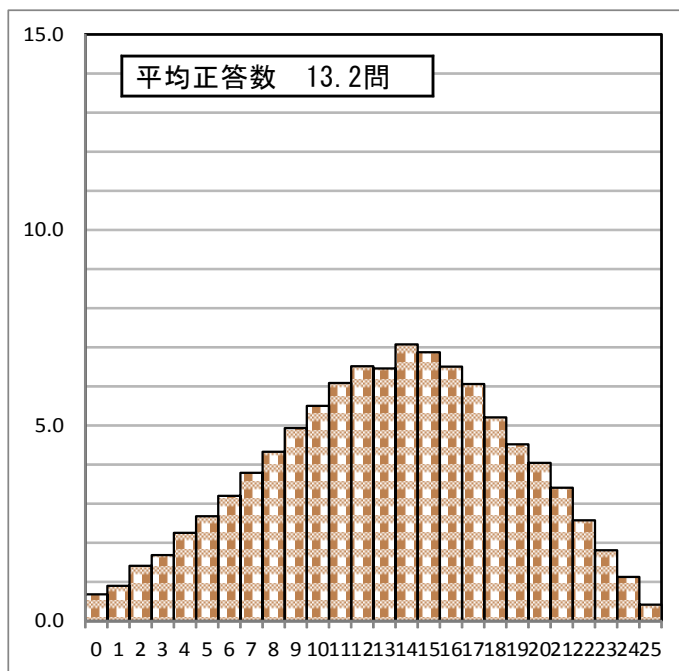
## (2) 数学

### 【第1学年】

実施生徒数	10,565 人
設問数	25 問
平均正答率	52.7 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	20	55.8
	主として「活用」	5	40.0
学習指導 要領の 領域等	数と式	17	50.8
	図形	3	45.8
	関数	2	57.8
	資料の活用	3	66.5
評価の 観点	数学的な見方や考え方	6	37.0
	数学的な技能	14	61.9
	数量や図形などについての 知識・理解	5	45.7
問題形式	選択式	3	44.8
	短答式	20	55.5
	記述式	2	36.2

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



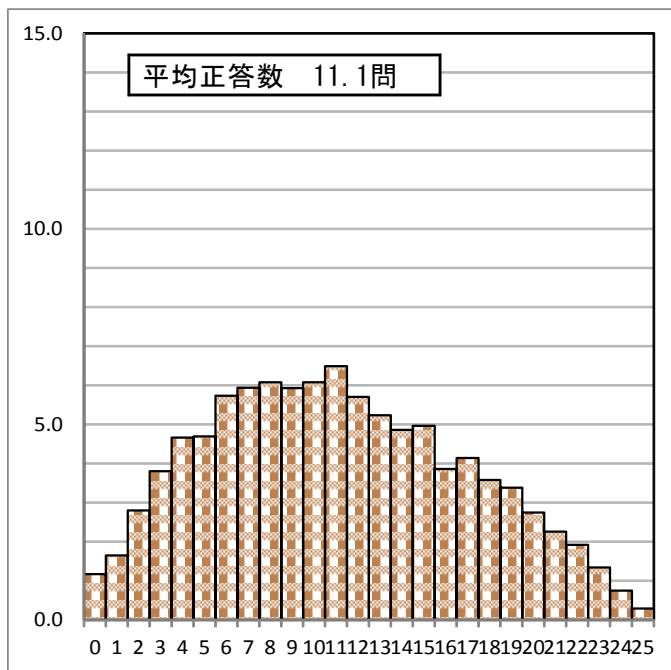
(全ての設問を実施した生徒について算出)

### 【第2学年】

実施生徒数	10,682 人
設問数	25 問
平均正答率	44.4 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	17	51.9
	主として「活用」	8	28.7
学習指導 要領の 領域等	数と式	16	43.1
	図形	4	38.2
	関数	3	64.4
	資料の活用	2	37.3
評価の 観点	数学的な見方や考え方	6	29.3
	数学的な技能	12	50.5
	数量や図形などについての 知識・理解	7	46.9
問題形式	選択式	4	61.8
	短答式	19	42.0
	記述式	2	22.4

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)

### 【結果から見られる成果と課題】

- 基本的な内容の理解に、おおむね成果が見られる。
  - ・ 小数の減法の計算をすること (中1 1)(1)89.6%)
  - ・ 反比例の表を完成すること (中1 5)(1)78.5%)
  - ・ 整式の加法と減法の計算をすること (中2 2)(1)79.8%)
  - ・ 比例のグラフの特徴を理解すること (中2 5)(1)84.9%)
  
- 数量の関係を見いだすことに、理解が見られる。
  - ・ 事象における数量の関係を見いだすこと (中1 10)(1)82.2%)
  
- 基本的な内容の一部について、理解に課題が見られる。
  - ・ 数の集合と四則計算の可能性について理解すること (中1 1)(7)36.6%)
  - ・ 比から縦、横の長さを求め、長方形の面積を求めること (中1 2)(2)21.9%)
  - ・ 道のりと時間から速さを求めること (中1 2)(3)26.5%)
  - ・ 図形のまわりの長さを求めること (中1 6)(1)10.3%)
  - ・ 絶対値の意味を理解すること (中2 1)(3)40.3%)
  - ・ 与えられた式にあう場面を選択すること (中1 3)(1)48.7%、中2 3)(1)55.7%)
  
- 割合を用いて数量の関係を表すことに課題が見られる。
  - ・ 基準量を求めること (中1 4)(2)49.2%、中2 2)(5)48.3%)
  - ・ 同じ半径の円の面積と球の表面積を比較すること (中2 7)(2)19.9%)
  - ・ 与えられた情報を適切に処理し、基準量を求めること (中2 8)(1)25.5%)
  
- 文字を用いた式で表すことに課題が見られる。
  - ・ ともなって変わる数量の関係を式に表すこと (中1 5)(2)37.2%)
  - ・ 事象における数量の関係を見だし、一般化した式をつくること (中1 10)(2)10.0%)
  - ・ 数量の関係を文字式で表すこと (中2 2)(2)21.1%)
  - ・ 与えられた情報を適切に処理し、場面に応じた式を立てること (中2 8)(2)19.9%)
  - ・ 文字式を用いて、根拠を明らかにして説明すること (中2 11)(2)20.8%)
  
- 与えられた情報を正確に読み取り、筋道を立てて考えることに課題が見られる。
  - ・ 指数を用いて、求めた数を正しく表すこと (中2 9)(1)27.7%)
  - ・ 同じ数の積の特徴を読み取ること (中2 9)(2)13.6%)
  
- 日常的な事象等を数学的に解釈して説明することに課題が見られる。
  - ・ 具体的な事象について、公倍数を使って説明すること (中1 8)(1)44.5%)
  - ・ 数量の關係に着目して説明すること (中1 10)(3)28.0%)
  - ・ 回転移動を正しく説明すること (中2 7)(3)12.5%)
  - ・ 中央値の意味を理解し、正しく説明に用いること (中2 10)(2)24.0%)

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。



**数学【中学校1・2年生】**

(中学校1・2年生)

- 基準量を求めることに課題が見られる。

次の図のように、赤いテープの長さは白いテープの長さの1.2倍でした。

赤いテープの長さを  $a$  cm とするとき、白いテープの長さを表す式を、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

ア  $a - 0.2$  (cm)  
 イ  $a \div 1.2$  (cm)  
 ウ  $a \times 1.2$  (cm)  
 エ  $a \times 0.2$  (cm)

**【正答】 イ**

中1 : 49. 2% 中2 : 48. 3%

(中学校1年生)

- 事象における数量の関係を見だし、一般化した式をつくることや、数量の関係に着目して説明することに課題が見られる。

10 断下にある掲示板に、画びょうを使ってプリントを掲示します。1枚のプリントは【図1】のように6個の画びょうでとめ、2枚以上のプリントは、【図2】のように、1枚目の右側に横1列に並べ、プリントの端を一定の長さだけ重ねて画びょうでとめるようにします。

山口さんと下松さんはプリントを掲示するときに必要な画びょうの個数について、話し合っています。

山口さん「1枚のプリントを掲示するには6個の画びょうがいるね。2枚のプリントを掲示するには何個の画びょうが必要になるかな。」  
 下松さん「プリントの端を重ねて画びょうでとめるので、10個の画びょうが必要になるね。」  
 山口さん「それでは、プリントが3枚の場合はどうなるかな。」  
 下松さん「プリントが3枚だと、14個の画びょうが必要になるね。」  
 山口さん「つまり、プリントが1枚増えるごとに、必要な画びょうが(ア)個増えるということだね。それなら、プリントが4枚以上になっても、画びょうが何個必要かを求めることができそうだね。」

(2) 山口さんは、4枚のプリントを掲示するときに必要な画びょうの個数を求めるために、次のような表をつくりました。

プリントの枚数 (枚)	必要な画びょうの個数 (個)
1	6
2	$6 + 4 \times 1 = 10$
3	$6 + 4 \times 2 = 14$
4	$6 + 4 \times 3 = 18$

山口さんは上の表から、 $n$ 枚のプリントを掲示するときに必要な画びょうの個数が、次の式で表されることに気づきました。 、 に  $n$  を使った式を入れなさい。

$6 + 4 \times ( \text{イ} )$  個 となり、この式を簡単にすると  個 となる

(3) 下松さんは25枚のプリントを掲示するために、画びょうを100個準備しました。【図2】のように、25枚のプリントを掲示するとき必要となる画びょうの数を求め、画びょうが100個で足りるかどうかを説明しなさい。

**【正答例】**  
 (1) 4 個 (2) イ :  $n - 1$  ウ :  $4n + 2$   
 (3) 25枚のプリントを掲示するとき、必要な画びょうの個数は  $4 \times 25 + 2 = 102$  で、102個である。  
 下松さんが準備した100個よりも、2個多く必要である。  
 したがって、25枚のプリントすべてを掲示するためには画びょうはたりない。

中1 : (1) 82. 2%、(2) 10. 0%、(3) 28. 0%

(中学校2年生)

- 回転移動を正しく説明することに課題が見られる。

次の図のように、正六角形ABCDEFにおいて、点Aと点D、点Bと点E、点Cと点Fを結び、3つの線分が1つの点Oで交わっている。また、できた正三角形6個をア、イ、ウ、エ、オ、カとする。

このとき、点Oを回転の中心として1回の回転移動で正三角形オを正三角形ウまで、移動する。正三角形オは、どのような回転移動によって正三角形ウに重なりますか。「点Oを中心として、」に続けて書きなさい。

**【正答例】**  
 点Oを中心として、時計回りに120°回転移動する。

中2 : 12. 5%

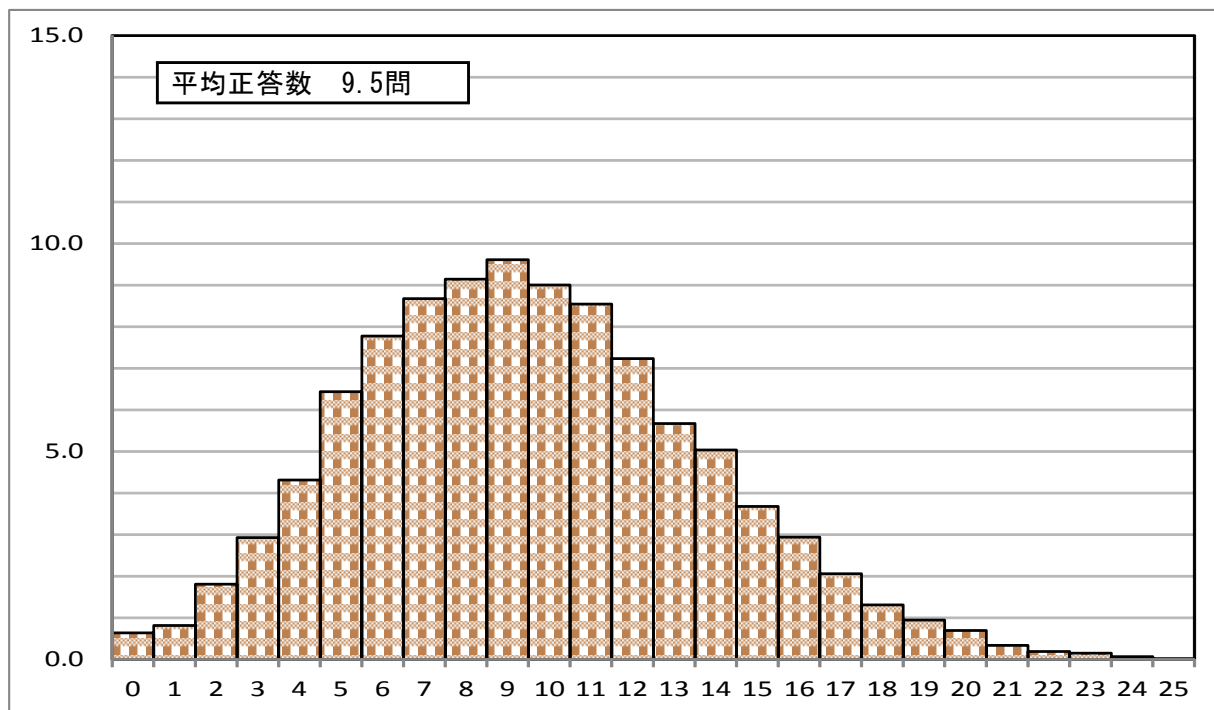
### (3) 社会

#### 【第2学年】

実施生徒数	10,687 人
設問数	25 問
平均正答率	38.2 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	15	45.7
	主として「活用」	10	26.8
学習指導 要領の 領域等	世界の地域構成	1	86.8
	世界各地の人々の生活と環境	3	32.5
	世界の諸地域	5	54.6
	世界のさまざまな地域の調査	0	—
	日本の地域構成	3	51.6
	世界と比べた日本の地域的特色	1	44.6
	歴史のとらえ方	1	44.9
	古代までの日本	5	20.2
	中世の日本	6	32.0
	近世の日本	4	16.9
評価の 観点	社会的な思考・判断・表現	6	28.4
	資料活用 of 技能	7	41.5
	社会的事象についての知識・理解	12	41.1
問題形式	選択式	9	41.0
	短答式	8	49.9
	記述式	8	23.2

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)

## 【結果から見られる成果と課題】

- 世界地図から、必要な情報を正しく読み取ることができる。
  - ・ 東京を中心とした正距方位図法から、地球表面の姿を読み取ること (3)(1)86.8%)
  
- 資料から、世界各地の人々のくらしの様子に関する情報を正しく読み取ることができる。
  - ・ 分布図から、世界の主な宗教の分布を読み取ること (4)(1)75.9%)
  
- 資料から必要な情報を読み取り、読み取った情報を関連付けて説明することに課題が見られる。
  - ・ ニースの気候の特色を表している雨温図として適切なものを選び、選んだ理由を記述すること (3)(2)7.0%)
  - ・ 江戸幕府の収入源を、幕府の直轄地と関連付けて説明すること (7)(2)7.9%)
  
- 記述式問題に課題が見られる。
  - ・ 特色ある自然環境（寒帯）と生活様式（住居）を関連付けて説明すること (4)(2)14.5%)
  - ・ 楽市令の目的を、時代背景と関連付けて説明すること (6)(3)9.4%)
  - ・ 国風文化の特徴について、平安時代の中国との関係と関連付けて説明すること (8)(2)11.3%)

正答率が80%以上であるものや過去の調査等と比較し改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめています。

※ ○は成果、●は課題を示している。(■は問題形式による課題)

**社会** 【中学校2年生】

- 資料から必要な情報を読み取り、読み取った情報を関連付けて説明することに課題が見られる。

(2) ニースの雨温図に当たるものを、次の1～4の雨温図から一つ選び、番号で答えなさい。また、ニースがその雨温図であると答えた理由を説明しなさい。  
<雨温図は略>

**【正答例】**

(2) 高緯度の割に冬が温暖で、夏に乾燥しているという地中海性気候の特色を読み取ることができるから。

中2：7.0%

(2) 江戸時代に中国銭が使われなくなり、国内の金貨や銀貨などで対応できるようになったのはなぜか、資料6の中から関係のある地名を具体的に取り上げ、説明しなさい。

**資料6 おもな幕府の直接の支配地(幕領)**

・蝦夷地  
・京都 ・大阪 ・奈良 ・長崎  
・佐渡 ・生野 ・石見 など 約400万石

**【正答例】**

(2) 幕府が佐渡の金山や生野、石見の銀山などを直接支配し、貨幣の鑄造権を握っていたから。

中2：7.9%

- 記述式問題に課題が見られる。

(3) 表中の(い)の人物(=織田信長)は、下の資料にあるような「楽市令」を出している。「座」がどのようなものか説明した上で、このような命令を(い)の人物が出した理由を説明しなさい。

**資料5 楽市令(1577年)**

一 この安土の町は楽市としたので、いろいろな座を廃止し、さまざまな税や労役を免除する。

**【正答例】**

(3) 商工業者の同業者団体である座の独占的な営業をやめさせ、商工業を活発にするため。

中2：9.4%

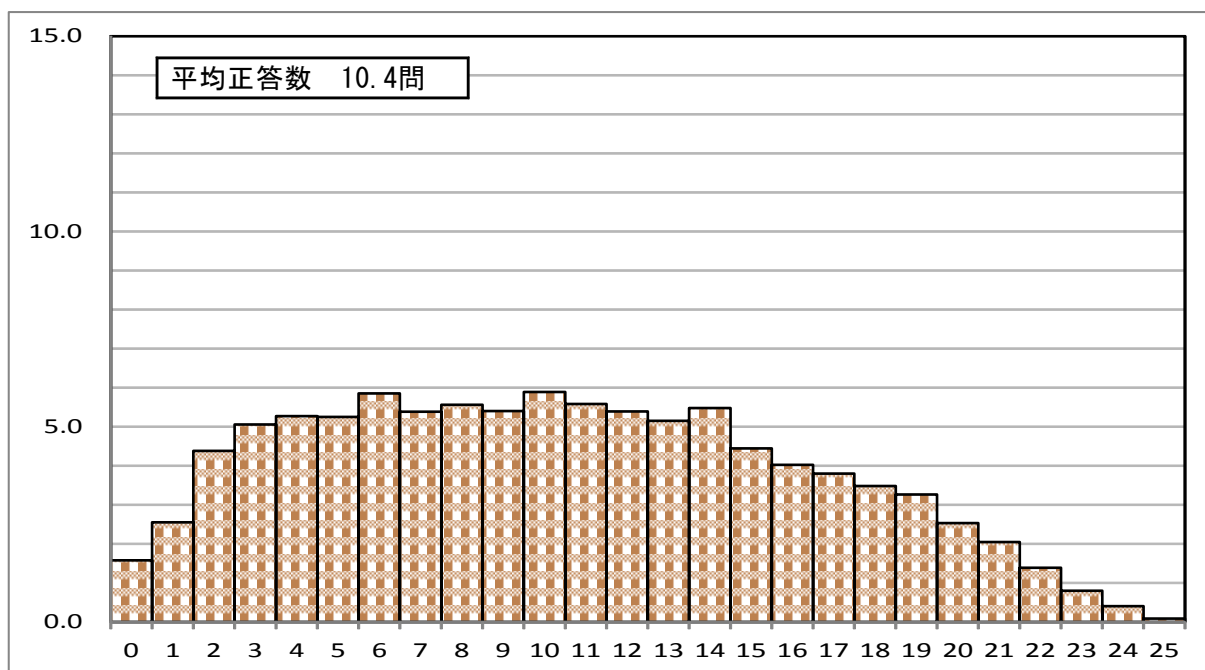
(4) 理科

【第2学年】

実施生徒数	10,666 人
設問数	25 問
平均正答率	41.7 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	14	47.7
	主として「活用」	11	34.1
学習指導 要領の 領域等	物質	11	39.4
	エネルギー	4	47.0
	生命	6	44.6
	地球	4	38.3
評価の 観点	科学的な思考・表現	11	34.1
	観察・実験の技能	3	56.2
	自然事象についての知識・理解	11	45.4
問題形式	選択式	8	48.1
	短答式	9	39.6
	記述式	8	37.7

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)

## 【結果から見られる成果と課題】

- 実験結果の表から反射の法則を見出すことに成果が見られる。
  - ・ 実験結果から規則性を見出すこと (6)(1)80.7%
  
- 化学領域の基本的な用語を使って説明することに課題が見られる。
  - ・ 状態変化と化学変化について、原子、分子の視点から説明すること (1)(2)13.0%
  
- 物質の状態を原子や分子のモデル数に着目して表すことに課題が見られる。
  - ・ 分子の状態をモデル図で表すこと (1)(3)21.5%
  
- 計算によって得られた数値を条件に合わせて利用することに課題が見られる。
  - ・ 実験結果を数値で捉えて分析し、考察すること (2)(2)4.3%
  
- 密度が表す意味を理解し、密度の違いを利用して物質を特定することに課題が見られる。
  - ・ グラフから物質の密度を読み取り、同定すること (5)(2)23.3%
  - ・ 物質の浮き沈みは、水と比較した密度の大小により決まること (5)(3)28.8%
  
- 反射の法則を利用して、鏡を通して物体が見えるしくみを理解することに課題が見られる。
  - ・ 反射の法則から鏡に反射して見える範囲を見出すこと (6)(3)21.6%
  - ・ 鏡に反射する光の道筋を正しく作図すること (6)(4)38.2%
  
- 火成岩やたい積岩の特徴を理解することに課題が見られる。
  - ・ 凝灰岩と砂岩のつくりの違いを理解すること (7)(4)8.3%

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

**理科** 【中学校2年生】

- 計算によって得られた数値を条件に合わせて利用することに課題が見られる。

2 山口さんは小学生のとき、生き物係として花びんの水をかえたときに、花びんの水の減り方が早いと感じたことがあった。このときの現象が、中学校の理科の授業で学習している「蒸散」とつながりがあると分かり、さらに興味をもった。

授業で、植物の体のどの部分が蒸散をさかんにに行っているのかを調べることになり、下の図1のA～Cの条件で一定時間に葉から蒸散する水の量を調べる実験を行い、結果を表1にまとめた。用いた植物の葉の大きさや枚数、茎の長さや太さが等しいものとして、(1)～(3)の問いに答えなさい。

(2) 表1から、葉の表側と裏側を比較したとき、一定時間に蒸散した水の量は、どちらが何  $\text{cm}^3$  多いか、計算により求めなさい。

図1

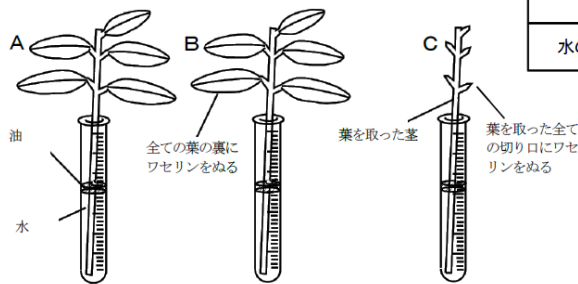


表1

記号	A	B	C
水の減少量 ( $\text{cm}^3$ )	3.8	0.6	0.2

※水面からの水の蒸発を防ぐために、A～Cの全ての試験管に油を入れた。

**【正答例】**

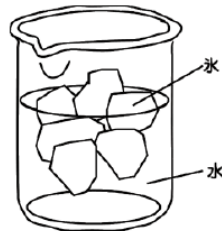
(裏側)の方が ( $2.8 \text{ cm}^3$ ) 多い。

中2 : 4.3%

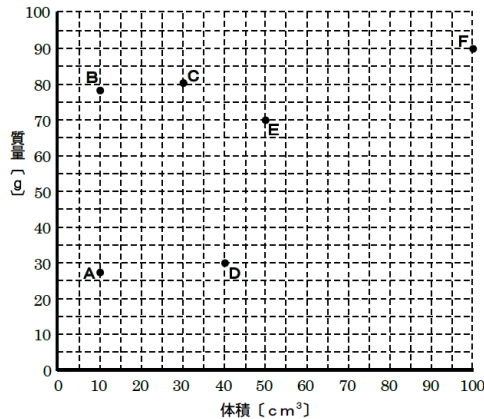
- 密度が表す意味を理解し、密度の違いを利用して物質を特定することに課題が見られる。

5 山口さんは、氷が水に浮くのはなぜか疑問に思っていた。中学生になり、理科の授業で、物質の密度の大きさを調べると液体への浮き沈みがわかることを学んだ。

下のグラフは、物質A～Fについて、それぞれの体積と質量を測定し、結果をグラフ上に示したものである。水の密度を  $1 \text{ g/cm}^3$  とし、(1)～(4)の問いに答えなさい。



(2) 物質A～Fの中で、同じ種類の物質からできているものがある。どれとどれか、記号で答えなさい。



**【正答例】**

AとC

中2 : 23.3%

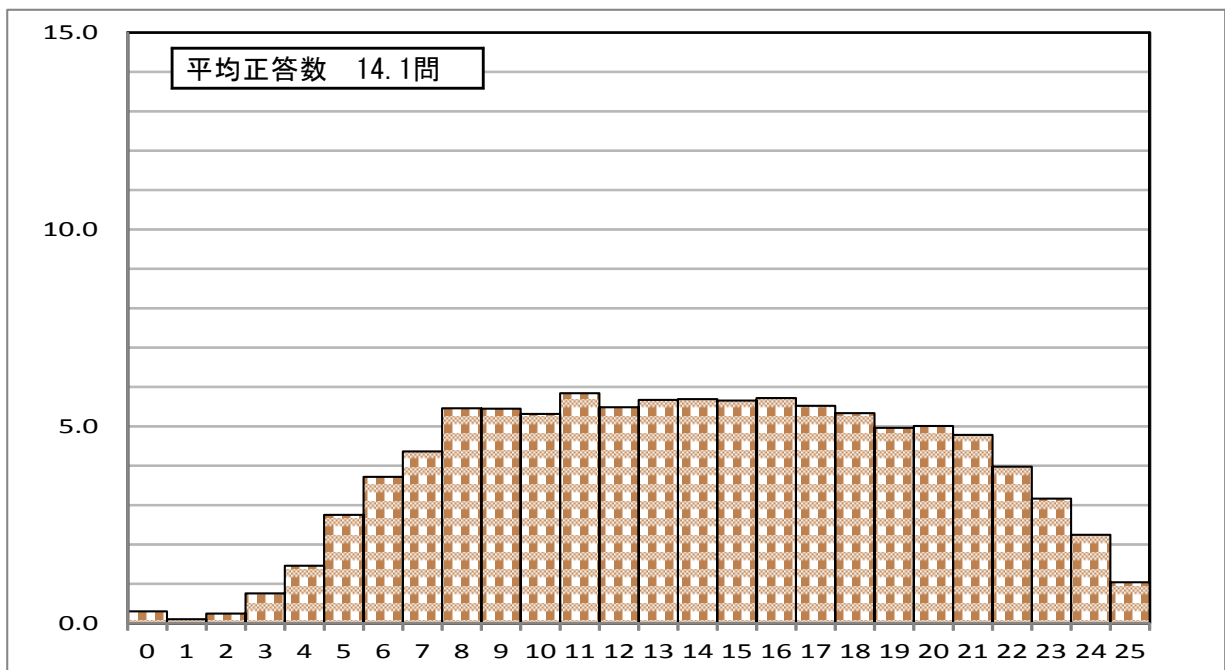
(5) 英語

【第2学年】

実施生徒数	10,685 人
設問数	25 問
平均正答率	56.2 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	20	62.7
	主として「活用」	5	30.4
学習指導 要領の 領域等	聞く	8	71.3
	読む	12	56.9
	書く	5	21.8
評価の 観点	外国語表現の能力	5	30.4
	外国語理解の能力	17	63.1
	言語や文化についての知識・理解	3	60.3
問題形式	選択式	16	68.0
	短答式	2	30.5
	記述式	7	36.8

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)



## 【結果から見られる成果と課題】

- 英語を聞いて、絵の状況を適切に表現しているものを選ぶことは、相当数の生徒ができています。
  - ・ 絵の中の人物の動作を正しく表現した英文を聞き取ること (1)(2)92.4%
- 英文を読み、内容から考えて空所に入る適切な単語を選ぶことは、相当数の生徒ができています。
  - ・ 動作を行う時間を表す際に必要となる前置詞(at)を選ぶこと (4)(1)85.3%
- 英文を読み、内容から考えて空所に入る適切な単語を、既習の学習内容を活用して選ぶことに課題が見られる。
  - ・ “Mike doesn’t like swimming very much. Mike’s friends are going to go swimming, but he ( ).” という問いに “isn’t” を選ぶこと (4)(3)23.9%
- 前後の英文から意味のつながりを考えて、空所に入る適切な英文を書くことに課題が見られる。(場面に応じた表現)
  - ・ 味噌汁の作り方を尋ねる英文を書くこと (7)(2)19.1%
  - ・ 動物園で楽しく過ごした理由となる英文を書くこと (7)(3)24.1%
- 英文を読み、その内容に関する質問の答えを考え、空所に入る適切な語を答えることに課題が見られる。
  - ・ “When did Amy come to Japan?” という質問に “On September 15. (15th, fifteen, fifteenth)” と答えること (8)(1)ア 12.3%
- 条件に合うように内容を考えて英文を書くことに課題が見られる。
  - ・ ALTと話したい話題を英語で書き、その話題に対して質問する英文を5語以上で書くこと (8)(4)32.8%

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

英語【中学校2年生】

- 前後の英文から意味のつながりを考えて、空所に入る適切な英文を書くことに課題が見られる。

7 次のそれぞれの対話文の（ ）に合う4語以上の英文1文を書き、会話を完成させなさい。

(2) 場面：ナナは、家庭科クラブでALTのブラウン先生にみそ汁(miso soup)を作りました。

Ms. Brown: Nana, you \*made this?

I like miso soup, but I don't know \*how to make it.

( )?

Nana: I put *dashi*, *tofu* and *miso* in the \*hot \*water.

Ms. Brown: Oh, I see! Thank you. Can I eat this?

Nana: Sure.

(注) made : make の過去形 how to～ : ～の仕方 hot : 熱い water : 水

【正答例】 How do you cook it? / How did you make it? など

中2 : 19. 1%

- 英文を読み、その内容に関する質問の答えを考え、空所に入る適切な語を答えることに課題が見られる。

8 次のミカの英語のスピーチ原稿を読んで、次の問いに答えなさい。

Hello, everyone. I'm Kato Mika. I'm going to talk about our new \*ALT.

On September 18, Ms. Yamada, our English teacher \*said, "The new ALT is going to come to our class tomorrow. She came to Japan from America three days ago. Let's study English with her."

The next day we were \*waiting for the new ALT. Then she came to our class. I was very \*surprised. She \*looked Japanese. She said, "Hello, everyone. My name is Amy Tanaka. Nice to meet you. My \*grandfather is Japanese. He lives in Japan, \*so I came here. I like Japanese \*culture very much. I \*look Japanese, but I'm \*American. I can't speak Japanese. Please use English in my class. Let's enjoy English together!"

Now I study English with her. She sometimes talks about \*both Japanese culture and American culture in our class. Her English class is very interesting. I didn't like English very much. But ①I love English now. \*I'm interested in America. I \*want to go there \*someday.

(1) 次の質問に対する答えとなるように、下線部に適する語、または数字を入れ、英文を完成させなさい。

ア 質問 When did Amy come to Japan? 一答え On September \_\_\_\_\_ .

中2 : 12. 3%

【正答例】 15 , 15 th  
fifteen , fifteenth

### 3 設問別正答率一覧

平成29年度 学力定着状況確認問題 出題の趣旨一覧表

小学校第3学年 国語

#### 分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県平均正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	17	64.0
	主として「活用」に関する問題	3	44.8
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	3	75.1
	書くこと	2	37.2
	読むこと	8	55.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	9	66.2
評価の観点	話す・聞く能力	3	75.1
	書く能力	2	37.2
	読む能力	7	56.9
	言語についての知識・理解・技能	8	65.6
問題形式	選択式	5	55.5
	短答式	12	67.4
	記述式	3	45.5

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			県全体正答率(%)	
				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式		
1	①	○				○				○			○	○		95.9
1	②	○				○				○			○	○		67.7
1	③	○				○				○			○	○		67.6
1	④	○				○				○			○	○		55.6
1	⑤	○				○				○		○	○			70.9
1	⑥	○				○				○			○	○		82.0
1	⑦	○				○				○		○	○			35.2
1	⑧	○				○				○			○	○		50.0
2	⑨	○		○				○						○		94.5
2	⑩	○		○		○		○					○			70.9
2	⑪		○	○				○					○			59.8
2	⑫		○		○	○			○						○	42.1
3	⑬	○				○				○				○		85.7
3	⑭	○				○				○				○		87.2
3	⑮	○				○				○					○	62.1
3	⑯	○				○				○				○		40.1
4	⑰	○				○				○				○		28.6
4	⑱	○				○				○		○				40.8
4	⑲	○				○				○				○		53.5
4	⑳		○		○				○						○	32.4

小学校第4学年 国語

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県平均正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	15	69.0
	主として「活用」に関する問題	5	43.6
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	3	43.2
	書くこと	4	46.4
	読むこと	7	59.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	10	75.0
評価の観点	話す・聞く能力	3	43.2
	書く能力	3	49.8
	読む能力	4	55.7
	言語についての知識・理解・技能	10	75.0
問題形式	選択式	6	64.0
	短答式	10	70.4
	記述式	4	41.0

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			県全体正答率(%)	
				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式		
1	① 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	○				○				○			○			94.2
1	② 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	○				○				○			○			89.5
1	③ 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	○				○				○			○			72.6
1	④ 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	○				○				○			○			83.5
1	⑤ 文の中における主語、述語を捉える	○				○				○	○					64.9
1	⑥ 漢字の部首を理解する	○				○				○			○			53.6
1	⑦ 漢字の総画を理解する	○				○				○			○			78.3
1	⑧ ローマ字を正しく読む	○				○				○			○			65.8
2	⑨ 目的に応じて資料を選択する	○			○					○			○			61.1
2	⑩ 資料を関連付けて読み、適切な見出しを付ける	○				○				○			○			58.9
2	⑪ 前後の文脈から、適切な接続語を選択する	○				○	○			○	○					88.0
2	⑫ 目的や相手に応じ、感想を書く		○		○	○				○					○	46.8
3	⑬ 目的に応じて、中心となる語を捉える	○				○				○			○			68.9
3	⑭ 目的に応じて、中心となる語や文を捉える	○				○				○			○			39.0
3	⑮ 接続語が文と文の意味のつながりに果たす役割を理解する	○				○	○			○	○					59.9
3	⑯ 目的に応じて、中心となる語や文を捉える	○				○				○			○			56.2
4	⑰ 事例を挙げながら話すよさを捉える		○	○					○				○			53.8
4	⑱ 目的に応じて、意見を述べる		○	○	○				○						○	36.0
4	⑲ 司会者の役割を理解する		○	○					○						○	39.8
4	⑳ 相手や目的に応じて、案内状を書く		○		○					○					○	41.6

小学校第5学年 国語

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県平均正答率 (%)
問題	主として「知識」に関する問題	17	58.1
	主として「活用」に関する問題	3	30.9
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	2	43.5
	書くこと	5	47.4
	読むこと	6	52.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	9	57.5
評価の観点	話す・聞く能力	2	43.5
	書く能力	5	47.4
	読む能力	4	59.7
	言語についての知識・理解・技能	9	57.5
問題形式	選択式	10	59.8
	短答式	6	61.8
	記述式	4	27.9

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			県全体正答率 (%)	
				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式		
1	①	○				○				○			○			69.9
1	②	○				○				○			○			87.2
1	③	○				○				○			○			47.0
1	④	○				○				○			○			50.8
1	⑤	○				○				○		○				65.4
1	⑥	○				○				○			○			57.5
1	⑦	○				○				○		○				75.6
1	⑧	○				○				○		○				45.1
2	⑨	○		○				○					○			51.3
2	⑩	○				○				○				○		19.1
2	⑪		○	○				○							○	35.7
3	⑫	○				○				○			○			39.5
3	⑬	○				○				○			○			68.0
3	⑭	○				○				○			○			73.0
4	⑮	○			○				○				○			65.3
4	⑯	○			○				○				○			67.1
4	⑰		○		○				○						○	25.7
5	⑱	○				○				○				○		58.2
5	⑲	○			○	○			○				○			47.5
5	⑳		○		○	○			○						○	31.1

小学校第6学年 国語

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数（問）	県平均正答率（％）
問題	主として「知識」に関する問題	15	62.6
	主として「活用」に関する問題	5	46.6
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	3	61.7
	書くこと	4	42.6
	読むこと	9	61.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	8	54.2
評価の観点	話す・聞く能力	3	61.7
	書く能力	3	39.7
	読む能力	6	72.4
	言語についての知識・理解・技能	8	54.2
問題形式	選択式	8	69.0
	短答式	9	55.9
	記述式	3	38.9

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			県全体正答率（％）	
				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式		
1	一 (1) 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	○				○				○			○			46.7
1	一 (2) 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	○				○				○			○			67.8
1	一 (3) 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	○				○				○			○			50.0
1	一 (4) 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	○				○				○			○			59.2
1	二 (5) 文の中における主語と述語を捉える	○				○				○	○					69.2
1	三 (6) ローマ字を正しく書く	○				○				○			○			64.3
1	四 (7) 故事成語の意味を理解している	○				○				○	○					40.3
1	五 (8) 主語と述語の関係に気を付けて、一文を二文に分ける	○				○				○			○			36.0
2	一 (9) スピーチの工夫として、資料提示の目的を理解する	○		○				○				○				79.6
2	二 (10) 目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫する		○	○	○			○						○		51.4
3	一 (11) 筆者の説明の意図を捉えることができる	○			○					○		○				81.6
3	二 (12) 文章の内容を的確に押さえて、筆者の考えを捉える		○		○					○			○			62.7
3	三 (13) 目的に応じて、適切な本を選ぶ	○			○					○		○				75.6
4	一 (14) グラフや表から、必要な情報を読み取る	○			○					○		○				88.7
4	二 (15) 目的や意図に応じて、資料を関連付けて読み、文章を書く		○	○	○				○				○			53.6
4	二 (16) 目的や意図に応じて、必要な内容を整理して書く		○	○	○				○					○		47.9
4	三 (17) 文章中から適切な情報を読み取る	○			○					○		○				62.5
5	一 (18) 自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉える	○		○				○				○				54.0
5	二 (19) 登場人物の心情を捉え、叙述に着目して自分の考えをまとめる		○	○	○				○					○		17.5
5	三 (20) 場面の展開に沿って読み、メッセージに気付く	○			○					○		○				63.3

小学校第3学年 算数

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県平均正答率 (%)
問題	主として「知識」に関する問題	14	74.9
	主として「活用」に関する問題	6	50.3
学習指導要領の領域	数と計算	10	76.9
	量と測定	4	67.5
	図形	3	59.2
	数量関係	3	44.7
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0	—
	数学的な考え方	6	50.3
	数量や図形についての技能	8	82.2
	数量や図形についての知識・理解	6	65.3
問題形式	選択式	2	50.4
	短答式	16	72.6
	記述式	2	44.2

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率 (%)	
				数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式		記述式
1 (1) ①	繰り上がりのある3位数の加法の計算をすることができる	○		○					○			○			87.7
1 (2) ②	繰り下がりのある3位数の減法の計算をすることができる	○		○					○			○			75.0
1 (3) ③	乗法の計算をすることができる	○		○					○			○			95.3
1 (4) ④	除法の計算をすることができる	○		○					○			○			94.7
2 (1) ⑤	十進位取り記数法について理解している	○		○						○		○			89.7
2 (2) ⑥	時刻を求めることができる	○			○				○			○			68.2
2 (3) ⑦	数の構成を理解し、数の大きさを比較することができる	○		○						○		○			44.9
2 (4) ⑧	問題場面を長さの加法の式に表し、計算することができる	○			○				○			○			71.9
3 (1) ⑨	乗法九九を用いて、乗数を求めることができる	○		○					○			○			97.1
3 (2) ⑩	数直線から数を読み取ることができる	○		○					○			○			67.6
4 (1) ⑪	かさについての感覚を身に付けている	○			○					○		○			39.4
4 (2) ⑫	長さについての感覚を身に付けている	○			○					○		○			90.6
5	⑬ 乗法の計算の性質やきまりを用いて考えることができる		○	○					○			○			79.2
6	⑭ 箱を構成することができる辺や頂点の組み合わせを理解している	○				○				○	○				71.4
7	⑮ 繰り下がりのある減法の計算方法を活用して、□に当てはまる数の求め方を記述できる		○	○					○				○		37.9
8 (1) ⑯	除法を活用して、基準量の半分の長さの求め方と答えを記述できる		○				○	○				○			39.4
8 (2) ⑰	除法を活用して、基準量の3倍の長さの求め方と答えを記述できる		○				○	○				○			65.1
9	⑱ 除法の意味について理解し、示された除法に適した問題場面を選択することができる		○				○	○				○			29.4
10 (1) ⑲	直角三角形の定義を理解している	○					○					○	○		55.5
10 (2) ⑳	四角形の定義を用いて、四角形ではない理由を記述できる		○				○		○				○		50.5

小学校第4学年 算数

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県平均正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	11	80.1
	主として「活用」に関する問題	9	46.3
学習指導要領の領域	数と計算	7	76.9
	量と測定	4	76.5
	図形	2	39.1
	数量関係	7	53.5
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0	—
	数学的な考え方	9	46.3
	数量や図形についての技能	8	83.7
	数量や図形についての知識・理解	3	70.3
問題形式	選択式	3	52.5
	短答式	14	76.0
	記述式	3	25.1

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			県全体正答率(%)
				数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	
1 (1) ①	繰り下がりのある3位数の減法の計算をすることができる	○	○						○			○			81.8
1 (2) ②	整数と小数の加法の計算をすることができる	○	○						○			○			84.5
1 (3) ③	2位数÷1位数の余りのある除法の計算をすることができる	○	○						○			○			85.5
1 (4) ④	3位数×2位数の乗法の計算をすることができる	○	○						○			○			65.4
1 (5) ⑤	同分母の分数の加法の計算をすることができる	○	○						○			○			92.8
1 (6) ⑥	3位数÷1位数の余りのある除法の計算をすることができる	○	○						○			○			78.5
2 ⑦	箱の縦の長さを、ボールの直径から考えることができる		○			○			○			○			69.7
3 ⑧	数直線の一目盛りの大きさに着目し、数の大きさを考えることができる		○	○					○			○			50.1
4 (1) ⑨	ある時刻から一定時間前の時刻を求めることができる	○				○				○		○			88.9
4 (2) ⑩	決められた時間になるように、時間の組み合わせを考えることができる		○			○			○			○			81.1
5 (1) ⑪	二次元表の見方を理解している	○				○				○		○			90.6
5 (2) ⑫	二次元表の見方を理解し、事柄に当てはまる数を求めることができる	○				○				○		○			83.2
5 (3) ⑬	二次元表の中の数が表す事柄を読み取ることができる	○				○				○		○			37.0
6 (1) ⑭	除法を活用して、基準量の半分の長さの求め方と答えを記述できる		○			○			○			○			64.0
6 (2) ⑮	比較量が基準量の何倍かを求めるために適した除法の式を選ぶことができる		○			○			○			○			57.0
7 ⑯	三角形の2つの辺の長さが円の半径であることを基に、二等辺三角形ができる理由を記述できる		○			○			○			○			8.5
8 (1) ⑰	分度器を用いて、90°よりも小さい角の大きさを求めることができる	○				○				○		○			92.5
8 (2) ⑱	360°を基に、分度器を用いて、180°よりも大きい角の大きさを求めることができる		○			○			○			○			43.4
9 (1) ⑲	グラフの特徴を基に2つのグラフが対応していないことを読み取り、違いを記述できる		○			○			○			○			23.3
9 (2) ⑳	グラフの特徴を基にグラフの対応を考え、与えられたグラフが誰のものかを判断することができる		○			○			○			○			19.4



小学校第5学年 算数

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県平均正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	14	61.5
	主として「活用」に関する問題	6	41.4
学習指導要領の領域	数と計算	8	57.8
	量と測定	3	63.0
	図形	2	73.2
	数量関係	7	44.5
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0	—
	数学的な考え方	6	41.4
	数量や図形についての技能	7	63.3
	数量や図形についての知識・理解	7	59.7
問題形式	選択式	7	51.0
	短答式	10	62.2
	記述式	3	43.5

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)	
				数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式		記述式
1	(1) (1) 数を四捨五入して、概数で表すことができる	○		○					○			○			60.0
1	(2) (2) 1/1000の数を小数点の位置に着目して求めることができる	○		○					○			○			64.6
1	(3) (3) 体積の単位について理解している	○			○					○		○			46.2
2	(1) (4) 末尾のそろっていない小数の減法の計算をすることができる	○		○					○			○			69.6
2	(2) (5) 小数の乗法の計算をすることができる	○		○					○			○			63.8
2	(3) (6) 除数が小数である場合の除法の計算を一の位まで行い、商と余りを求めることができる	○		○					○			○			36.3
2	(4) (7) 整数と分数の減法の計算をすることができる	○		○					○			○			72.0
2	(5) (8) 加法と乗法の混合した整数の計算をすることができる	○		○					○			○			76.8
3	(9) (9) 小数の除法の問題場面を理解し、数直線に表すことができる	○		○						○	○				19.6
4	(10) (10) 手紙の縦と横を三等分した長さや封筒の縦と横の長さを比べて、手紙が封筒に入る理由を記述できる		○			○		○					○		59.7
5	(11) (11) 角の大きさの測定について理解している	○			○					○	○				73.0
6	(12) (12) 長方形の面積の求め方を基に、複合図形の面積の求め方を考えることができる		○		○				○			○			70.0
7	(13) (13) 立方体の面と面の位置関係を理解している	○				○				○	○				74.3
8	(14) (14) 合同な三角形をかくために必要な構成要素を理解している	○				○				○	○				72.0
9	(1) (15) 二次元表の中の数が表す事柄を読み取ることができる	○				○				○		○			59.7
9	(2) (16) 二次元表の見方を理解し、事柄に当てはまる数を求めることができる	○				○				○		○			73.2
10	(1) (17) 示された割合を解釈して、基準量と比較量の関係を表している図を判断することができる		○			○		○				○			28.0
10	(2) (18) 基準量と割合を基にして比較量を求め、基準量と比較量の大きさの違いについて記述できる		○			○		○					○		40.6
11	(1) (19) グラフの特徴を基に2つのグラフが対応していないことを読み取り、違いを記述できる		○			○		○					○		30.2
11	(2) (20) グラフの特徴を基にグラフの対応を考え、与えられたグラフが誰のものかを判断することができる		○			○		○				○			20.0

小学校第6学年 算数

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県平均正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	15	64.0
	主として「活用」に関する問題	5	43.3
学習指導要領の領域	数と計算	8	64.2
	量と測定	3	52.6
	図形	2	32.0
	数量関係	7	63.0
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0	—
	数学的な考え方	4	46.5
	数量や図形についての技能	9	60.4
	数量や図形についての知識・理解	7	63.8
問題形式	選択式	3	56.3
	短答式	14	61.5
	記述式	3	48.9

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
				数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	
1 (1) (1)	数を四捨五入して、概数で表すことができる	○		○					○		○			58.1
1 (2) (2)	商を分数で表すことができる	○		○					○		○			55.1
1 (3) (3)	小数の乗法の結合法則について理解している	○		○						○	○			75.9
1 (4) (4)	xやyを使った数量の関係を式に表すことができる	○				○			○		○			75.4
2 (1) (5)	末尾のそろっていない小数の減法の計算をすることができる	○		○					○		○			82.5
2 (2) (6)	異分母の分数の減法の計算をすることができる	○		○					○		○			76.1
2 (3) (7)	除数小数である場合の除法の計算を一の位まで行い、商と余りを求めることができる	○		○					○		○			28.8
2 (4) (8)	小数と分数の乗法の計算をすることができる	○		○					○		○			75.1
2 (5) (9)	加法と減法、( )の混合した計算をすることができる	○		○					○		○			61.9
3 (10)	分数の乗法の意味について理解している	○				○				○	○			57.5
4 (11)	手紙の縦と横を三等分した長さや封筒の縦と横の長さを比べて、手紙が封筒に入る理由を記述できる		○			○		○				○		72.5
5 (1) (12)	三角形の底辺と高さの関係について理解している	○			○					○	○			72.1
5 (2) (13)	ひし形の面積の求め方を理解している	○			○					○	○			55.3
6 (14)	点対称の図形の定義を用いて、対称の中心を求める方法を記述できる		○			○		○				○		31.8
7 (1) (15)	円柱について、底面の円周の長さと展開図の側面の辺の長さが対応していることを理解している	○				○				○	○			32.3
7 (2) (16)	円の面積の公式を活用して、複合図形の面積を求めることができる		○		○				○		○			30.5
8 (17)	値引きによって1番値段が安くなる理由を記述できる		○			○		○				○		42.3
9 (1) (18)	二次元表の中の数が表す事柄を読み取ることができる	○				○			○		○			74.7
9 (2) (19)	二次元表の見方を理解し、事柄に当てはまる数を求めることができる	○				○			○		○			79.0
9 (3) (20)	割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶことができる		○			○		○			○			39.3

小学校第5学年 社会

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県平均正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	13	62.6
	主として「活用」に関する問題	7	45.6
学習指導要領の領域	身近な地域や市の地形、土地利用、公共施設などの様子	3	57.1
	地域の生産や販売に携わっている人々の働き	2	68.4
	地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守るための諸活動	0	—
	地域の人々の安全を守るための諸活動	3	69.7
	地域の古い道具、文化財や年中行事、地域の発展に尽くした先人の具体的事例	0	—
	県の地形や産業、県内の特色ある地域	4	49.1
	我が国の国土の様子と国民生活との関連	3	55.4
	我が国の農業や水産業(食料生産)の様子と国民生活との関連	5	44.3
評価の観点	社会的事象への関心・意欲・態度	0	—
	社会的な思考・判断・表現	5	44.1
	資料活用の技能	6	60.5
	社会的事象についての知識・理解	9	61.0
問題形式	選択式	8	60.9
	短答式	8	60.1
	記述式	4	41.1

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域								評価の観点				問題形式			県全体正答率(%)	
				身近な地域や市の地形、土地利用、公共施設などの様子	地域の生産や販売に携わっている人々の働き	地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守るための諸活動	地域の人々の安全を守るための諸活動	地域の古い道具、文化財や年中行事、地域の発展に尽くした先人の具体的事例	県の地形や産業、県内の特色ある地域	我が国の国土の様子と国民生活との関連	我が国の農業や水産業(食料生産)の様子と国民生活との関連	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解	選択式	短答式	記述式		
1	(1)	(1) 地図記号が表している建造物を選ぶことができる	○	○												○	○			91.9
1	(2)	(2) 縮尺を理解し、地図を見て、実際の距離を求めることができる	○	○												○	○			79.4
1	(3)	(3) 工場の立地について、輸送と関連付けて説明することができる		○	○									○					○	31.4
2	(1)	(4) 買い物調べの意図を理解し、調査結果を表にまとめることができる	○		○										○		○			80.5
2	(2)	(5) 買い物調べの結果をまとめた資料から、買い物の特徴を読み取ることができる		○	○									○			○			56.3
3	(1)	(6) 火災の際の消防署と警察署の連携を理解している	○					○								○	○			69.6
3	(2)	(7) 火災に備えて日常的に取り組んでいる内容を理解している	○					○								○	○			69.7
3	(3)	(8) 資料の中から適切なものを選び、火災に対する、地域の協力の必要性について説明することができる		○				○						○					○	69.9
4	(1)	(9) 資料から、山口県の主な産業の様子を読み取ることができる	○								○					○	○			50.1
4	(2)	(10) 山口県の市の数を理解している	○								○					○	○			42.4
4	(3)	(11) 山口県に隣接する県の名前(福岡県)を理解している	○								○					○	○			69.5
4	(4)	(12) 話し合いの様子から、考えを確かめるために必要な資料を選択することができる		○							○					○	○			34.3
5	(1)	(13) 大陸や大洋の位置と名称を理解している	○								○					○	○			58.1
5	(2)	(14) ブラジル連邦共和国の位置を理解している	○								○					○	○			49.7
5	(3)	(15) 日本の領土の範囲を理解している	○								○					○	○			58.4
6	(1)	(16) 作付面積に関するグラフを読み取り、表にまとめ直すことができる		○							○					○	○			64.8
6	(2)	(17) 日本の県の位置と名前について理解している	○								○					○	○			39.9
6	(3)	(18) 資料から読み取ったことを基に、品種改良によって誕生した新しい品種の特徴を説明することができる		○							○					○			○	44.2
7	(1)	(19) グラフから読み取ることができる情報として正しいものを選ぶことができる	○								○					○	○			54.1
7	(2)	(20) 米粉を活用する取組について必要な情報を読み取り、的確に表現することができる		○							○					○			○	18.6

小学校第5学年 理科

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県平均正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	11	71.3
	主として「活用」に関する問題	9	58.0
学習指導要領の領域	物質	5	64.4
	エネルギー	4	61.1
	生命	6	78.0
	地球	5	54.2
評価の観点	自然事象への関心・意欲・態度	0	—
	科学的な思考・表現	7	59.2
	観察・実験の技能	5	59.5
	自然事象についての知識・理解	8	74.2
問題形式	選択式	8	73.2
	短答式	7	67.6
	記述式	5	49.3

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
				物質	エネルギー	生命	地球	自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	選択式	短答式	
1 (1) (1)	目的に応じて実験条件を設定することができる	○				○			○		○			73.8
1 (2) (2)	予想が正しいときに得られる結果を想定することができる		○			○		○			○			80.4
1 (3) (3)	方位から分かる太陽の動きと校舎の位置を関係付けながら考えることにより、日当たりの最もよい場所を想定することができる		○				○	○					○	39.6
2 (1) (4)	解剖顕微鏡の正しい使い方を理解している	○				○			○		○			74.3
2 (2) (5)	反射鏡がどの位置にあるかを理解している	○				○			○		○			78.7
2 (3) (6)	メダカの子どもの腹の袋の中に、成長に必要な養分が含まれていることを理解している	○				○				○		○		88.9
2 (4) (7)	インゲンマメの種子の子葉が、メダカの子どもの腹の袋と同じような働きをしていることを理解している	○				○		○			○			71.8
3 (1) (8)	星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解している	○					○			○	○			86.5
3 (2) (9)	星座早見の正しい使い方及び夏の代表的な星座について理解している	○					○				○			36.8
4 (1) (10)	条件にあてはまる乾電池のつなぎ方を類推することができる		○			○		○			○			57.1
4 (2) (11)	条件にあてはまる乾電池のつなぎ方を図の資料から読み取ることができる	○				○				○	○			42.1
5 (1) (12)	方位磁針の正しい使い方を理解し、他者の誤った使い方を改善するための方法を説明することができる		○				○		○				○	34.2
5 (2) (13)	時間とともに影が動く理由について、太陽の動きと関係付けながら説明することができる	○					○			○			○	74.2
6 (1) (14)	金属と空気の温まり方の違いを理解している		○			○				○		○		70.4
6 (2) (15)	水の温まり方について理解している		○			○				○		○		74.9
7 (1) (16)	アルミニウムはくの重さは形を変えても重さが変わらないことを理解している	○				○				○	○			76.8
7 (2) (17)	アルミニウムはくの重さは形を変えても重さが変わらないことを理解している	○				○				○	○			80.0
8 (18)	空気と水の押し縮められ方の違いについて理解している		○			○		○					○	49.1
8 (19)	水と空気の押し縮められ方の違いについて理解している		○			○		○					○	49.4
9 (20)	温度の違いによって水の体積が大きくなったり、小さくなったりすることを理解している		○			○		○				○		66.8

中学校第1学年 国語

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県平均正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	20	66.1
	主として「活用」に関する問題	5	59.3
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	4	58.8
	書くこと	2	40.0
	読むこと	5	63.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	17	65.8
評価の観点	話す・聞く能力	2	67.5
	書く能力	2	40.0
	読む能力	4	71.2
	言語についての知識・理解・技能	17	65.8
問題形式	選択式	10	68.5
	短答式	13	65.6
	記述式	2	40.0

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)	
				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式		記述式
1	一	(1)	文章の展開に即して比喩表現の意味を理解する	○			○			○		○			94.4
1	二	(2)	語句の意味について理解する	○			○			○		○			86.4
1	三	(3)	文章の展開に即して当てはまる語句を補充する	○			○			○		○			60.2
1	四	(4)	文章に表れている登場人物の気持ちの変化を捉え、自分の考えをまとめる		○		○			○				○	46.3
2	一	1	(5) 文脈に即して漢字を正しく読む(こきゅう)	○			○			○		○			98.3
2		2	(6) 文脈に即して漢字を正しく書く(減って)	○			○			○		○			88.3
2	二	(7)	文脈に即して接続詞を適切に使う	○			○			○		○			91.8
2	三	(8)	必要な情報を読み取り、内容を的確に捉える		○		○			○		○			62.7
2	四	(9)	文章の内容を的確に押さえて要旨を捉える		○		○			○		○			67.6
3	一	1	(10) 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに書き直す(かをる)	○			○			○		○			58.9
3		2	(11) 表現の技法について理解する(比喩法)	○		○	○			○		○			50.1
3		3	(12) 詩の特徴をつかむ(定型詩・七五調)	○		○	○			○		○			50.1
4	一	1	(13) 文脈に即して漢字を正しく読む(かいせい)	○			○			○		○			82.8
4		2	(14) 文脈に即して漢字を正しく読む(うやまう)	○			○			○		○			83.2
4		3	(15) 文脈に即して漢字を正しく書く(招待)	○			○			○		○			50.3
4		4	(16) 文脈に即して漢字を正しく書く(半径)	○			○			○		○			58.7
4	二	1	(17) 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う(目にあまる)	○			○			○		○			52.0
4		2	(18) 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う(たなびく雲)	○			○			○		○			37.6
4		3	(19) 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う(急がば回れ)	○			○			○		○			54.0
4		4	(20) 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う(単刀直入)	○			○			○		○			69.2
4		5	(21) 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う(馬の耳に念仏)	○			○			○		○			83.7
5	一	(22)	話し合いの記録として適切な言葉を考える	○			○			○		○			23.5
5	二	(23)	目的や意図に応じて、収集した情報を関係付けながら話し合う	○		○			○			○			48.8
5	三	(24)	話し合いの話題や方向を捉えて的確に話したり、相手の発言を聞いたりする		○	○			○				○		86.2
5	四	(25)	意図に沿った語句を選択し、理由について説明する		○	○	○		○					○	33.6

中学校第2学年 国語

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県平均正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	21	67.8
	主として「活用」に関する問題	4	41.0
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	3	68.3
	書くこと	2	36.4
	読むこと	6	63.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	16	65.0
評価の観点	話す・聞く能力	2	64.8
	書く能力	2	36.4
	読む能力	5	60.1
	言語についての知識・理解・技能	16	67.8
問題形式	選択式	11	62.2
	短答式	12	68.0
	記述式	2	36.4

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			県全体正答率(%)
				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	
1	一	1	(1) 文脈に即して漢字を正しく読む(かんせい)	○				○				○	○		96.7
1		2	(2) 文脈に即して漢字を正しく書く(意外)	○				○				○	○		76.2
1	二		(3) 表現の技法について理解する(倒置法)	○				○				○	○		83.1
1	三		(4) 文章の展開に即して内容を理解する	○						○		○			72.5
1	四		(5) 文章の展開に即して内容を理解する		○					○			○		47.0
1	五		(6) 登場人物の心情を捉え、本文を根拠に自分の考えをまとめる		○	○				○				○	34.9
2	一		(7) 文脈に即して接続詞を適切に使う	○								○	○		82.0
2	二		(8) 内容を的確に捉え、必要な情報を取り出す	○						○			○		66.1
2	三		(9) 内容を正確に捉えて、該当するものを選ぶ	○						○			○		70.9
2	四		(10) 文章全体の構成を捉える		○					○		○			44.1
3	一		(11) 歴史的仮名づかいを現代仮名づかいに直す(おはせね)	○				○				○	○		33.6
3	二		(12) 口語訳にあう原文を抜き出す	○				○				○	○		55.4
3	三		(13) 古典作品名を漢字で正しく書く(「竹取物語」)	○				○				○	○		78.3
4	一	1	(14) 文脈に即して漢字を正しく書く(規模)	○				○				○	○		54.5
4		2	(15) 文脈に即して漢字を正しく書く(延期)	○				○				○	○		55.7
4		3	(16) 文脈に即して漢字を正しく読む(あざやか)	○				○				○	○		91.1
4		4	(17) 文脈に即して漢字を正しく読む(むくわれた)	○				○				○	○		90.1
4	二	1	(18) 時と場に応じて、適切な敬語をつかう(尊敬語 おっしゃった)	○				○				○	○		48.9
4		2	(19) 時と場に応じて、適切な敬語をつかう(尊敬語 ご利用になる)	○		○		○				○	○		75.5
4	三	1	(20) 自立語と付属語について理解している	○				○				○	○		49.9
4		2	(21) 自立語の特徴について理解している	○				○				○	○		55.7
5	一		(22) 表現技法の効果について、説明を基に適するものを選ぶ	○				○				○	○		58.0
5	二	ア	(23) 話し合いにおける役割を捉える	○		○			○				○		71.7
5	二	イ	(24) 話し手の立場や意図を的確に捉える	○		○			○				○		57.9
5	三		(25) 詩の表現技法に着目し、その効果を説明する		○	○		○		○				○	37.9

中学校第1学年 数学

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県平均正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	20	55.8
	主として「活用」に関する問題	5	40.0
学習指導要領の領域	数と式	17	50.8
	図形	3	45.8
	関数	2	57.8
	資料の活用	3	66.5
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0	—
	数学的な見方や考え方	6	37.0
	数学的な技能	14	61.9
	数量や図形などについての知識・理解	5	45.7
問題形式	選択式	3	44.8
	短答式	20	55.5
	記述式	2	36.2

設問別集計結果

設問番号			出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			県全体正答率(%)
						数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	
1	(1)	(1)	小数の減法の計算ができる	○		○						○		○			89.6
1	(2)	(2)	小数と分数の乗法の計算ができる	○		○						○		○			67.5
1	(3)	(3)	計算のきまりにしたがって計算することができる	○		○						○		○			69.3
1	(4)	(4)	指数を含む正の数と負の数の計算ができる	○		○						○		○			59.4
1	(5)	(5)	絶対値の意味を理解している	○		○						○		○			54.9
1	(6)	(6)	基準を用いて平均を求めることができる	○		○						○		○			62.0
1	(7)	(7)	数の集合と四則計算の可能性について理解している	○		○						○	○				36.6
2	(1)	(8)	整式どうしの減法の計算ができる	○		○						○		○			53.5
2	(2)	(9)	比から縦、横の長さを求め、長方形の面積を求めることができる	○		○					○			○			21.9
2	(3)	(10)	道のりと時間から速さを求めることができる	○		○						○		○			26.5
3		(11)	与えられた式にあう場面を選択することができる		○	○					○			○			48.7
4	(1)	(12)	基準量を基に比較量を求めることができる	○		○						○		○			60.4
4	(2)	(13)	基準量を求めることができる	○		○						○		○			49.2
5	(1)	(14)	反比例の表を完成することができる	○				○				○		○			78.5
5	(2)	(15)	ともなって変わる数量の関係を式に表すことができる	○				○				○		○			37.2
6		(16)	図形のまわりの長さを求めることができる	○				○				○		○			10.3
7	(1)	(17)	立方体のまわりの長さを求めることができる	○				○				○		○			61.2
7	(2)	(18)	面のつながりを考えて展開図に線をかくことができる	○				○				○		○			65.8
8		(19)	具体的な事象について、公倍数を使って説明することができる		○	○					○					○	44.5
9	(1)	(20)	順列について、落ちや重なりがないように求めることができる	○				○				○		○			77.1
9	(2)	(21)	組み合わせについて、落ちや重なりがないように求めることができる	○				○				○		○			53.6
9	(3)	(22)	二次元表の意味を考えながら、データを正確に分類することができる		○			○			○			○			68.7
10	(1)	(23)	事象における数量の関係を見いだすことができる	○		○						○		○			82.2
10	(2)	(24)	事象における数量の関係を見だし、一般化した式をつくることができる		○	○						○		○			10.0
10	(3)	(25)	数量の関係に着目して説明することができる		○	○						○				○	28.0

中学校第2学年 数学

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県平均正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	17	51.9
	主として「活用」に関する問題	8	28.7
学習指導要領の領域	数と式	16	43.1
	図形	4	38.2
	関数	3	64.4
	資料の活用	2	37.3
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0	—
	数学的な見方や考え方	6	29.3
	数学的な技能	12	50.5
	数量や図形などについての知識・理解	7	46.9
問題形式	選択式	4	61.8
	短答式	19	42.0
	記述式	2	22.4

設問別集計結果

設問番号			出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			県全体正答率(%)
						数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	
1	(1)	(1)	小数と分数の乗法の計算ができる	○	○					○			○				60.4
1	(2)	(2)	計算のきまりにしたがって計算することができる	○	○					○			○				70.6
1	(3)	(3)	絶対値の意味を理解している	○	○						○		○				40.3
1	(4)	(4)	基準を用いて平均を求めることができる	○	○					○			○				60.6
2	(1)	(5)	整式の加法と減法の計算ができる	○	○					○							79.8
2	(2)	(6)	数量の関係を文字式で表すことができる	○	○					○			○				21.1
2	(3)	(7)	等式を目的に応じて変形することができる	○	○					○			○				55.6
2	(4)	(8)	連立二元一次方程式を解くことができる	○	○					○			○				48.4
2	(5)	(9)	基準量を求めることができる	○	○					○			○				48.3
3		(10)	与えられた式にあう場面を選択することができる		○	○				○			○				55.7
4	(1)	(11)	反比例の関係を式に表すことができる	○			○			○			○				49.4
4	(2)	(12)	反比例の関係をを用いて、水面の高さを求めることができる	○			○			○			○				58.9
5		(13)	比例のグラフの特徴を理解している	○			○				○	○					84.9
6		(14)	垂線の作図について正しい意味を理解している	○			○				○	○					56.8
7	(1)	(15)	正四角錐を構成する底面について理解している	○							○	○					63.4
7	(2)	(16)	同じ半径の円の面積と球の表面積を比較することができる	○			○				○		○				19.9
7	(3)	(17)	回転移動を正しく説明することができる	○			○				○		○				12.5
8	(1)	(18)	与えられた情報を適切に処理し、基準量を求めることができる	○	○					○			○				25.5
8	(2)	(19)	与えられた情報を適切に処理し、場面に応じた式を立てることができる	○	○					○			○				19.9
9	(1)	(20)	指数を用いて、求めた数を正しく表すことができる	○	○						○		○				27.7
9	(2)	(21)	同じ数の積の特徴を読み取ることができる	○	○					○			○				13.6
10	(1)	(22)	階級の幅を理解している	○			○				○		○				50.6
10	(2)	(23)	中央値の意味を理解し、正しく説明に用いることができる		○		○			○					○		24.0
11	(1)	(24)	文字を用いて関係や法則を式に表したり、式を計算して説明に用いたりすることができる。	○	○					○			○				41.9
11	(2)	(25)	文字式を用いて、根拠を明らかにして説明することができる	○	○					○			○				20.8



中学校第2学年 社会（地理的分野）

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数（問）	県平均正答率（％）
問題	主として「知識」に関する問題	7	45.7
	主として「活用」に関する問題	6	26.8
学習指導要領の領域	世界の地域構成	1	86.8
	世界各地の人々の生活と環境	3	32.5
	世界の諸地域	5	54.6
	世界のさまざまな地域の調査	0	—
	日本の地域構成	3	51.6
	世界と比べた日本の地域的特色	1	44.6
評価の観点	社会的事象への関心・意欲・態度	0	—
	社会的な思考・判断・表現	3	28.4
	資料活用 of 技能	6	41.5
	社会的事象についての知識・理解	4	41.1
問題形式	選択式	4	41.0
	短答式	5	49.9
	記述式	4	23.2

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域						評価の観点				問題形式			県全体正答率（％）
				世界の地域構成	世界各地の人々の生活と環境	世界の諸地域	世界のさまざまな地域の調査	日本の地域構成	世界と比べた日本の地域的特色	社会的な思考・判断・表現	社会的な思考・判断・表現	資料活用 of 技能	社会的な思考・判断・表現	社会的な思考・判断・表現	社会的な思考・判断・表現	社会的な思考・判断・表現	
1 (1) (1)	南アメリカ州の地形（アマゾン川）について理解している	○				○							○	○		66.5	
1 (2) (2)	複数の資料から読み取ることのできる情報をもとに、南アメリカ州の産業の特色について説明することができる		○			○					○				○	56.5	
2 (1) (3)	資料から、オーストラリアの鉱産資源の分布について読み取ることができる	○				○						○	○			43.2	
2 (2) (4)	オーストラリアの地域的特色について理解している	○				○							○	○		36.3	
2 (3) (5)	国旗の由来について、歴史的背景と関連付けて説明することができる		○			○					○				○	70.6	
3 (1) (6)	東京を中心とした正距方位図法から、地球表面の姿を読み取ることができる	○	○									○	○			86.8	
3 (2) (7)	ニースの気候の特色を表している雨温図を選ぶことができる		○		○							○			○	7.0	
3 (3) (8)	資料から読み取ることのできる情報を基に、時差の計算ができる		○					○				○		○		37.8	
4 (1) (9)	世界の主な宗教の分布について理解している	○				○							○	○		75.9	
4 (2) (10)	特色ある自然環境（寒帯）と生活様式（住居）を関連付けて、説明することができる		○		○						○				○	14.5	
5 (1) (11)	日本の地域区分について理解している	○						○					○	○		54.0	
5 (2) (12)	日本の都道府県の位置を地図中に正しく示すことができる	○						○					○	○		62.8	
5 (3) (13)	都道府県の面積と人口から、人口密度の計算ができる		○						○				○	○		44.6	

中学校第2学年 社会（歴史的分野）

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数（問）	県平均正答率（%）
問題	主として「知識」に関する問題	8	45.7
	主として「活用」に関する問題	4	26.8
学習指導要領の領域	歴史のとらえ方	1	44.9
	古代までの日本	5	20.2
	中世の日本	6	32.0
	近世の日本	4	16.9
評価の観点	社会的事象への関心・意欲・態度	0	—
	社会的な思考・判断・表現	3	28.4
	資料活用の技能	1	41.5
	社会的事象についての知識・理解	8	41.1
問題形式	選択式	5	41.0
	短答式	3	49.9
	記述式	4	23.2

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			県全体正答率（%）
				歴史のとらえ方	古代までの日本	中世の日本	近世の日本	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	
6 (1) (14)	源頼朝、織田信長に関連するできごとについて理解している	○			○	○				○		○			38.2
6 (2) (15)	鎌倉時代から戦国時代までの人物やできごとについて理解している	○			○	○				○	○				12.2
6 (3) (16)	楽市令の目的を時代背景と関連付けて説明することができる		○			○		○					○		9.4
7 (1) (17)	各時代に日本と関係の深い中国の王朝名について理解している	○			○	○				○	○				32.0
7 (2) (18)	江戸幕府の収入源を、幕府の直轄地と関連付けて説明することができる		○			○		○					○		7.9
7 (3) (19)	奈良時代のできごとについて理解している	○			○					○	○				23.2
8 (1) (20)	室町時代の建築様式について理解している	○				○				○		○			50.6
8 (2) (21)	国風文化の特徴について、平安時代の中国との関係と関連付けて説明することができる		○		○			○					○		11.3
8 (3) (22)	鎌倉時代の仏教の宗派と開祖について関連付けて理解している	○				○				○	○				33.2
9 (1) (23)	弥生時代、室町時代の人々の暮らしについて理解している	○			○	○				○	○				26.0
9 (2) (24)	年代（世紀）の表し方について理解している	○		○						○		○			44.9
9 (3) (25)	資料から、大和政権の勢力と古墳の広がりとの関連性を読み取ることができる		○		○				○				○		8.5

中学校第2学年 理科

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県平均正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	14	47.7
	主として「活用」に関する問題	11	34.1
学習指導要領の領域	物質	11	39.4
	エネルギー	4	47.0
	生命	6	44.6
	地球	4	38.3
評価の観点	自然事象への関心・意欲・態度	0	—
	科学的な思考・表現	11	34.1
	観察・実験の技能	3	56.2
	自然事象についての知識・理解	11	45.4
問題形式	選択式	8	48.1
	短答式	9	39.6
	記述式	8	37.7

設問別集計結果

設問番号		出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
					物質	エネルギー	生命	地球	自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	選択式	短答式	
1	(1)	(1) 状態変化と化学変化のちがいについて、モデル図から読み取ることができる	○		○						○		○		35.9
1	(2)	(2) 状態変化と化学変化について、原子、分子の視点から文章で簡潔に説明することができる	○		○						○			○	13.0
1	(3)	(3) 分子の状態を、モデル図で表すことができる		○	○				○					○	21.5
2	(1)	(4) 設定された実験の条件の関係を理解している		○				○			○				51.8
2	(2)	(5) 実験結果を数値で捉えて分析し、考察することができる		○				○				○			4.3
2	(3)	(6) 蒸散量と気孔の数の関係を理解している	○				○				○			○	60.2
3	(1)	(7) 被子植物と裸子植物の特徴の違いを理解している		○					○					○	46.7
3	(2)	(8) 双子葉類と単子葉類の特徴の違いを理解している	○								○	○			43.9
3	(3)	(9) 合弁花と離弁花の特徴の違いを理解している	○				○				○			○	60.9
4	(1)	(10) ガスバーナーを正しく操作することができる	○		○					○		○			58.5
4	(2)	(11) ガスバーナーを正しく操作することができる	○		○					○		○			54.1
4	(3)	(12) 二酸化炭素の確認方法について理解している	○		○					○			○		55.9
4	(4)	(13) 有機物の燃焼について理解している	○		○						○		○		47.7
5	(1)	(14) グラフから物質の体積と質量を読み取り、物質の密度を求めることができる		○	○				○				○		42.1
5	(2)	(15) グラフから物質の密度を読み取り、同定することができる		○	○				○				○		23.3
5	(3)	(16) 物質の浮き沈みは、水と比較した密度の大小により決まることを理解している		○	○				○				○		28.8
5	(4)	(17) 物質の浮き沈みについて、文章で簡潔に説明することができる		○	○				○					○	52.7
6	(1)	(18) 実験結果から規則性を見出すことができる	○			○					○	○			80.7
6	(2)	(19) 反射の法則について理解している	○			○					○		○		47.5
6	(3)	(20) 反射の法則から鏡に反射して見える範囲を見出すことができる		○		○			○				○		21.6
6	(4)	(21) 鏡に反射する光の道筋を正しく作図することができる		○		○			○					○	38.2
7	(1)	(22) 侵食によるはたらきを理解している	○					○			○		○		59.4
7	(2)	(23) 河口付近の海底にれきが多いことを理解し、それを表す柱状図を予想することができる		○				○				○			43.8
7	(3)	(24) 河口付近から離れるほど、海底に堆積する粒が小さいものが多くなることを理解している	○					○				○	○		41.6
7	(4)	(25) 凝灰岩と砂岩のつくりの違いを理解している	○					○				○		○	8.3

中学校第2学年 英語

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県平均正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	20	62.7
	主として「活用」に関する問題	5	30.4
学習指導要領の領域	聞く	8	71.3
	読む	12	56.9
	書く	5	21.8
評価の観点	表現	5	30.4
	理解	17	63.1
	言語・文化	3	60.3
問題形式	選択式	16	68.0
	短答式	2	30.5
	記述式	7	36.8

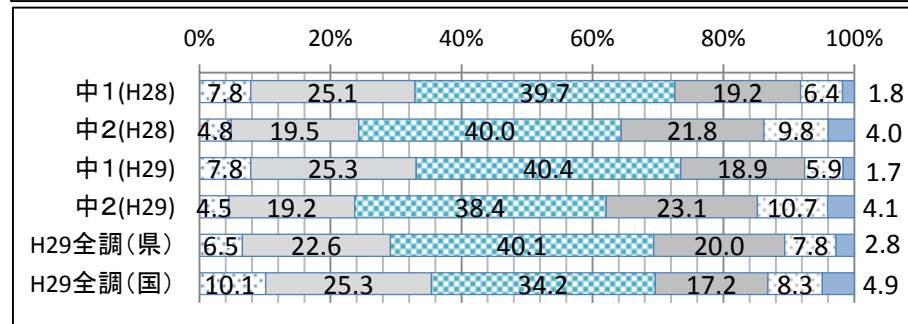
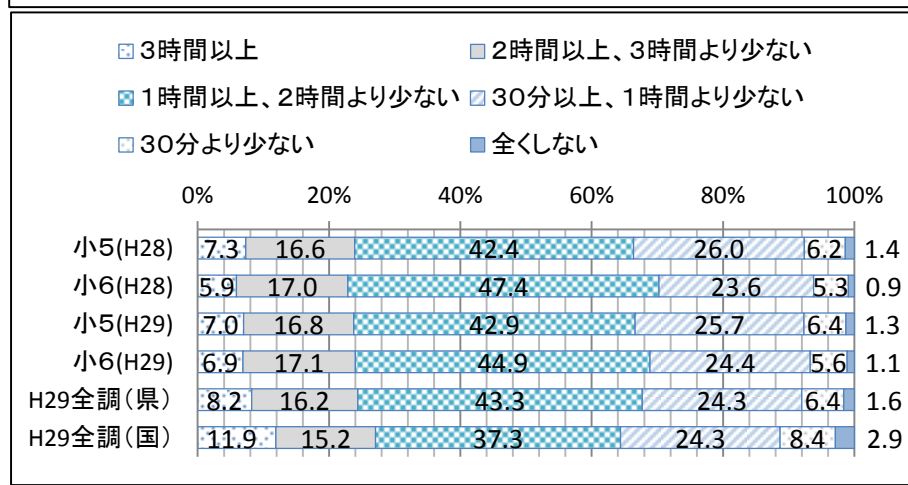
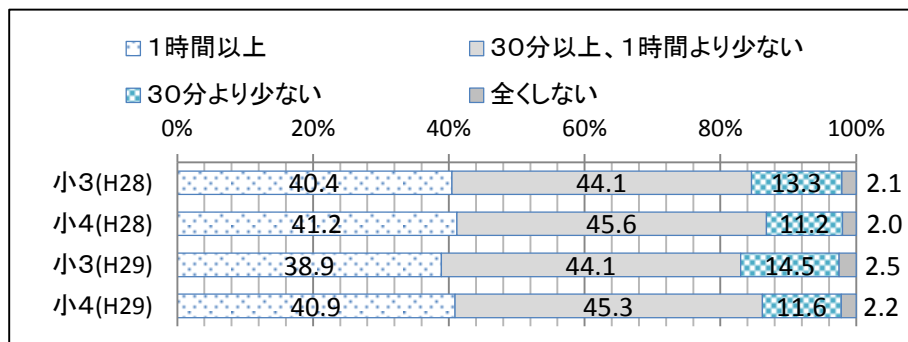
設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
				聞く	読む	書く	表現	理解	言語・文化	選択式	短答式	記述式	
1	(1) 1)	英語を聞いて絵の状況を適切に表現しているものを選ぶ	○	○			○		○				90.0
1	(2) 2)	英語を聞いて絵の状況を適切に表現しているものを選ぶ	○	○			○		○				92.4
2	(1) 3)	英語で何を問われているかを理解し、適切な答えを選ぶ	○	○			○		○				73.0
2	(2) 4)	英語で何を問われているかを理解し、適切な答えを選ぶ	○	○			○		○				62.7
2	(3) 5)	英語で何を問われているかを理解し、適切な答えを選ぶ	○	○			○		○				62.2
3	(1) 6)	英語の対話を聞いて、その内容についての質問に対する答えを選ぶ	○	○			○		○				73.2
3	(2) 7)	英語の対話を聞いて、その内容についての質問に対する答えを選ぶ	○	○			○		○				79.3
3	(3) 8)	英語の対話を聞いて、その内容についての質問に対する答えを選ぶ	○	○			○		○				37.8
4	(1) 9)	英文を読み、内容から考えて空所に入る適切な語を選ぶ	○		○				○	○			85.3
4	(2) 10)	英文を読み、内容から考えて空所に入る適切な語を選ぶ	○		○				○	○			71.6
4	(3) 11)	英文を読み、内容から考えて空所に入る適切な語を選ぶ	○		○				○	○			23.9
5	(1) 12)	英語で書かれた情報を読み取り、質問に対する適切な答えを選ぶ	○		○			○		○			58.8
5	(2) 13)	英語で書かれた情報を読み取り、質問に対する適切な答えを選ぶ	○		○			○		○			76.2
5	(3) 14)	英語で書かれた情報を読み取り、質問に対する適切な答えを選ぶ	○		○			○		○			61.6
6	(1) 15)	英語で書かれた情報を読み取り、質問に日本語で答える	○		○			○				○	52.4
6	(2) 16)	英文の内容から判断して、状況に合う適切な表現を選ぶ	○		○			○		○			64.6
6	(3) 17)	英語の内容から判断して、タイトルとして適切な表現を選ぶ	○		○			○		○			74.7
7	(1) 18)	前後の英文から意味のつながりを考えて、空所に入る適切な英文を書く		○		○	○					○	33.0
7	(2) 19)	前後の英文から意味のつながりを考えて、空所に入る適切な英文を書く		○		○	○					○	19.1
7	(3) 20)	前後の英文から意味のつながりを考えて、空所に入る適切な英文を書く		○		○	○					○	24.1
8	(1)ア 21)	英文を読み、その内容に関する質問の答えを考え、空所に入る適切な語を答える	○		○			○			○		12.3
8	(1)イ 22)	英文を読み、その内容に関する質問の答えを考え、空所に入る適切な語を答える	○		○			○			○		48.7
8	(2) 23)	英語で書かれた情報を読み取り、質問に日本語で答える	○		○			○				○	53.2
8	(3) 24)	文脈に合うように、空所に入る適切な英文を書く		○		○	○					○	42.9
8	(4) 25)	条件に合うように内容を考えて英文を書く		○		○	○					○	32.8

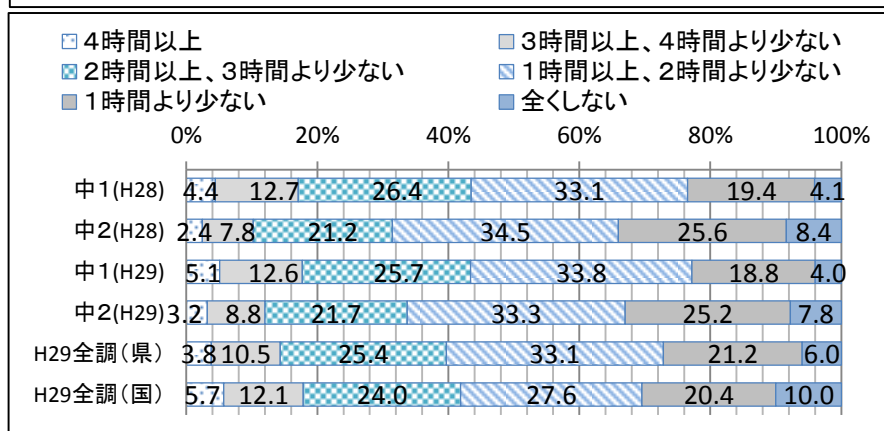
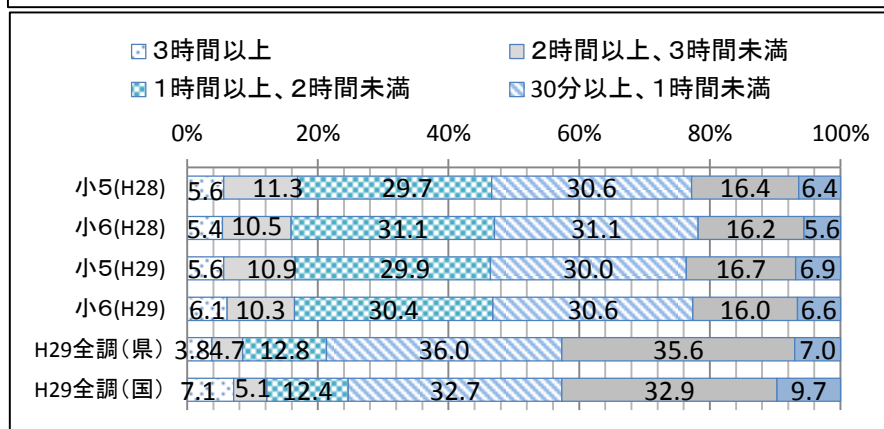
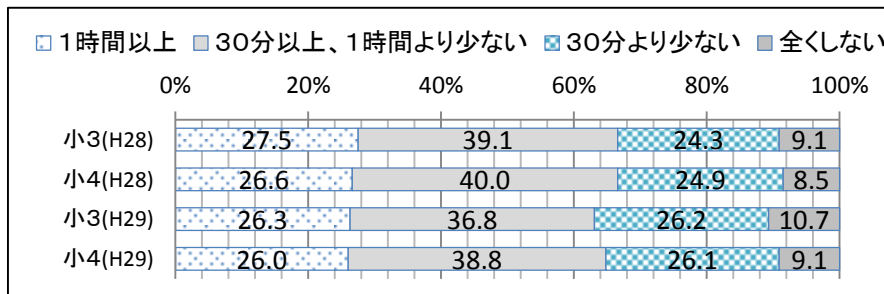
### Ⅲ 児童生徒質問紙の結果

### Ⅲ 児童生徒質問紙の結果

1 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

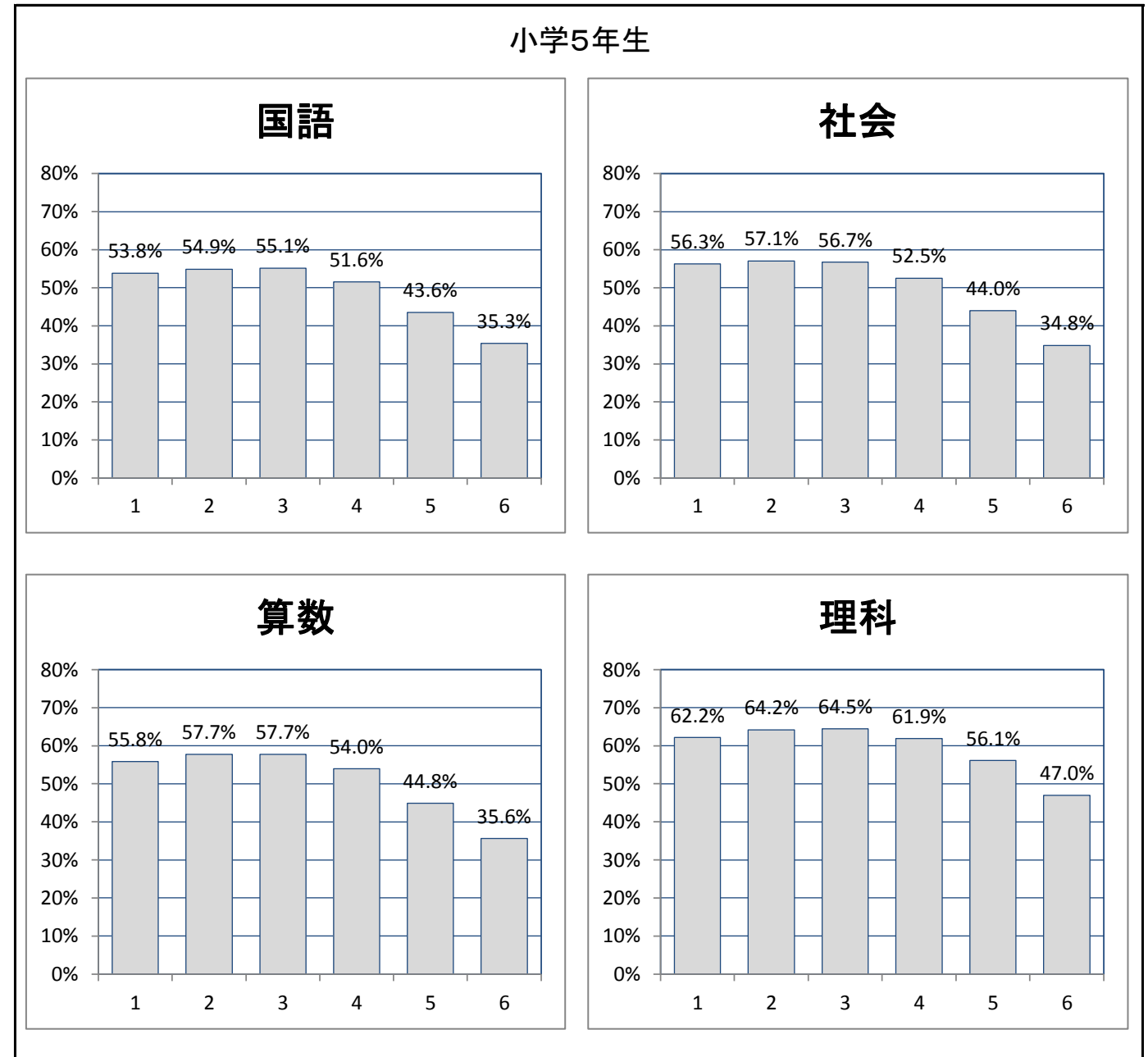
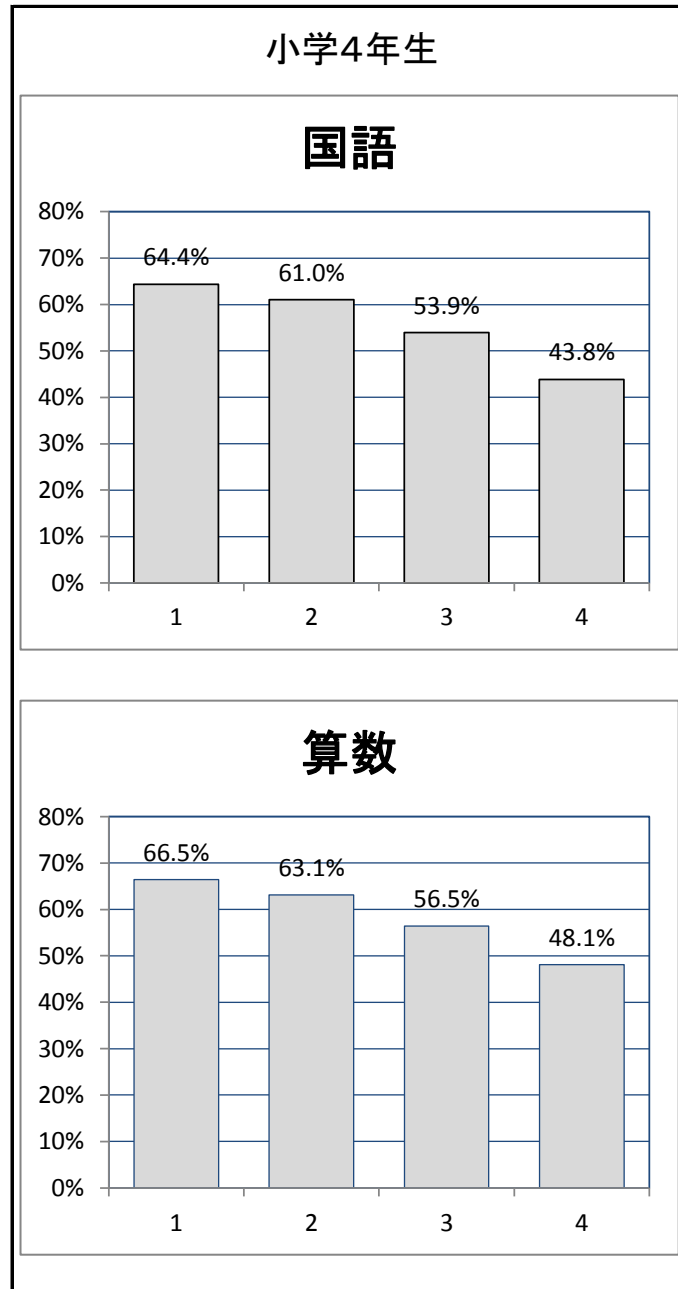
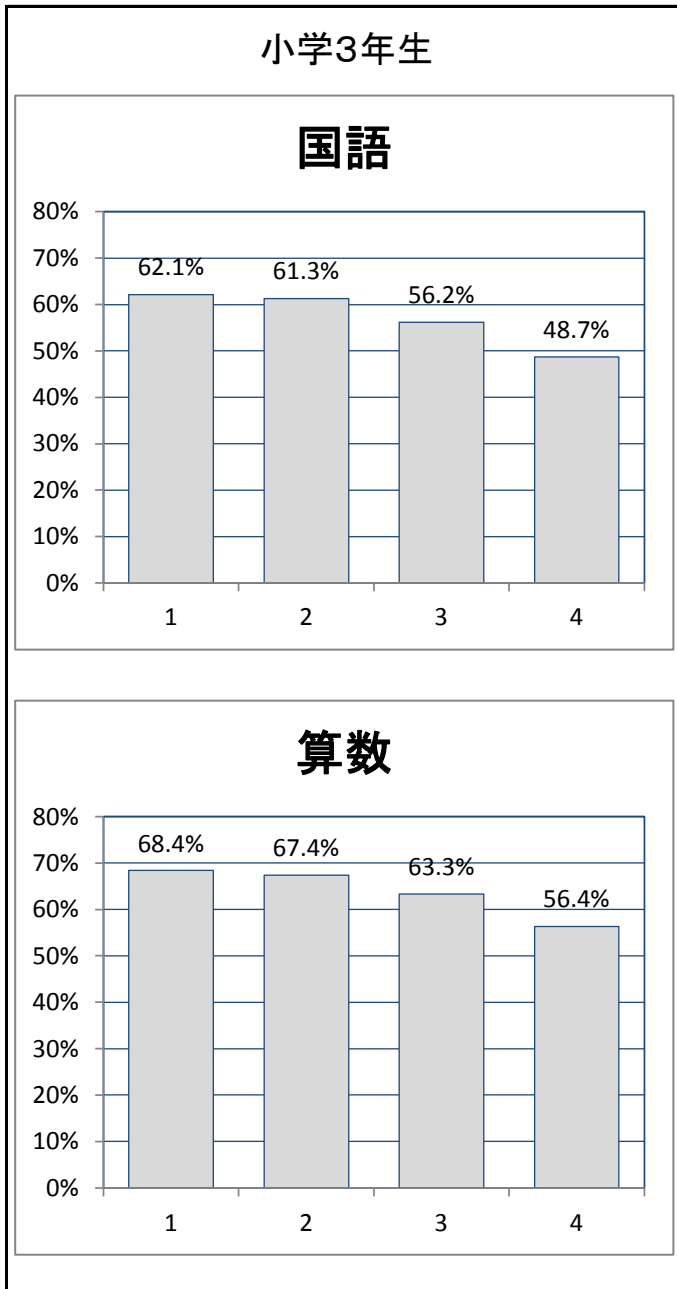


2 学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。



# 平成29年度 学力定着状況確認問題 児童生徒質問紙クロス集計

【質問1】 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。



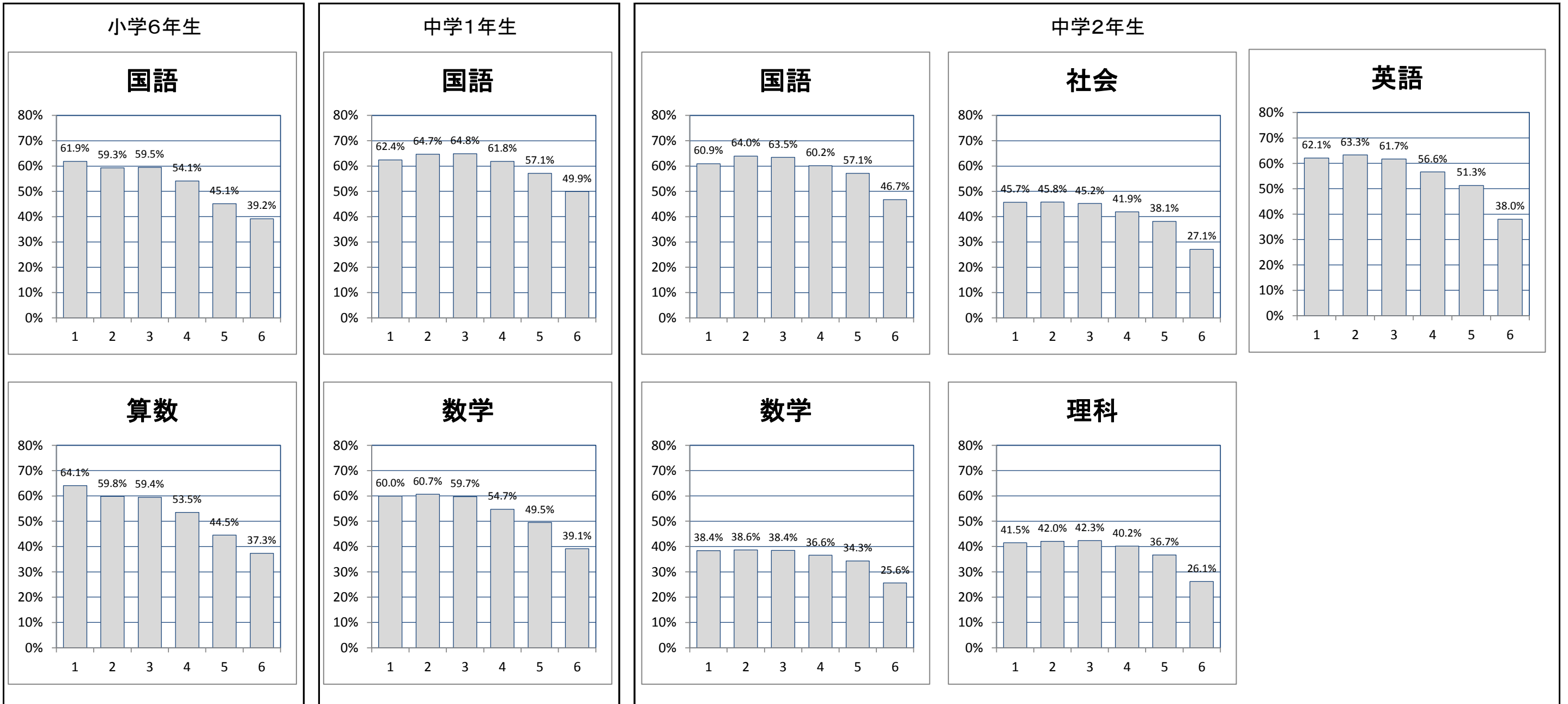
1 1時間以上  
 2 30分以上、1時間より少ない  
 3 30分より少ない  
 4 全くしない

1 1時間以上  
 2 30分以上、1時間より少ない  
 3 30分より少ない  
 4 全くしない

1 3時間以上  
 2 2時間以上、3時間より少ない  
 3 1時間以上、2時間より少ない  
 4 30分以上、1時間より少ない  
 5 30分より少ない  
 6 全くしない

# 平成29年度 学力定着状況確認問題 児童生徒質問紙クロス集計

【質問1】 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。



- 1 3時間以上
- 2 2時間以上、3時間より少ない
- 3 1時間以上、2時間より少ない
- 4 30分以上、1時間より少ない
- 5 30分より少ない
- 6 全くしない

- 1 3時間以上
- 2 2時間以上、3時間より少ない
- 3 1時間以上、2時間より少ない
- 4 30分以上、1時間より少ない
- 5 30分より少ない
- 6 全くしない

- 1 3時間以上
- 2 2時間以上、3時間より少ない
- 3 1時間以上、2時間より少ない
- 4 30分以上、1時間より少ない
- 5 30分より少ない
- 6 全くしない

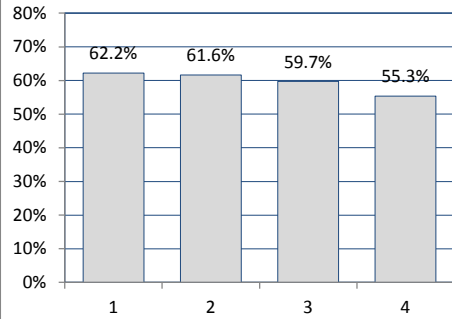


# 平成29年度 学力定着状況確認問題 児童生徒質問紙クロス集計

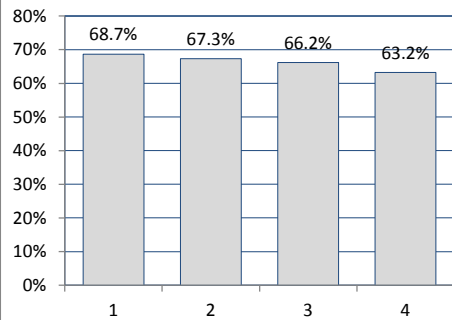
【質問2】 学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

小学3年生

## 国語

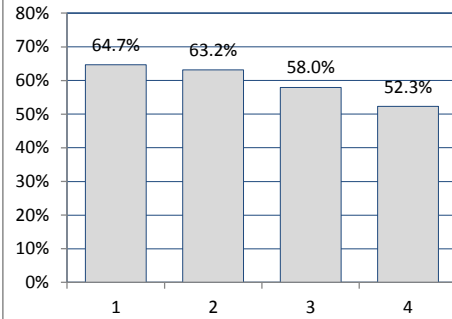


## 算数

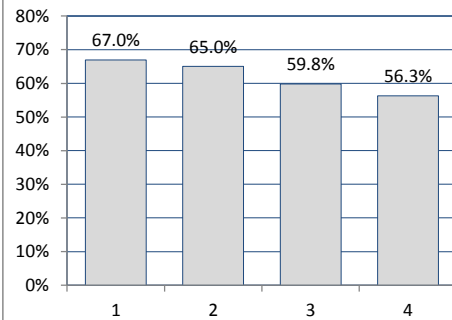


小学4年生

## 国語

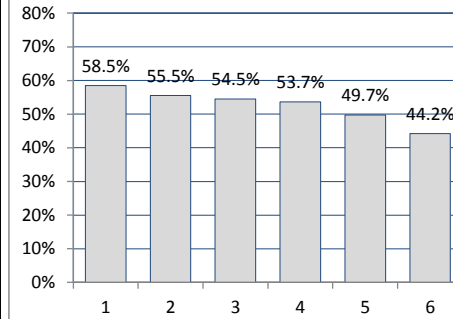


## 算数

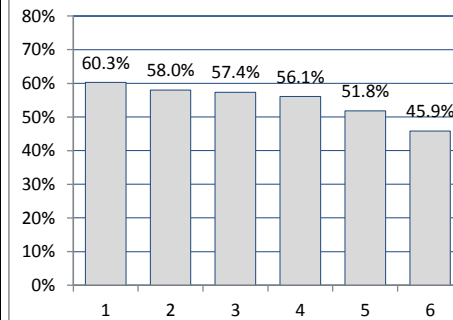


小学5年生

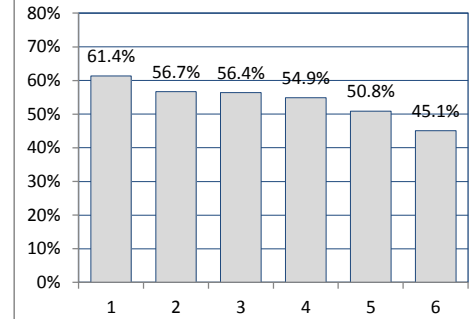
## 国語



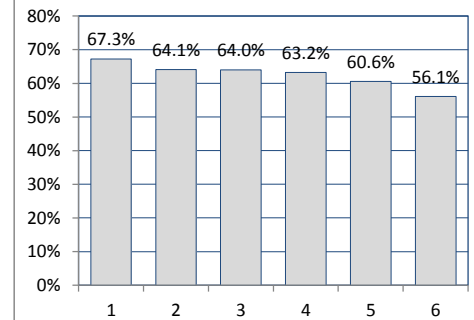
## 算数



## 社会



## 理科



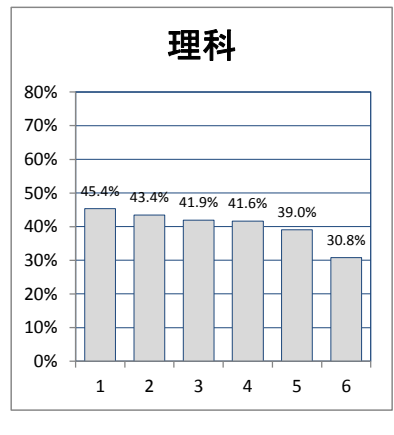
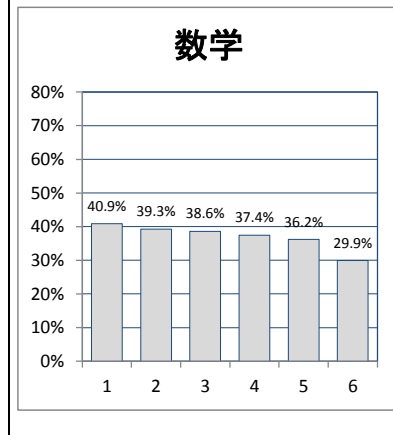
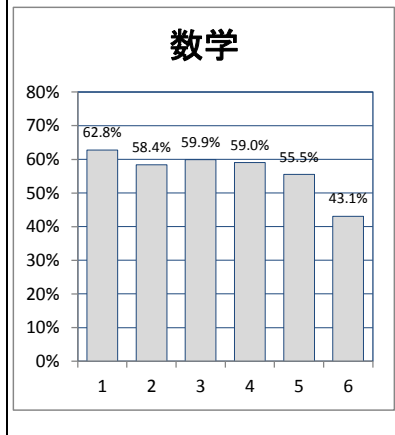
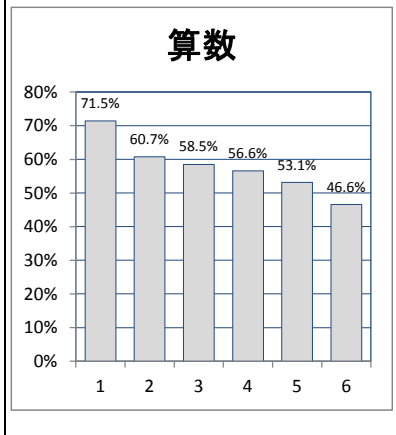
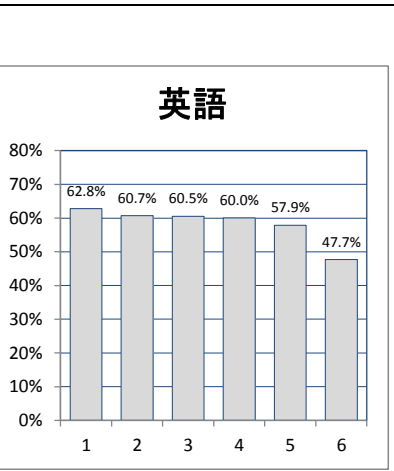
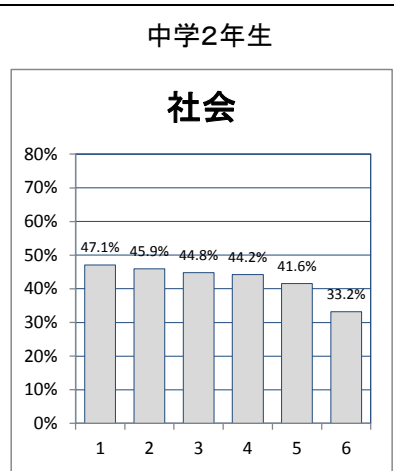
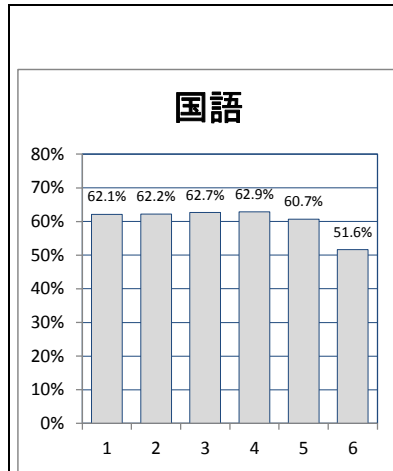
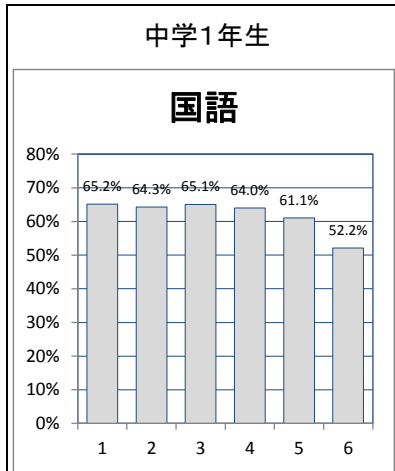
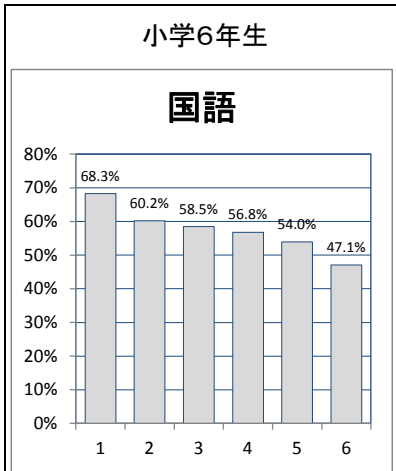
- 1 1時間以上
- 2 30分以上、1時間より少ない
- 3 30分より少ない
- 4 全くしない

- 1 1時間以上
- 2 30分以上、1時間より少ない
- 3 30分より少ない
- 4 全くしない

- 1 3時間以上
- 2 2時間以上、3時間より少ない
- 3 1時間以上、2時間より少ない
- 4 30分以上、1時間より少ない
- 5 30分より少ない
- 6 全くしない

# 平成29年度 学力定着状況確認問題 児童生徒質問紙クロス集計

【質問2】 学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

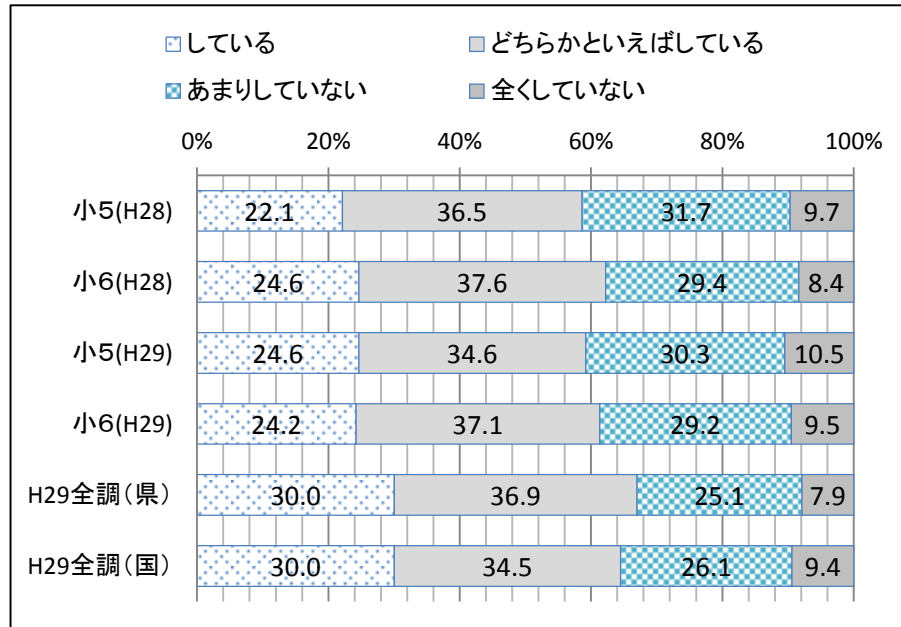


- 1 3時間以上
- 2 2時間以上、3時間より少ない
- 3 1時間以上、2時間より少ない
- 4 30分以上、1時間より少ない
- 5 30分より少ない
- 6 全くしない

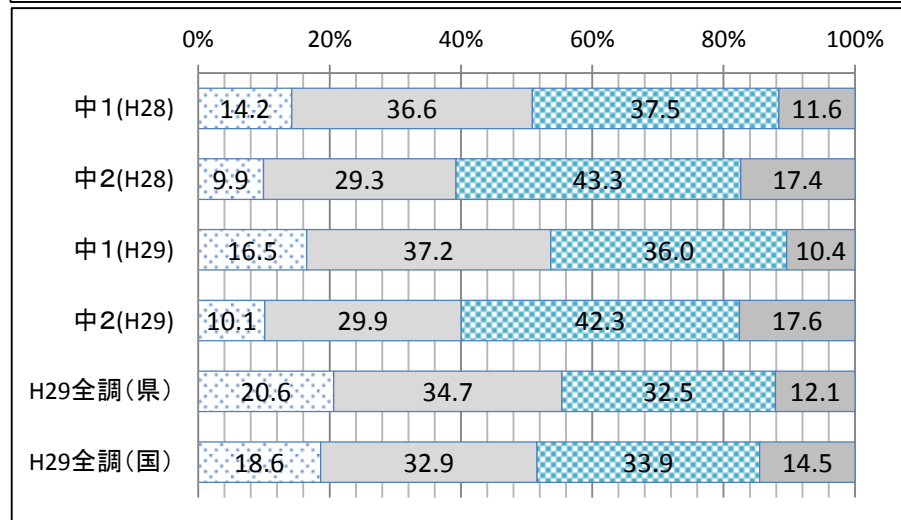
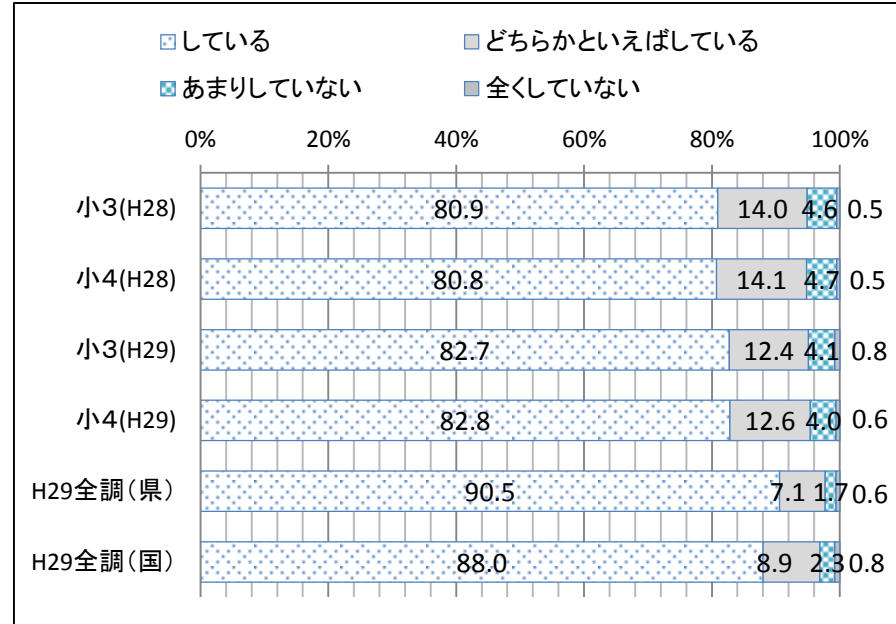
- 1 4時間以上
- 2 3時間以上、4時間より少ない
- 3 2時間以上、3時間より少ない
- 4 1時間以上、2時間より少ない
- 5 1時間より少ない
- 6 全くしない

- 1 4時間以上
- 2 3時間以上、4時間より少ない
- 3 2時間以上、3時間より少ない
- 4 1時間以上、2時間より少ない
- 5 1時間より少ない
- 6 全くしない

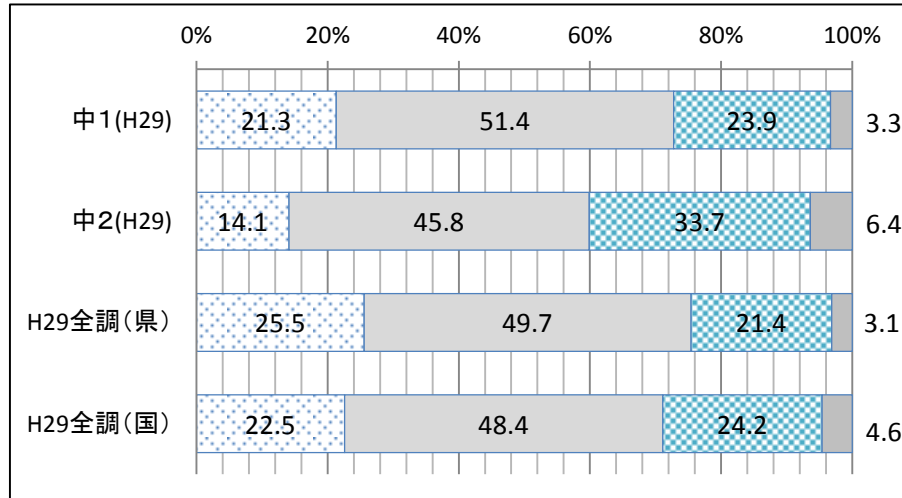
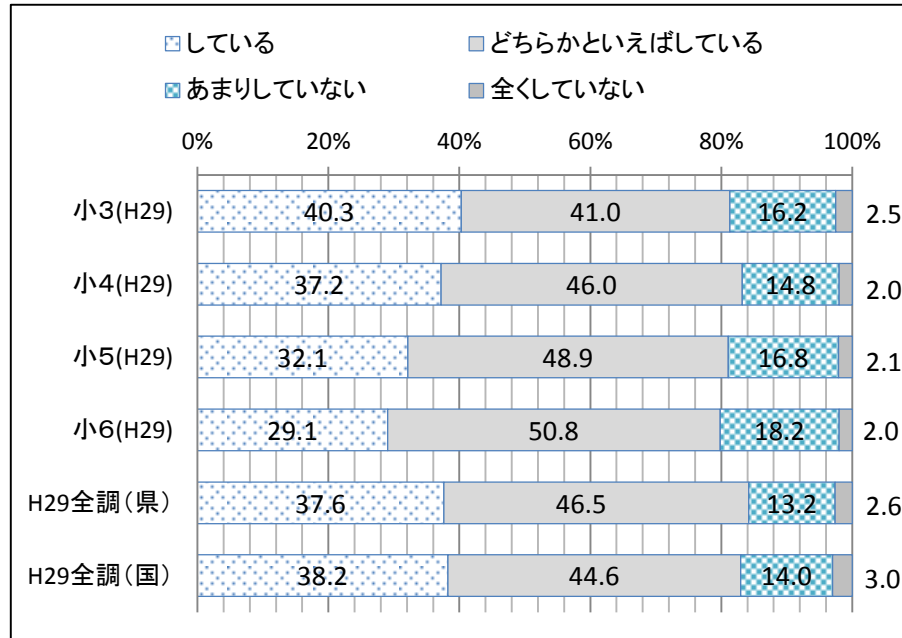
### 3 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。



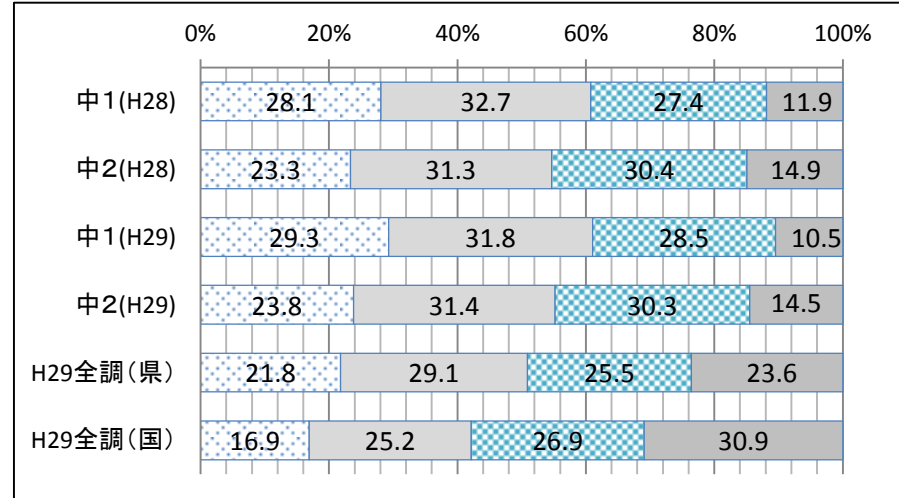
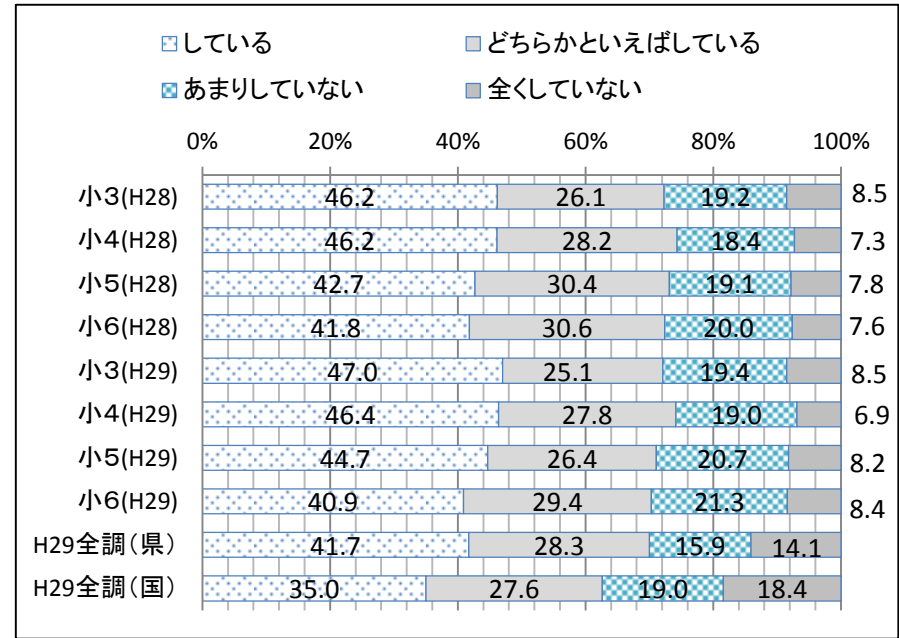
### 4 学校の宿題をしていますか。



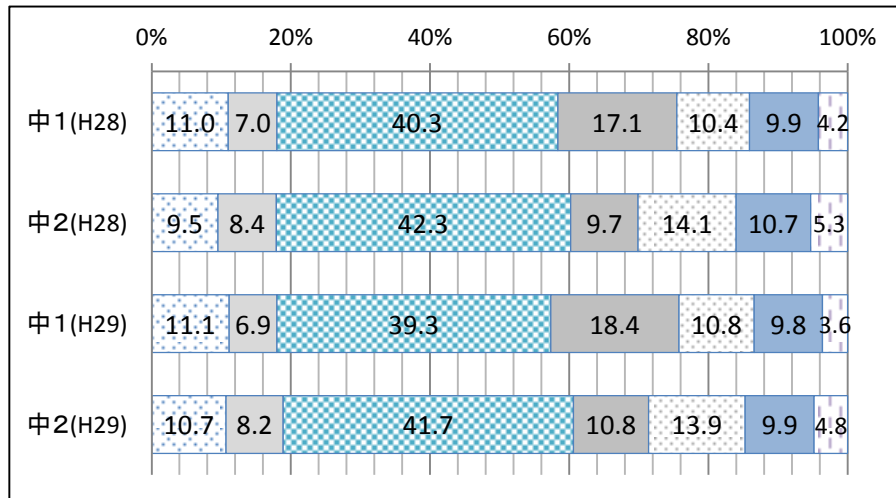
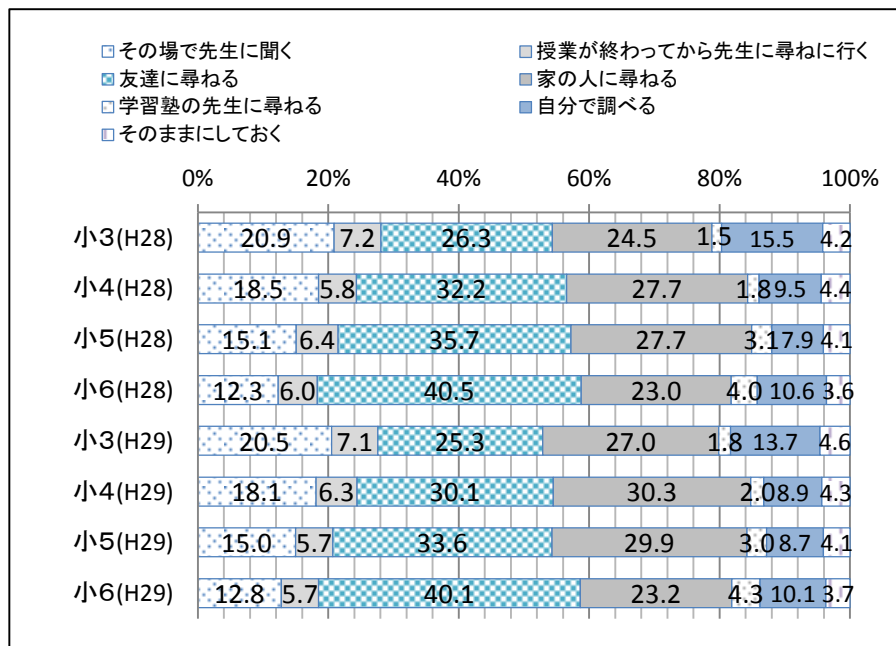
5 授業で学んだことを、他の学習や普段の生活に生かしていますか。



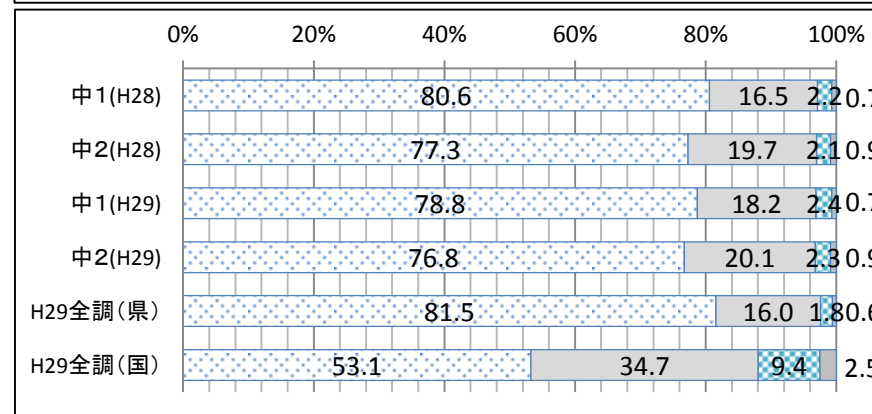
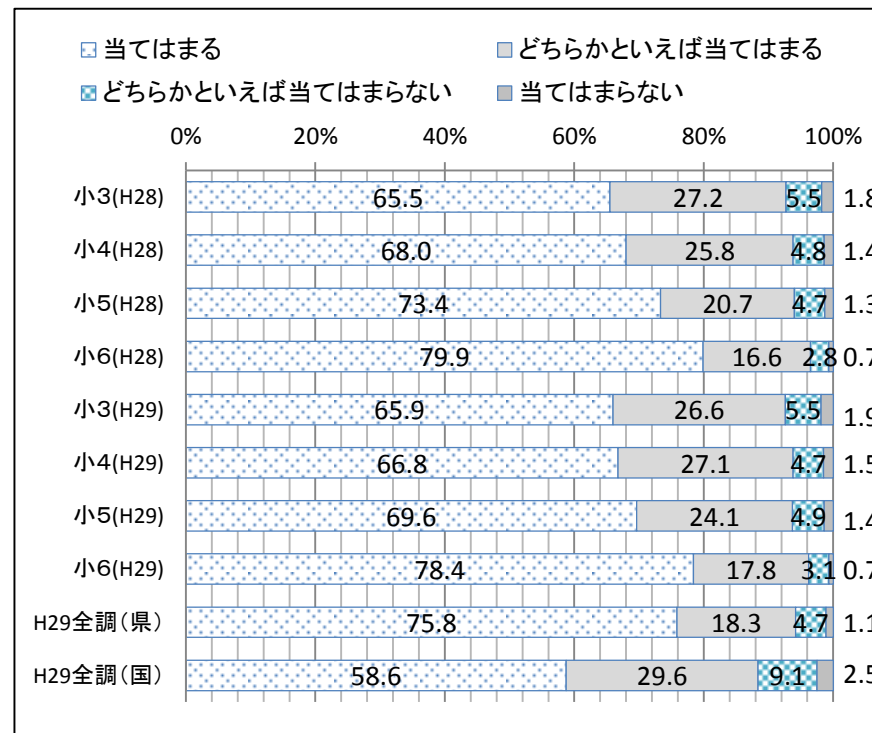
6 今住んでいる地域の行事に参加していますか。



7 授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか。

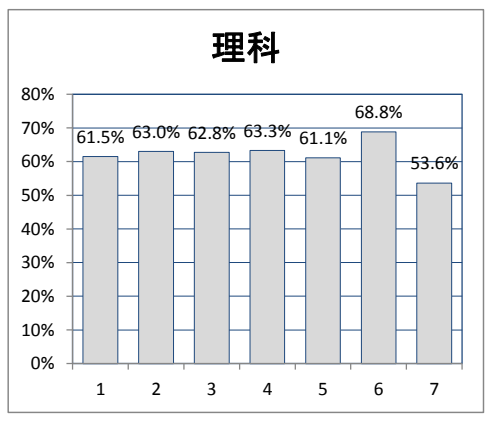
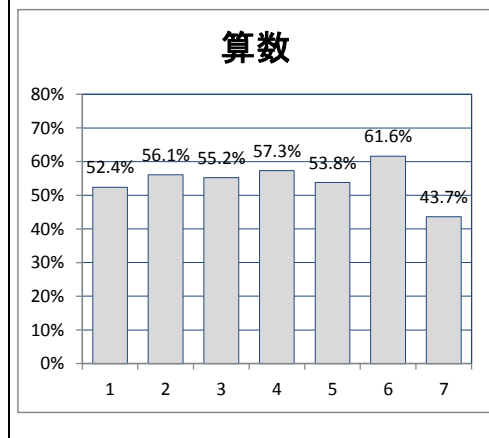
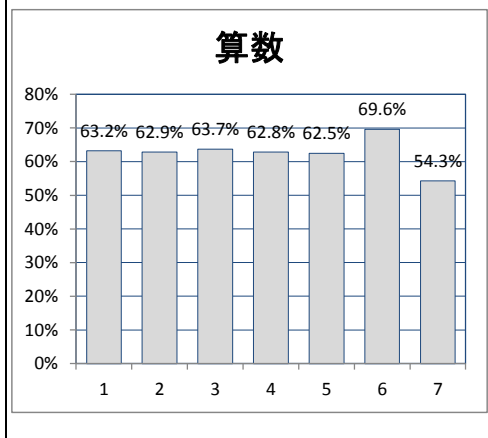
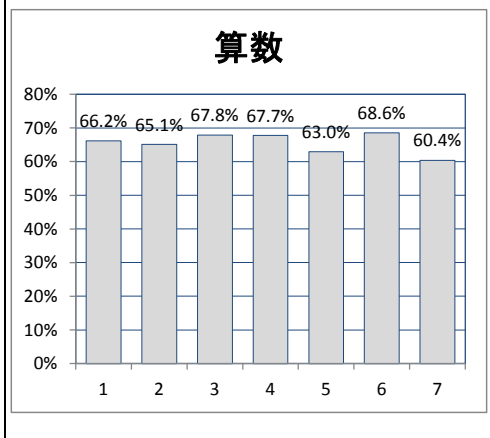
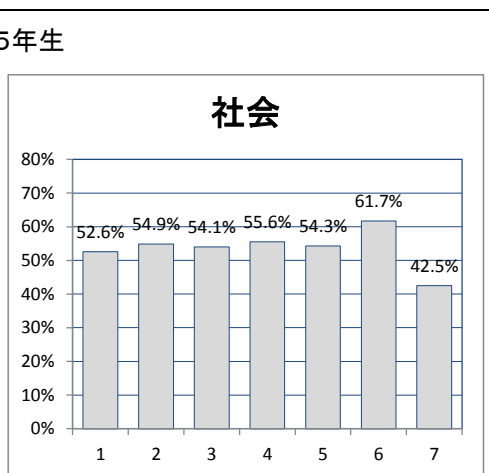
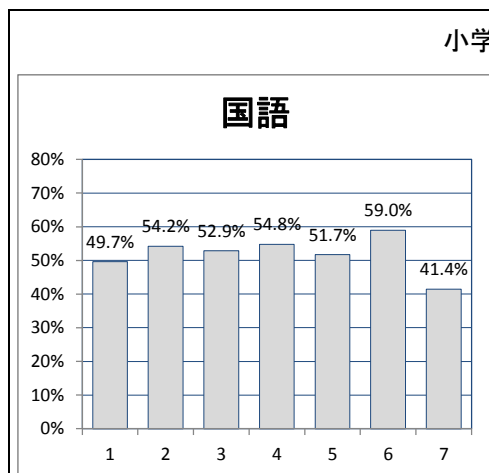
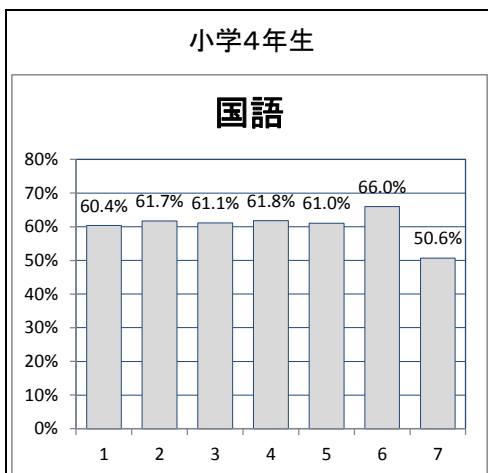
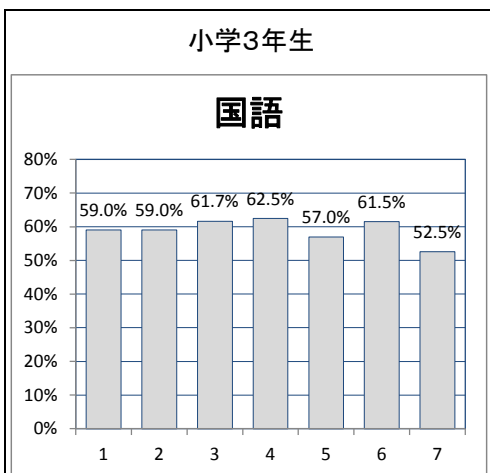


8 授業の中で、授業の目標(めあて・ねらい)が示されていると思いますか。



# 平成29年度 学力定着状況確認問題 児童生徒質問紙クロス集計

【質問7】 授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか。



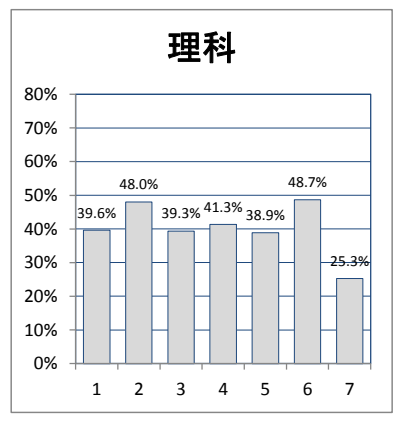
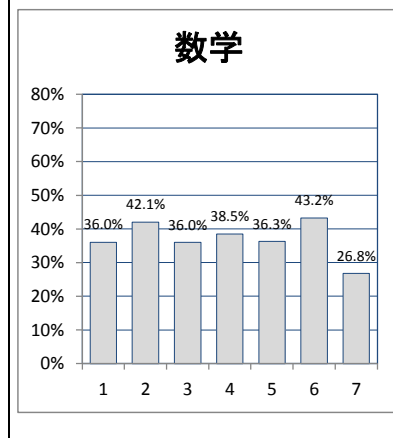
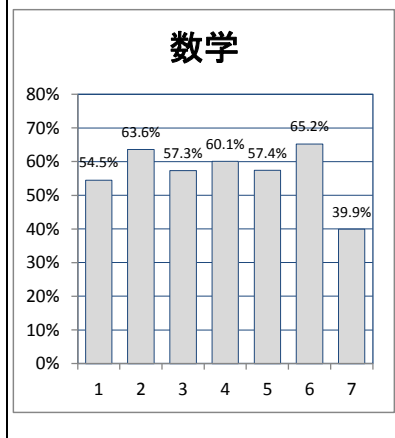
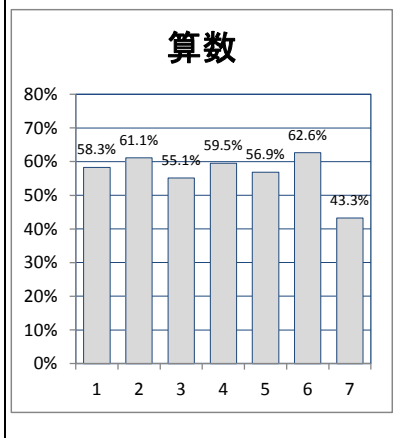
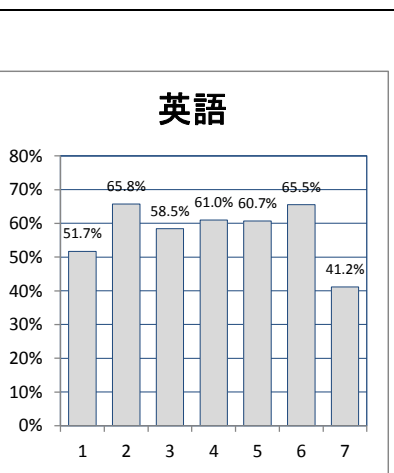
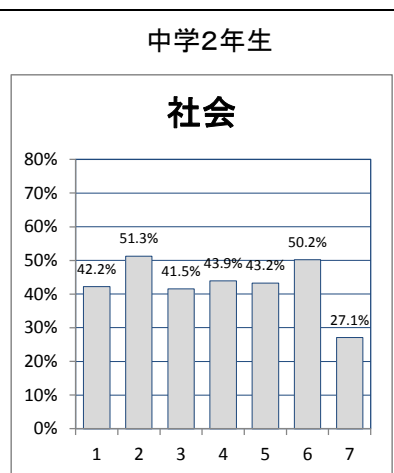
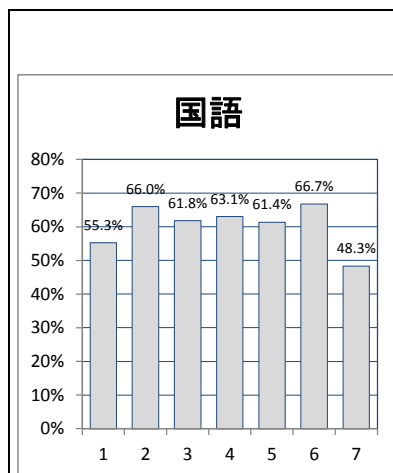
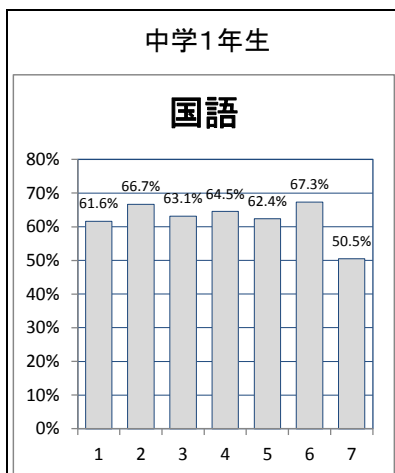
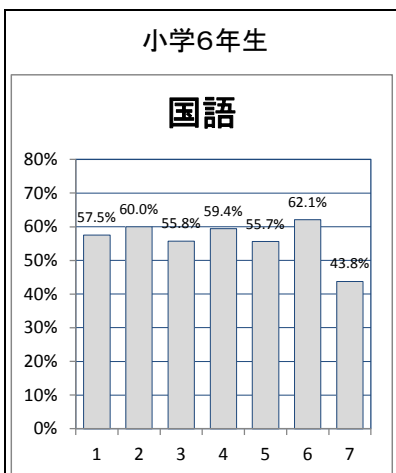
- 1 その場で先生に尋ねる
- 2 授業が終わってから先生に尋ねる
- 3 友達に尋ねる
- 4 家の人に尋ねる
- 5 学習塾の先生に尋ねる
- 6 自分で調べる
- 7 そのままにしておく

- 1 その場で先生に尋ねる
- 2 授業が終わってから先生に尋ねる
- 3 友達に尋ねる
- 4 家の人に尋ねる
- 5 学習塾の先生に尋ねる
- 6 自分で調べる
- 7 そのままにしておく

- |   |  |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1 その場で先生に尋ねる</li> <li>3 友達に尋ねる</li> <li>5 学習塾の先生に尋ねる</li> <li>7 そのままにしておく</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>2 授業が終わってから先生に尋ねる</li> <li>4 家の人に尋ねる</li> <li>6 自分で調べる</li> </ol> |
|---|--|

# 平成29年度 学力定着状況確認問題 児童生徒質問紙クロス集計

【質問7】 授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか。

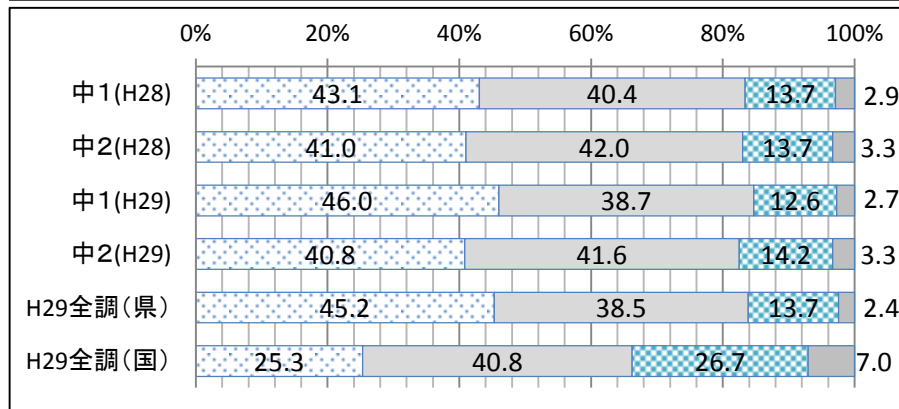
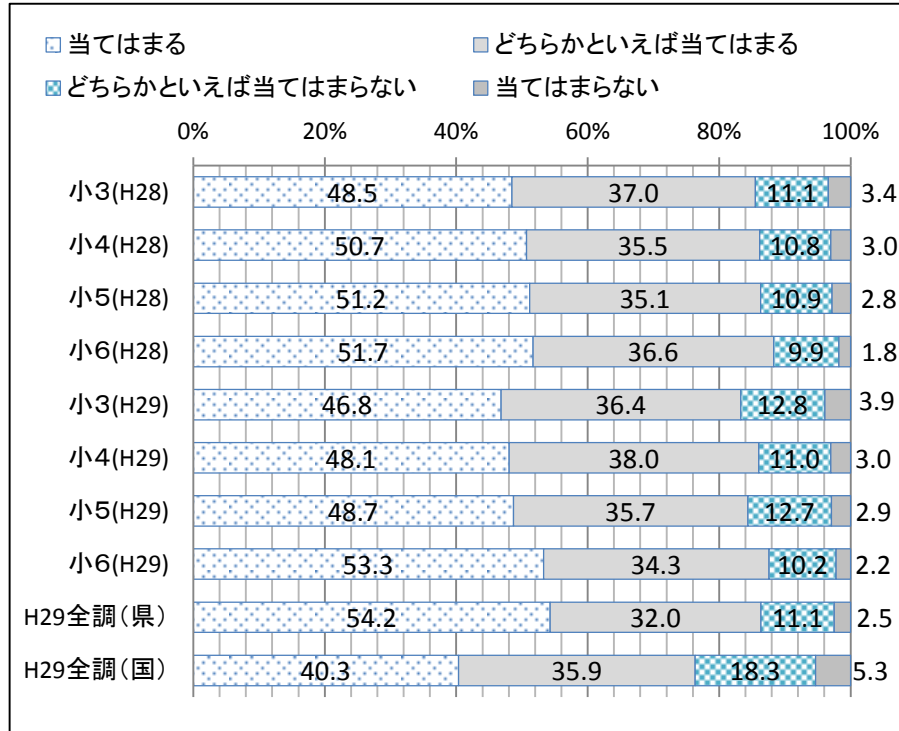


- 1 その場で先生に尋ねる
- 2 授業が終わってから先生に尋ねる
- 3 友達に尋ねる
- 4 家の人に尋ねる
- 5 学習塾の先生に尋ねる
- 6 自分で調べる
- 7 そのままにしておく

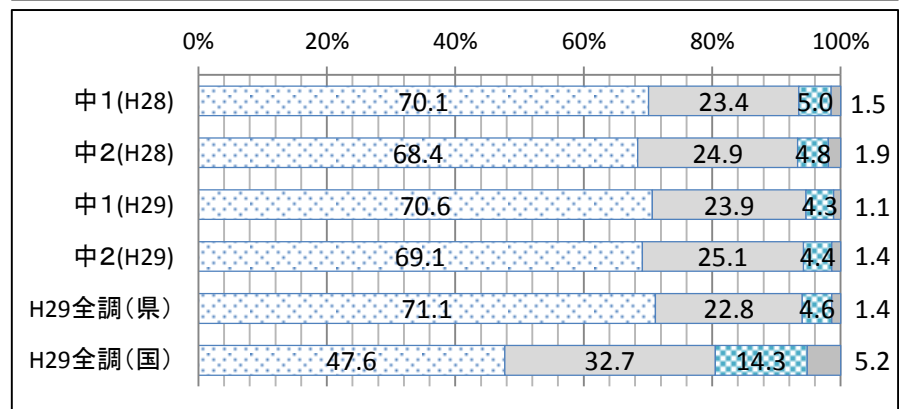
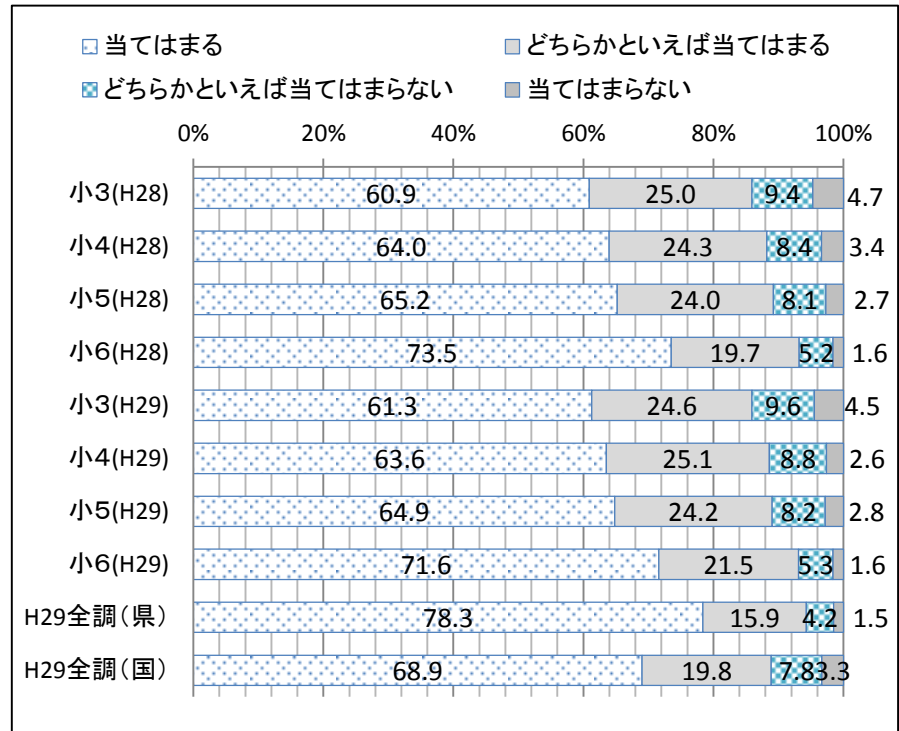
- 1 その場で先生に尋ねる
- 2 授業が終わってから先生に尋ねる
- 3 友達に尋ねる
- 4 家の人に尋ねる
- 5 学習塾の先生に尋ねる
- 6 自分で調べる
- 7 そのままにしておく

- |   |  |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1 その場で先生に尋ねる</li> <li>3 友達に尋ねる</li> <li>5 学習塾の先生に尋ねる</li> <li>7 そのままにしておく</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>2 授業が終わってから先生に尋ねる</li> <li>4 家の人に尋ねる</li> <li>6 自分で調べる</li> </ol> |
|---|--|

9 授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていると思いますか。

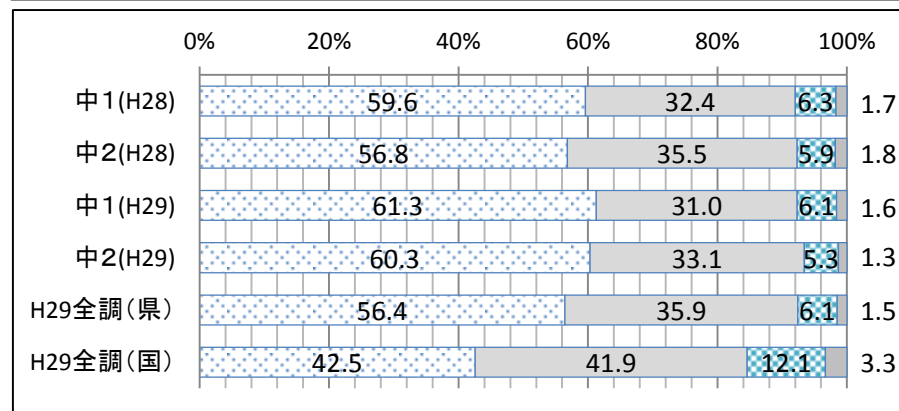
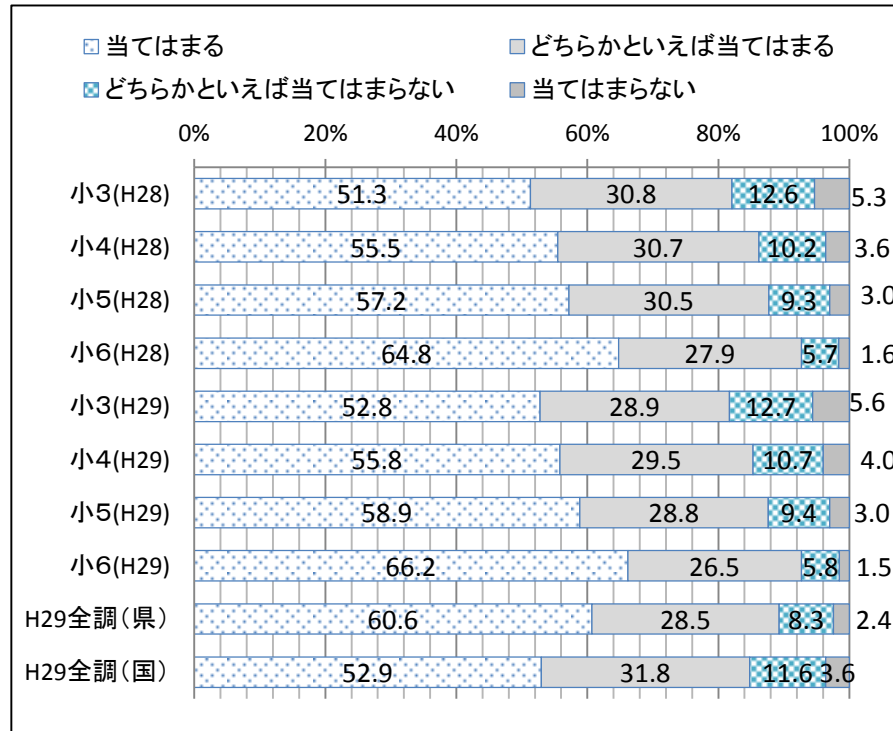


10 授業で使うノートや学習プリントに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていると思いますか。

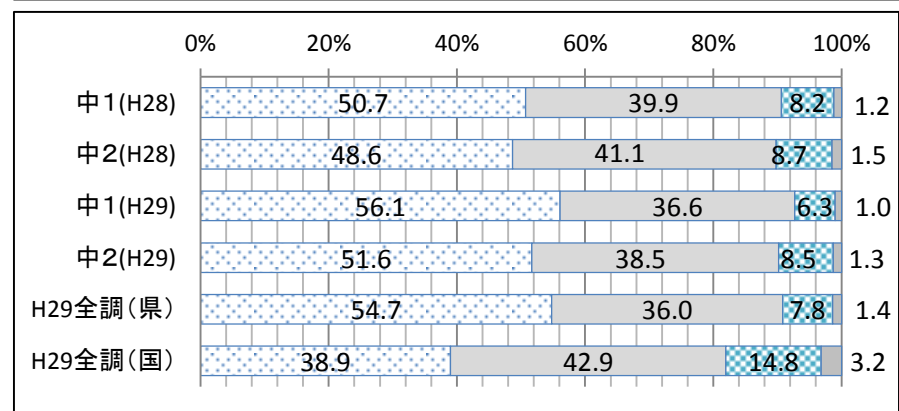
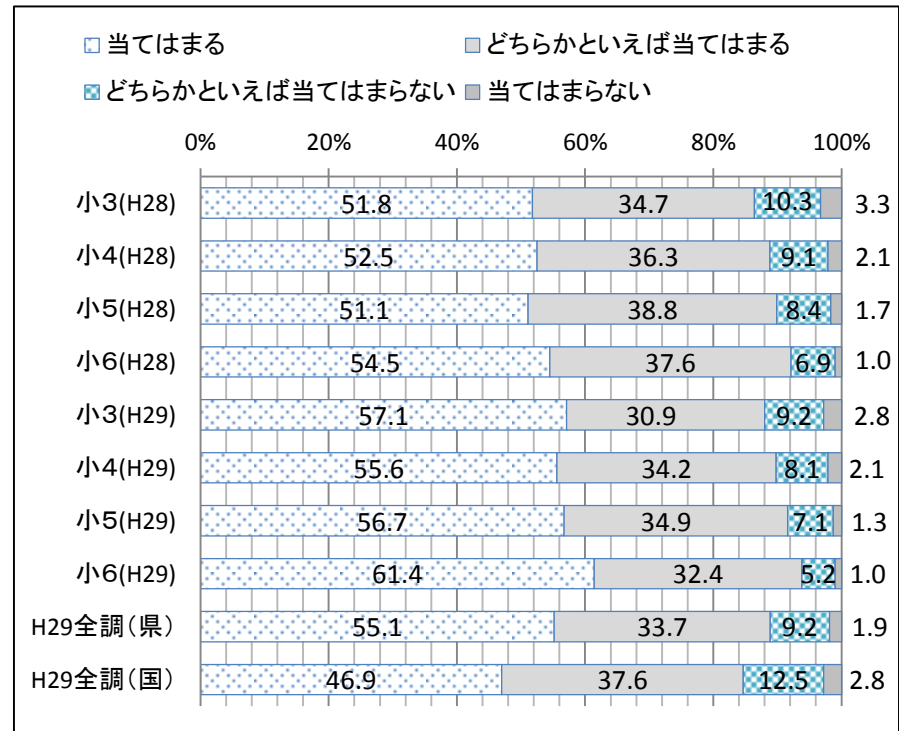




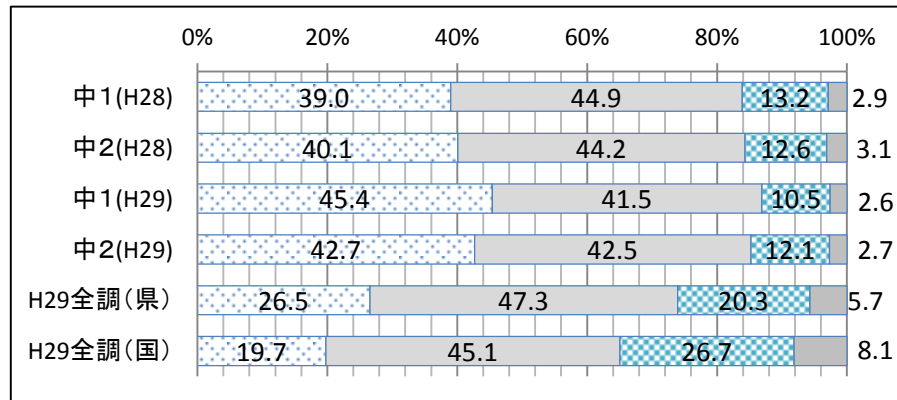
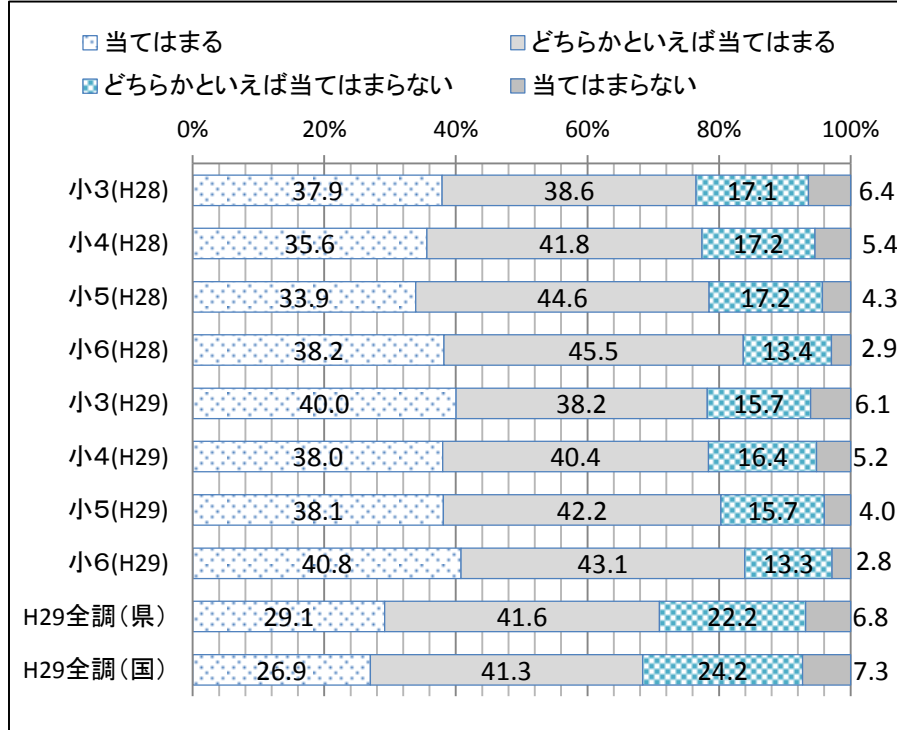
11 授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。



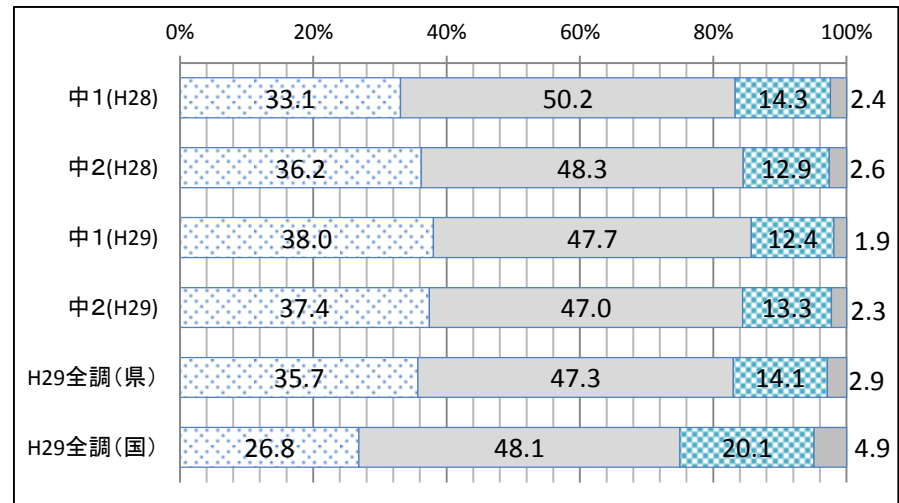
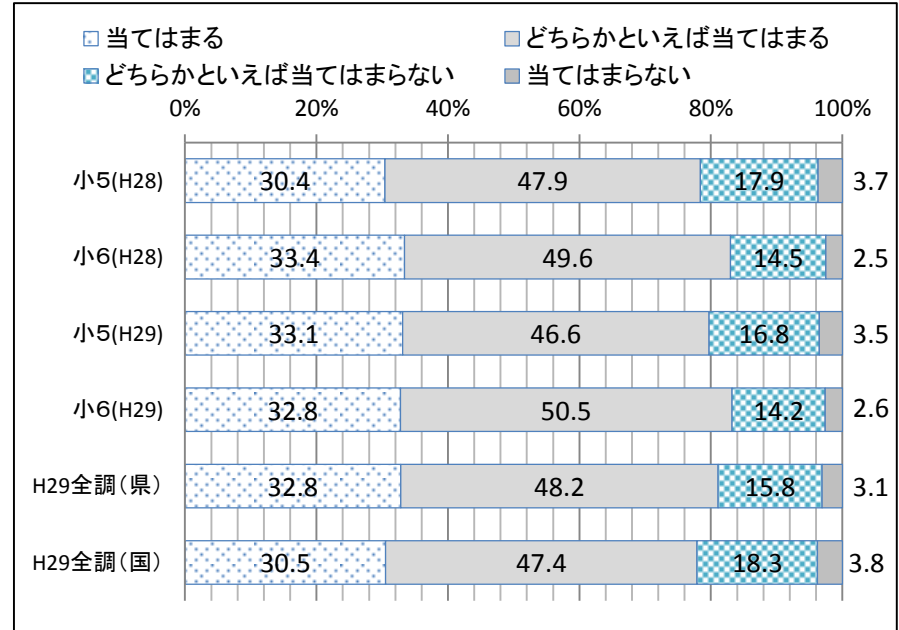
12 授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。



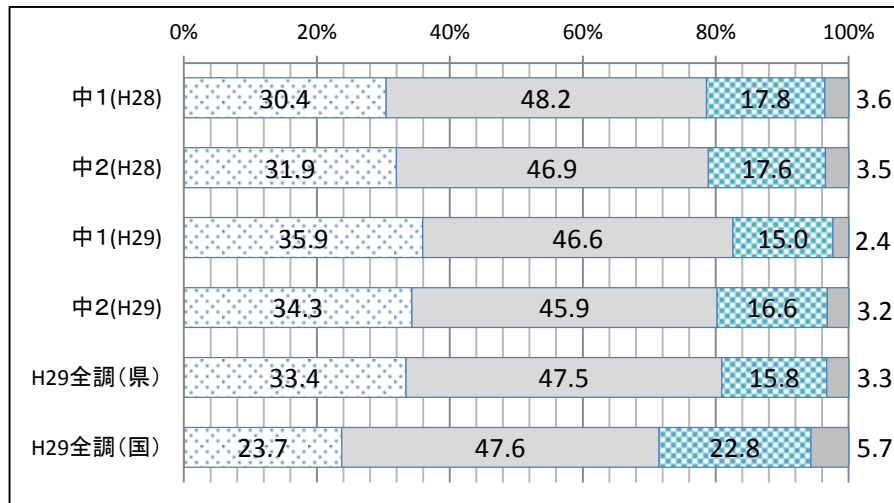
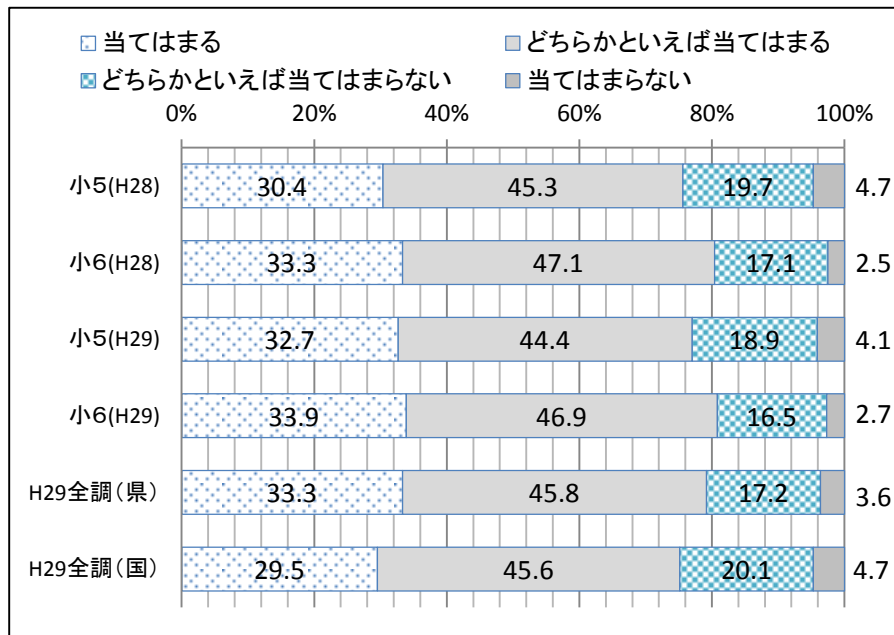
13 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。



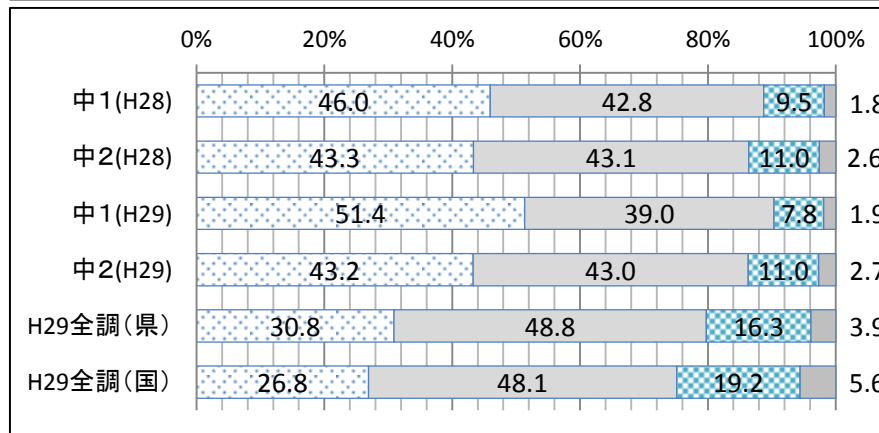
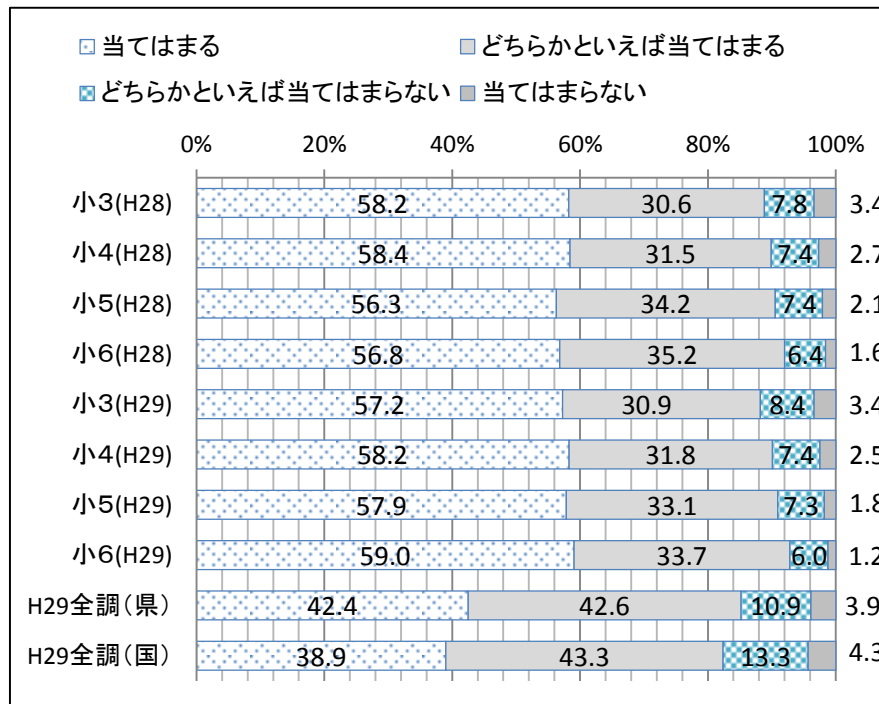
14 授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいると思いますか。



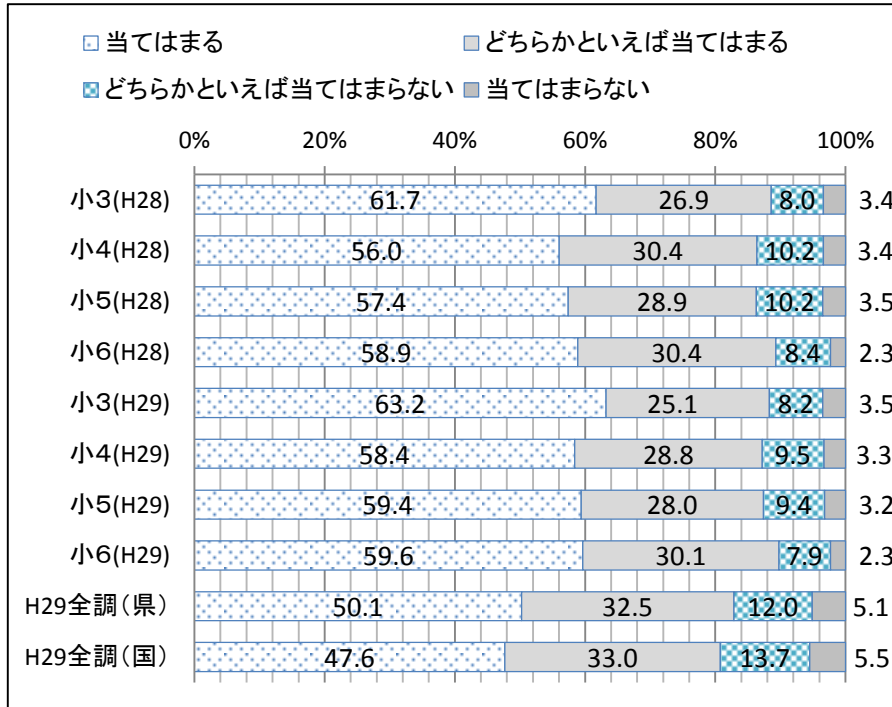
15 授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立ててその解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか。



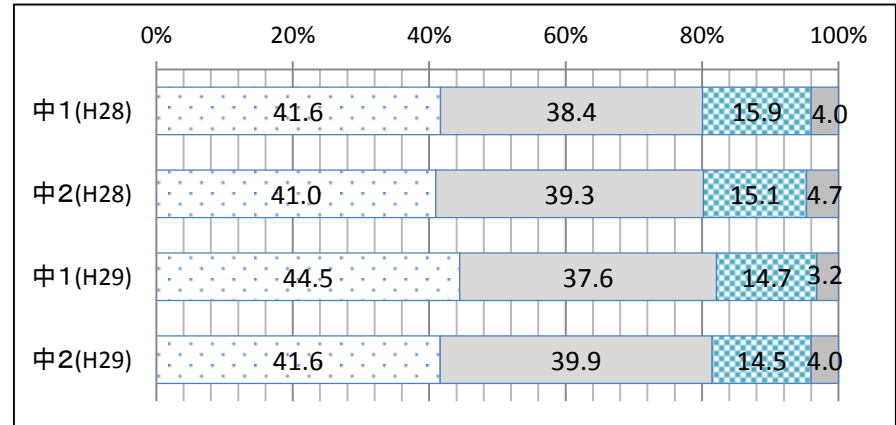
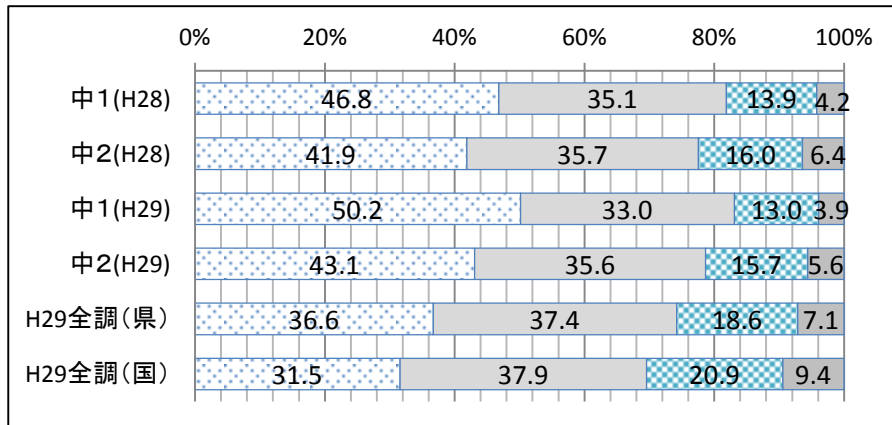
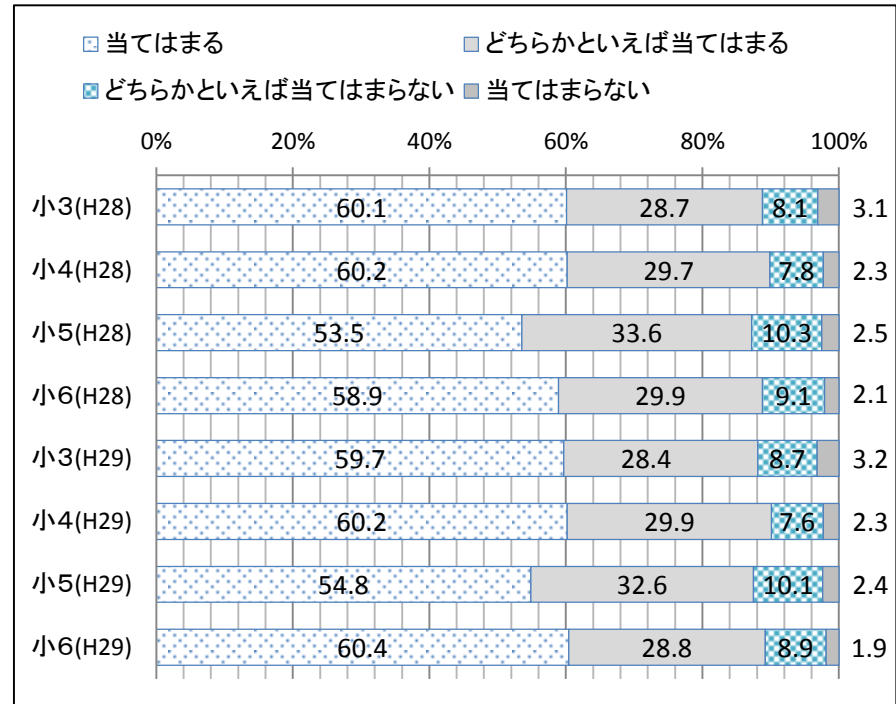
16 国語の授業の内容はよくわかりますか。



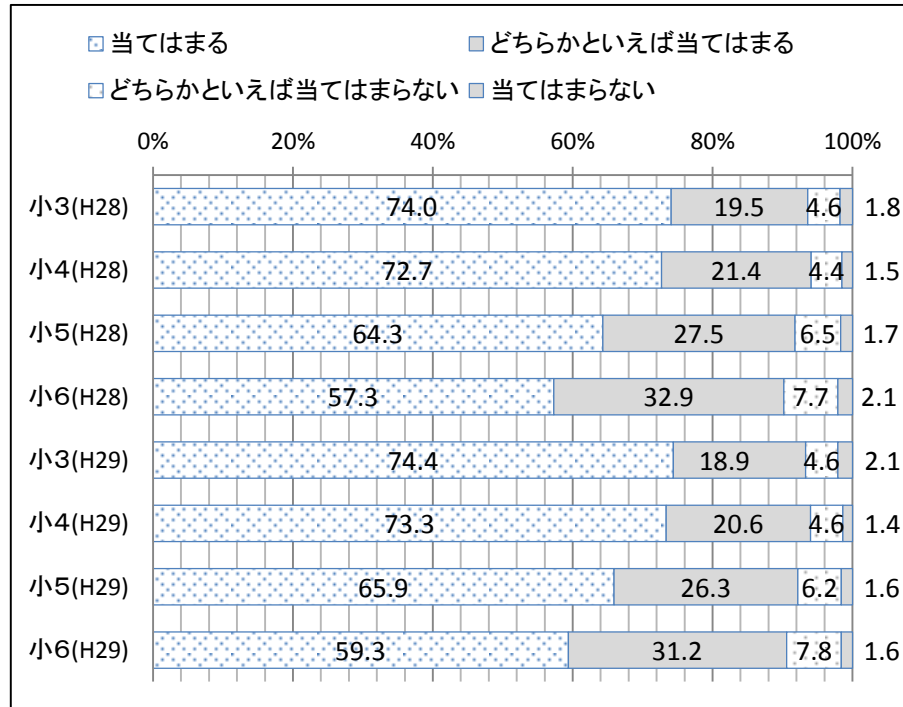
17 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか。



18 社会の授業の内容はよく分かりますか。



19 理科の授業の内容はよく分かりますか。



20 英語の授業の内容はよく分かりますか。

